
DBJ・JTBF アジア・欧米豪

北海道観光に関する訪日外国人旅行者の意向調査

(2020 年度新型コロナウイルス影響度 特別調査)

2020 年 9 月



日本政策投資銀行
Development Bank of Japan

(株)日本政策投資銀行は 2012 年より継続的に「アジア 8 地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を公表し、2015 年からは（公財）日本交通公社と共同で本調査を実施している。今般、新型コロナがインバウンドの海外旅行意向に与えた影響を調査すべく、アジア・欧米豪 12 地域の海外旅行経験者 6,266 人を対象としたインターネットによる緊急アンケート調査を 2020 年 6 月 2 日～6 月 12 日に実施した。

当レポートは、この調査結果の中で、北海道訪問経験者や北海道訪問希望者についての回答結果をまとめたものである。新型コロナウイルス終息後を見据えた北海道観光の振興について、コロナ禍を踏まえた最新の情報収集・整理を行い、今後の北海道観光のあり方を考察する。

目次

要約	3
1. 新型コロナ禍での世界の動向	4
(1) 新型コロナの現状	4
(2) 世界経済の見通し①（IMF リポートより）	5
(3) 世界経済の見通し②（OECD レポートより）	6
(4) 2020 年 国際観光客の見通し（UNWTO より）	7
2. 日本のインバウンド誘客の動向	8
(1) インバウンド客数の推移とインバウンド旅行消費額の推移	8
(2) 世界のインバウンド客数・国際観光収入ランキングとインバウンド客数成長率・国際観光収入成長率	9
(3) 北海道地方の観光動向（北海道地方のインバウンド滞在者の推移、消費動向）	11
(4) 新型コロナ拡大前後の地域別延べ宿泊者数（月別）	14
(5) 新型コロナ拡大前後の地域別客室稼働率（月別）	15
3. DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査結果	16
(1) 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の海外訪問の動向	16
(2) 今後 6 カ月の動向	25
(3) 新型コロナ終息後の海外旅行の動向	27
(4) 訪日旅行・北海道旅行に期待すること	42
(5) 観光関連事業者が取るべき新型コロナ対策	52
本レポートにおける地域区分	55
アンケートデータ出所	56

【新型コロナ禍での世界の動向】

- 新型コロナウイルス（以下、「新型コロナ」という）の感染者数は、世界で約 2,512 万人、死者数約 84.4 万人と、特に欧米諸国を中心に拡がりを見せているが（2020 年 8 月 31 日時点）、アジア圏や日本の感染者数は比較的、低位で推移している。
- UNWTO によると、コロナ禍による国際観光への潜在的な影響に伴い、2020 年は 8.5 億人～11 億人の国際観光客数の落ち込みや、9,100 億 USD～1.2 兆 USD の収益減、観光業界に携わる 1～1.2 億人規模の失業リスクが予想される。

【わが国におけるインバウンドの動向】

- わが国のインバウンド客は、2003 年（SARS）、2009 年（リーマンショック）、2011 年（東日本大震災）の 3 時点以外は増加傾向にある。2019 年のインバウンド客数は約 3,190 万人と過去最高を記録しており、インバウンド客の旅行消費額も約 4.8 兆円に達している。
- 世界のインバウンドと比較しても、日本のインバウンド客数および国際観光収入の成長スピードは速い。
- わが国のインバウンドは、順調に成長していたものの、2019 年 12 月末に中国武漢で発症が確認された新型コロナ感染症により、インバウンド需要がほぼ消失した。日本全体の宿泊客数および稼働率は 2020 年 3 月以降激減し、特にインバウンド客の利用はほぼ見られない。北海道も同様に、日本人／インバウンド客ともに宿泊客数が激減した。

【DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査結果】

- (株)日本政策投資銀行は 2012 年より継続的に「アジア 8 地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を公表し、2015 年からは（公財）日本交通公社と共同で本調査を実施している。今般、新型コロナがインバウンドの海外旅行意向に与えた影響を調査すべく、アジア・欧米豪 12 地域（注）の海外旅行経験者 6,266 人を対象としたインターネットによる緊急アンケート調査を 2020 年 6 月 2 日～6 月 12 日に実施した。
- 2020 年 5 月までの新型コロナの影響については、海外訪問をキャンセルした人が約半数を占めており、その傾向はアジアで強く、特に中国のキャンセル率が 9 割と突出して高い。北海道については、全体の 8 割が訪問をキャンセルした。
- 海外旅行は、遠距離になるほど実施が敬遠されている。旅行需要は国内から回復し、海外旅行は近隣国から再開されていくことがうかがえる。
- 新型コロナ終息後の海外旅行の意向は全般的に高く、収入者層別では高収入者層の意向が最も高い。また、終息後の海外旅行については、現状維持若しくは予算を増やし、長期滞在を志向する傾向である。一方、海外旅行の検討を再開するタイミングは、抗ウイルス薬の開発や公的機関の終息宣言後といった保守的な回答が特にアジアで多くなっている。
- 海外旅行したい国は日本がトップにあげられており、日本の人気は依然として高い。訪日を希望する理由には「清潔さ」が高く評価されている。その中で北海道は東京に次いで第 2 位の人気がある。
- 北海道旅行に期待することは、「新型コロナ対策」を筆頭に、他地域と比較して「自然体験アクティビティ」が特に求められている。一方、多言語対応や観光地へのアクセスについては改善を求める声が多い。希望する宿泊施設については、行動履歴が不明な人と施設を共同で利用することへの不安から温泉旅館の希望が低下している。
- 北海道訪問希望者は、交通事業者や宿泊事業者に対し、訪日希望者の中でも特にウイルス対策に慎重である。
- これらの結果を踏まえ、新型コロナ終息後の北海道への高い旅行意向を実際の訪問に繋げるためには、ウイルス対策の徹底および取り組みに関する多言語での情報発信が他地域に増して重要となる。その上で、海外旅行再開に向けて、自然体験アクティビティやアイヌ文化等の文化体験といったコンテンツの魅力を向上させるとともに、二次交通や広域移動にかかるアクセス利便性向上といった課題について、今の段階から準備を進めることが必要である。

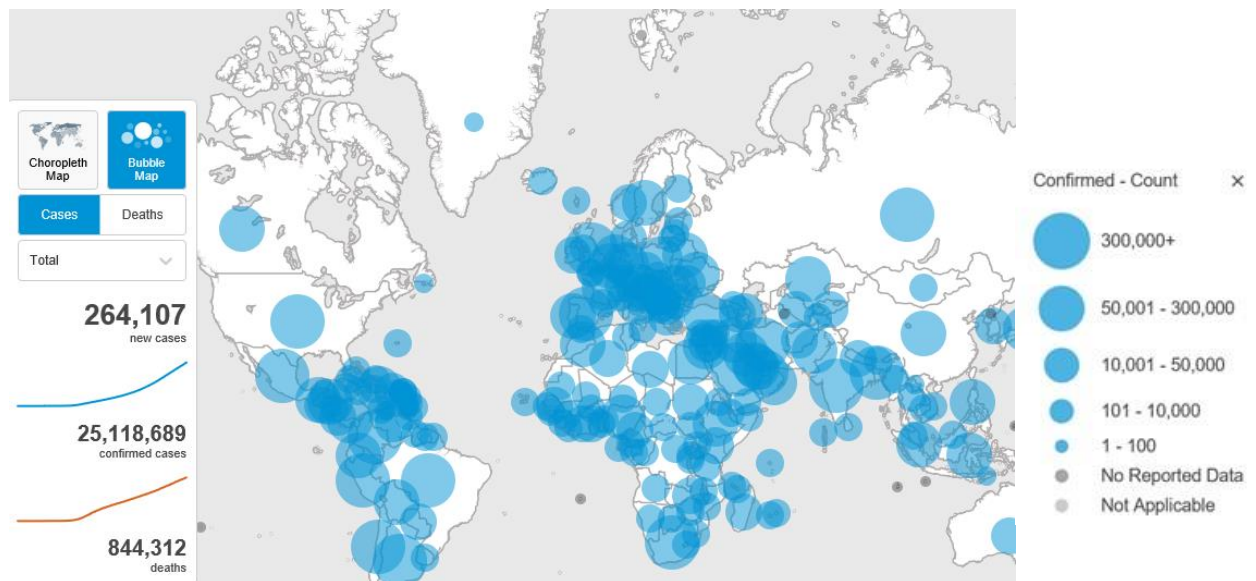
注) 調査対象は、韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの 12 地域

1. 新型コロナ禍での世界の動向

(1) 新型コロナの現状

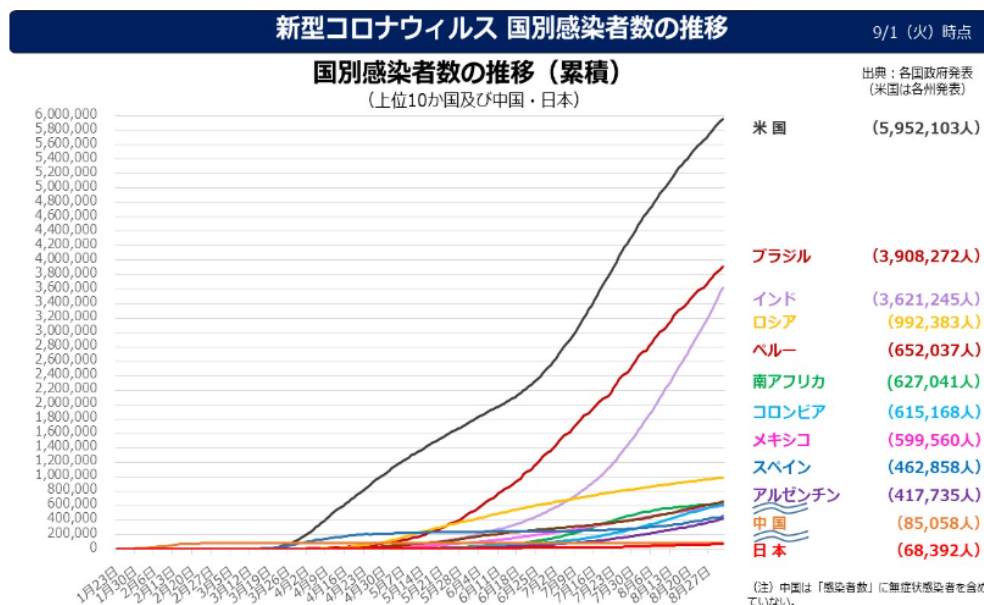
- 新型コロナの感染者数は世界で約 2,512 万人、死者数約 84.4 万人となっており、欧米諸国を中心に拡がりを見せている（2020 年 8 月 31 日時点）¹。
- 感染者数上位国は、米国、ブラジル、インド、ロシア、ペルーの順となっており、アジア圏や日本の感染者数は比較的、低位で推移している（2020 年 8 月 31 日時点）。

図表 1 新型コロナ 世界の感染状況（2020 年 8 月 31 日時点）



出所：WHO Data last updated: 2020/8/31

図表 2 新型コロナ 国別感染者数の推移



出所：外務省 海外安全 HP 2020/9/1 時点より掲載

¹ 約 2 ヶ月前の DBJ コロナインバウンドアンケート実施時点では、感染者数は 741 万人、死者数は 418 千人であった（2020 年 6 月 12 日時点）

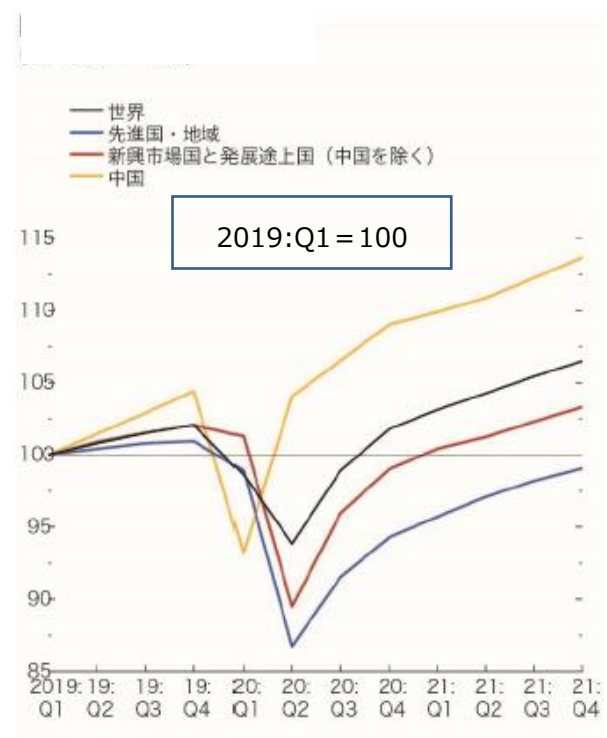
(2) 世界経済の見通し① (IMF リポートより)

- 2020 年の世界経済の実質 GDP 成長率は新型コロナの影響を受けて、-4.9%と予測され、2021 年は 5.4%に回復する見通しとなっている。ただし、新型コロナの影響が長引けば、さらに GDP 成長率が悪化する懸念もある。
- 特に、インドを除くアメリカやユーロ圏、ラテンアメリカやメキシコ、ブラジル等、新型コロナ感染者数が多い地域ほど経済への影響が深刻であるものと推察され、2020 年の GDP 成長予測のマイナス幅が大きくなっている。
- 日本は他国に比べて、2020 年の GDP 成長予測のマイナス幅は抑えられているが、2021 年の回復見通しは緩やかとなっている。
- 中国は 2020 年の GDP 成長予測が唯一プラスとなっている。
- 四半期毎の世界 GDP を見ると、2020 年第 2 四半期に底を打ち、その後、2021 年には 5.4%へ回復する見通しとなっている。
- 2019 年（第 1 四半期を 100 とする）と比較すると、全体的に 2020 年の世界 GDP は落ち込むものの、2021 年は 2019 年をやや上回る水準で推移すると予測される。
- 中国は 2020 年第 1 四半期に GDP 成長率が底を打つが、「先進国・地域」や「新興市場国と発展途上国」よりも先に回復する見込みとなっている。一方、「先進国・地域」は 2021 年には回復傾向を示すものの、2019 年の水準を下回る見通しとなっている。

図表 3 実質 GDP 成長率 見通し

(実質GDP 年間の増減率、%)	2019年	2020年 (予測)	2021年 (予測)
世界GDP	2.9	-4.9	5.4
先進国・地域	1.7	-8.0	4.8
アメリカ	2.3	-8.0	4.5
ユーロ圏	1.3	-10.2	6.0
ドイツ	0.6	-7.8	5.4
フランス	1.5	-12.5	7.3
イタリア	0.3	-12.8	6.3
スペイン	2.0	-12.8	6.3
日本	0.7	-5.8	2.4
イギリス	1.4	-10.2	6.3
カナダ	1.7	-8.4	4.9
その他の先進国・地域	1.7	-4.8	4.2
新興市場国と発展途上国	3.7	-3.0	5.9
アジアの新興市場国と発展途上国	5.5	-0.8	7.4
中国	6.1	1.0	8.2
インド	4.2	-4.5	6.0
ヨーロッパの新興市場国と発展途上国	2.1	-5.8	4.3
ロシア	1.3	-6.6	4.1
ラテンアメリカ・カリブ諸国	0.1	-9.4	3.7
ブラジル	1.1	-9.1	3.6
メキシコ	-0.3	-10.5	3.3
中東・中央アジア	1.0	-4.7	3.3
サウジアラビア	0.3	-6.8	3.1
低所得途上国	5.2	-1.0	5.2

図表 4 四半期毎の世界 GDP

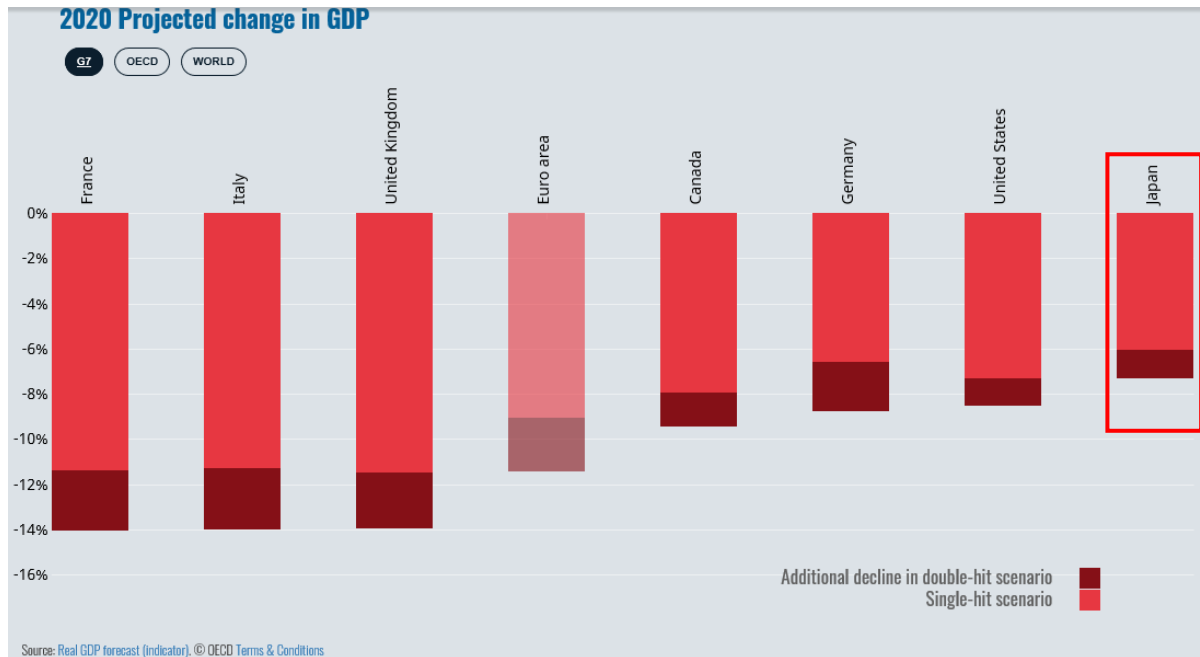


出所：国際通貨基金 2020 年 6 月「世界経済の見通し（WEO）」改訂見通しを元に作成

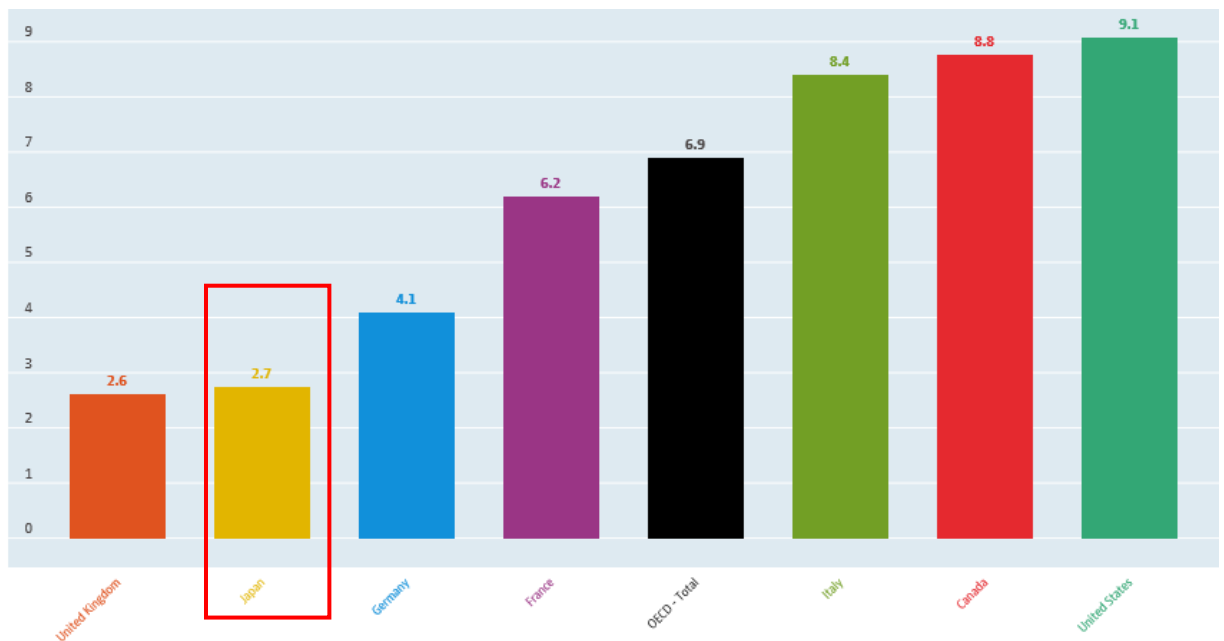
(3) 世界経済の見通し② (OECD レポートより)

- 欧州諸国の GDP は、コロナ禍に伴う厳しい規制やロックダウンによる経済への影響により、GDP の落ち込みが－10% 以上（第 2 波シナリオ時）となっている。
- 米国の GDP は第 2 波シナリオ時には－8.5% の下落となっており、日本は主要国の中では最も落ち込みが小さい水準にとどまっている。
- 世界の失業率は、G7 で見ると、米国 9.1%、カナダ 8.8%、イタリア 8.4% の順になっている。日本は 2.7% と主要国の中では比較的低い水準を保っている。

図表 5 第 1 波、第 2 波シナリオ時の世界の GDP 見通し（主要国 G7）



図表 6 世界の失業率の状況（主要国 G7）（2019 年 5 月～2020 年 7 月）



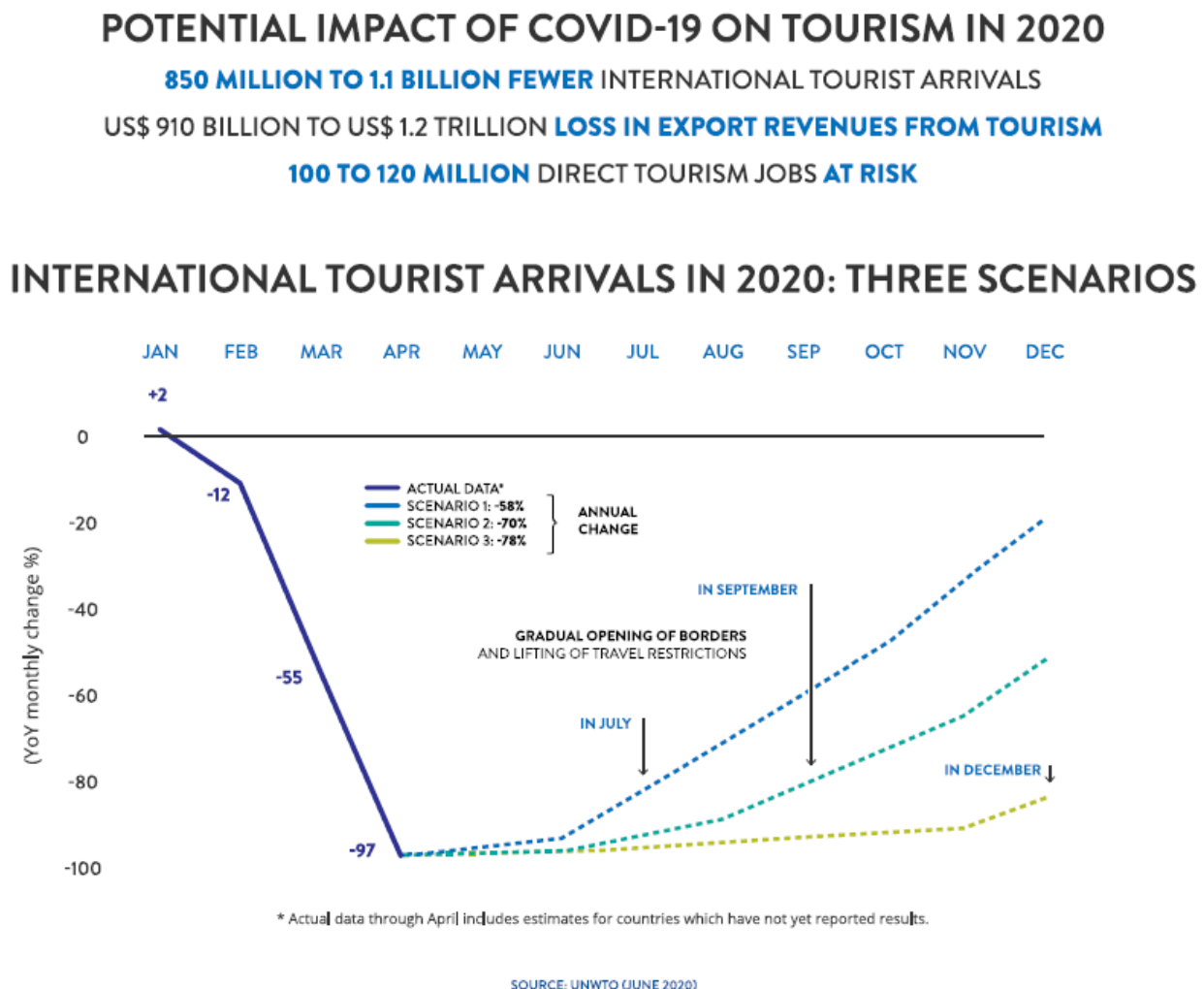
出所：OECD

(4) 2020 年 国際観光客の見通し (UNWTO より)

- UNWTO (国連世界観光機関) によると、コロナ禍による国際観光への潜在的な影響に伴い、2020 年は 8.5 億人～11 億人の国際観光客数の落ち込みや、9,100 億 US\$～1.2 兆 US\$ の収益減、観光業界に携わる 1～1.2 億人規模の雇用リスクが予測されている (2018 年国際観光客到着数 14 億人、国際観光輸出額 1.7 兆 US\$)。
- UNWTO は 2020 年の国際観光客数の動向について、3 つのシナリオを提示しており、国境の段階的な開放と旅行制限が解除される時期によって、国際観光客数は 58%～78%減少する可能性が示唆されている。シナリオ 1 は国際観光客数がマイナス 58%のケース、シナリオ 2 はマイナス 70%のケース、シナリオ 3 はマイナス 78%のケースである。
- 5 月中旬以降、UNWTO は観光再開にあたり、各国の国内観光を促進するために安全衛生対策等の強化を図る措置を講じるようにとしている。

(注) WTTC (世界旅行ツーリズム協議会) によると 2018 年の世界の旅行・観光産業従事者は 3 億 1,900 万人

図表 7 国際観光客数の動向 (2020 年 3 つのシナリオ)



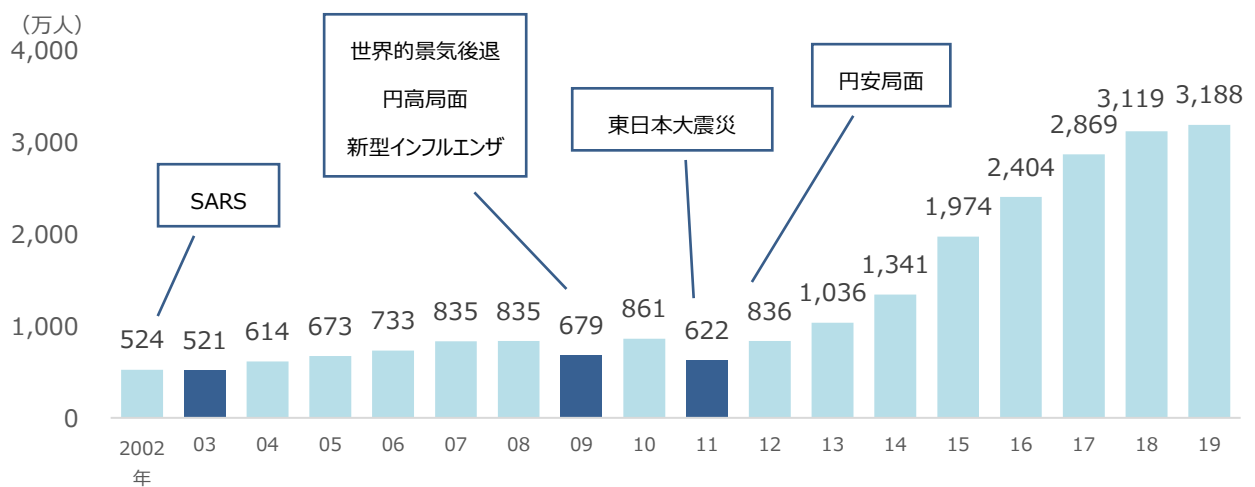
出所： UNWTO (2020 年 6 月 22 日 news release)

2. 日本のインバウンド誘客の動向

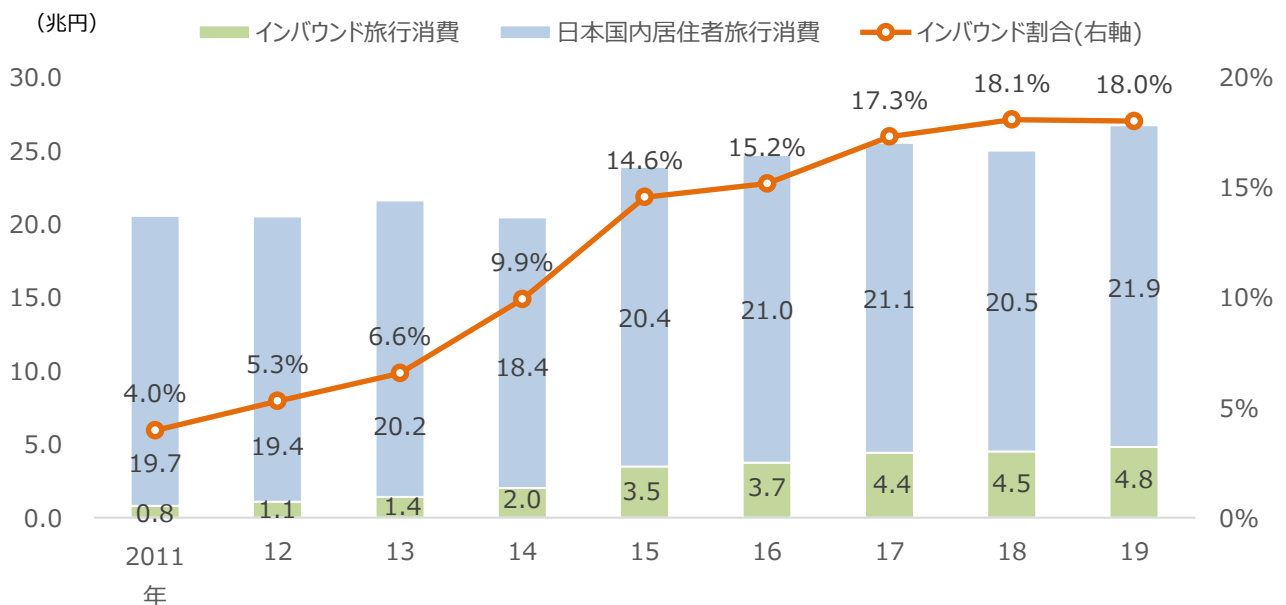
(1) インバウンド客数の推移とインバウンド旅行消費額の推移

- 政府は 2013 年に「観光立国実現に向けたアクションプログラム」を策定し、インバウンド獲得のための訪日プロモーションとともに、訪日ビザの発給要件の緩和や免除、消費税免税の対象拡充・手続き簡素化、航空ネットワークの拡大・強化、出入国手続きの簡素化等のインバウンド政策を展開してきた。
- これら政策の効果により、2019 年の訪日旅行者数は約 3,188 万人と過去最高を記録しており、訪日旅行者の旅行消費額も約 4.8 兆円に達した。
- 観光消費額のうち、インバウンドの割合は右肩上がりに上昇しており、2019 年には約 2 割を占める規模となっている。インバウンドが好調な一方、国内需要は伸び悩んでいる。

図表 8 インバウンド客数の推移



図表 9 国内外の観光消費額の推移

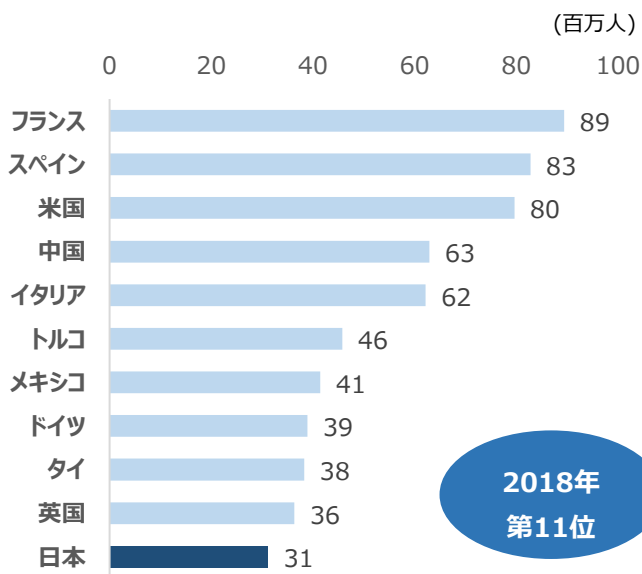


出所：観光庁 旅行・観光消費動向調査

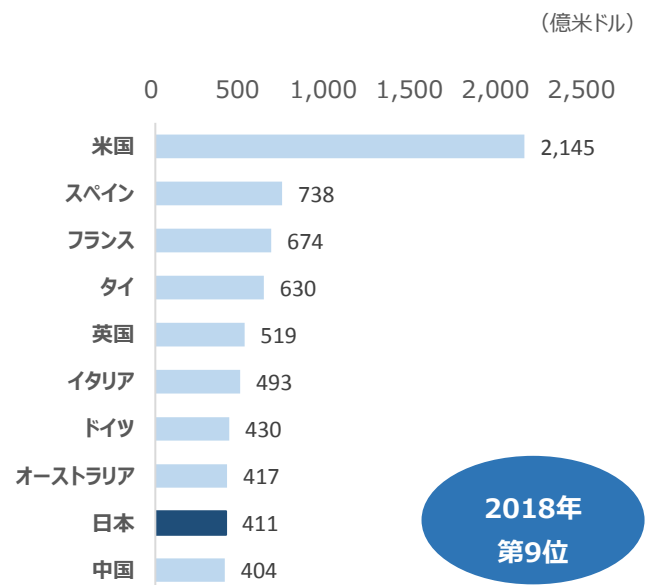
(2) 世界のインバウンド客数・国際観光収入ランキングとインバウンド客数成長率・国際観光収入成長率

- 我が国のインバウンドマーケットは急速に成長し、2018 年ベースでは、インバウンド客数は世界 11 位、国際観光収入は世界 9 位と、世界の中で観光立国としてのポジションを高めている。
- UNWTO の「International Tourism Highlights 2019Edition」によると、2018 年時点の訪日旅行者数（約 3,120 万人）は世界のインバウンド市場のうち 11 位となっており、アジアでは中国、タイに次ぐ 3 位である。また、国際観光収入（2018 年約 4.5 兆円・411 億 \$）は世界 9 位であり、アジアではタイに次ぐ 2 位となっている。このような日本の成長は世界的に見ても非常にスピードが速く、日本は世界のインバウンドマーケットの中で急速にポジションを高めている。

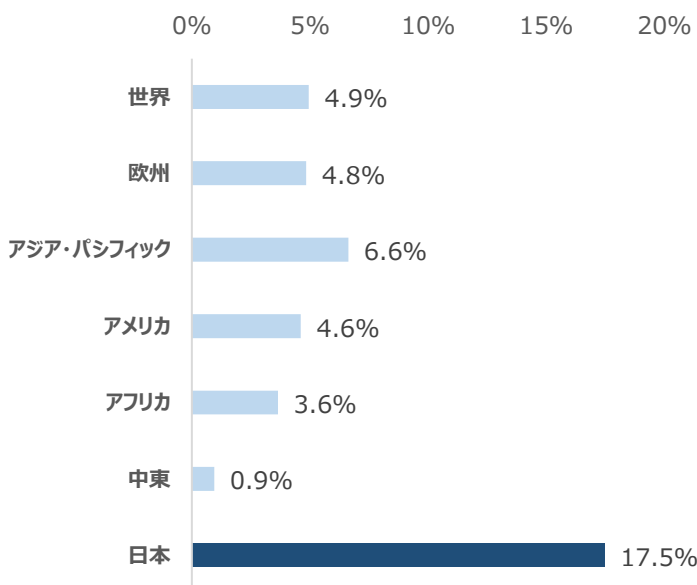
図表 10 世界のインバウンド客数ランキング



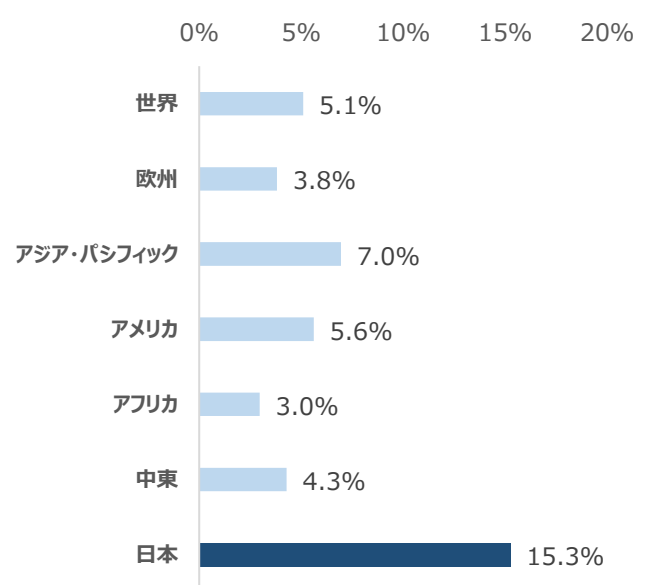
図表 11 世界のインバウンド国際観光収入ランキング



図表 12 インバウンド客数成長率（10－18 年平均）



図表 13 国際観光収入成長率（10－18 年平均）

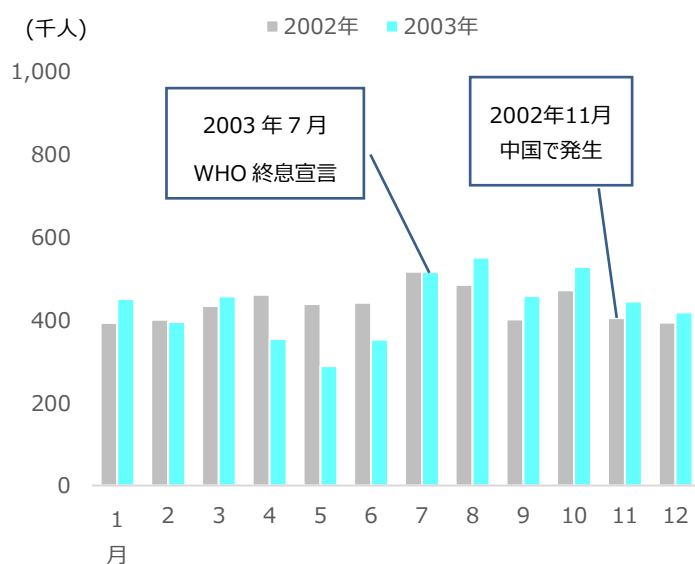


出所:UNWTO

(参考) 過去発生した非常事態例とインバウンド客数の推移

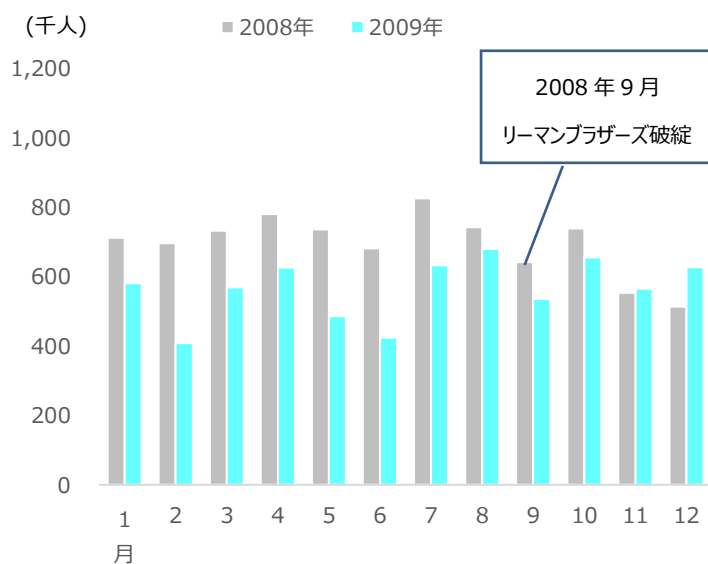
- 2002 年 11 月に中国で初めて SARS の発症が報告され、以降アジアやカナダを中心に感染が拡大した。日本への影響は 2003 年 4 月頃から見え始め、WHO から終息宣言が出される同年 7 月まではインバウンド客数が下降したものの、以降は前年同月比でプラスとなり、3 カ月程度と比較的短期間で回復した。
- 2008 年 9 月のリーマンブラザーズ経営破綻を引き金とし世界規模の金融危機が起こった。同年 11 月以降のインバウンド客数は前年同月を下回り続け、回復までに 1 年を要した。
- 2011 年 3 月は東日本大震災が発生した。9 月に開始したビジット・ジャパン・キャンペーンの効果もあり、同年末にはおおよそ前年同月水準近くのインバウンド客数を確保するに至った（9 カ月程度で回復）。
- 2019 年 12 月に中国武漢市で発生報告があった新型コロナにより世界経済は壊滅的な打撃を受け、2019 年には過去最高の訪日外客数を記録したものの、2020 年 2 月からそのマイナスの影響が顕著に表れている。

図表 14 インバウンド客数の推移（SARS のケース）



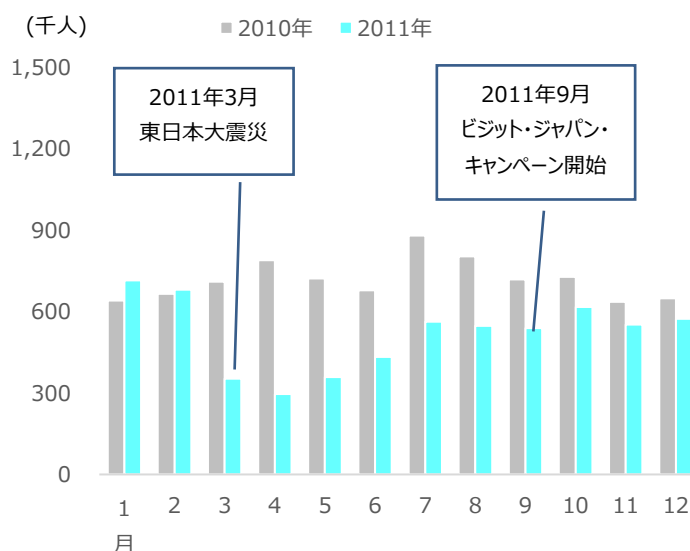
出所：JNTO 訪日外客数の動向

図表 15 インバウンド客数の推移（リーマンショックのケース）



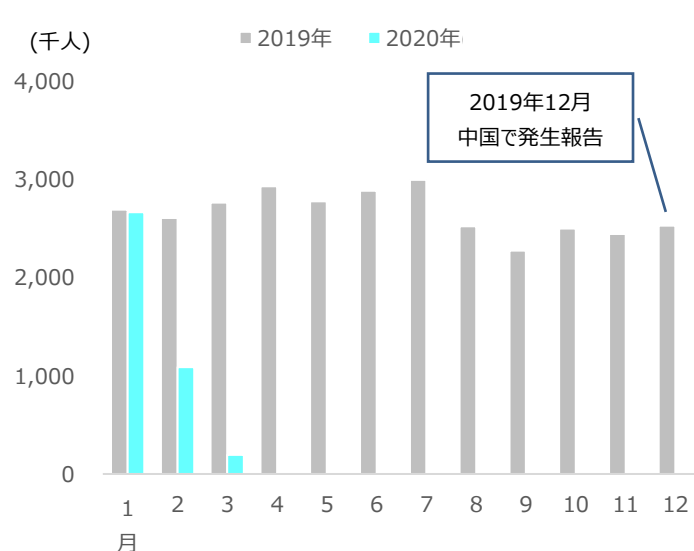
出所：JNTO 訪日外客数の動向

図表 16 インバウンド客数の推移（東日本大震災のケース）



出所：JNTO 訪日外客数の動向

図表 17 インバウンド客数の推移（新型コロナのケース）

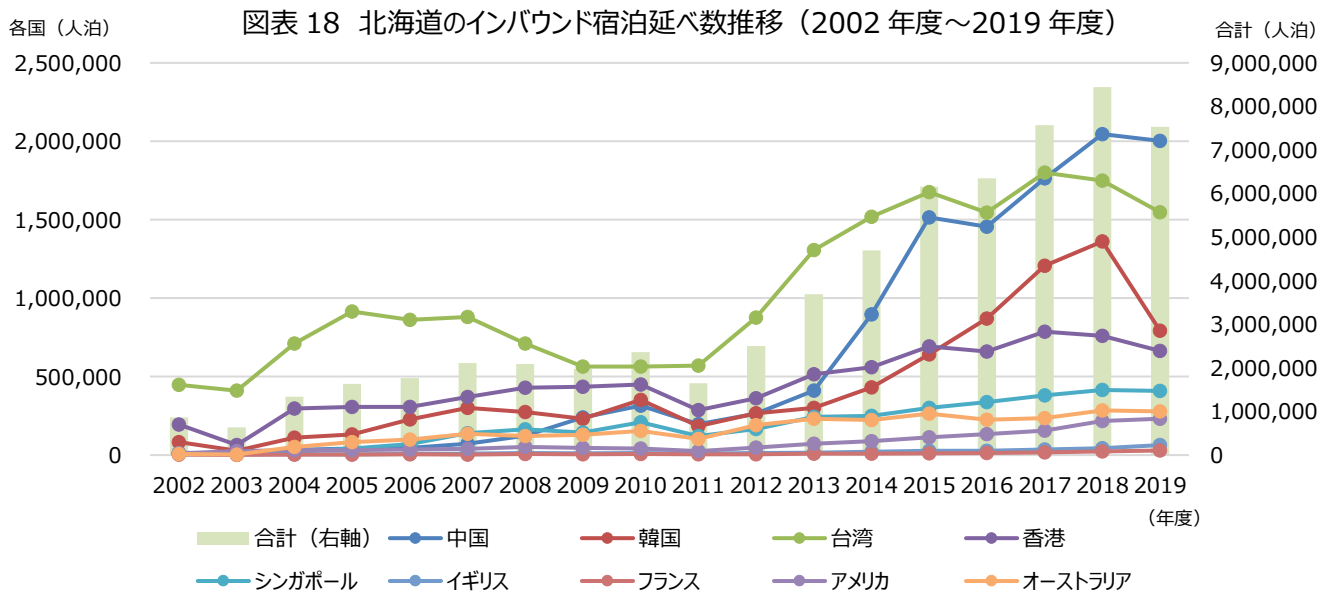


出所：JNTO 訪日外客数の動向

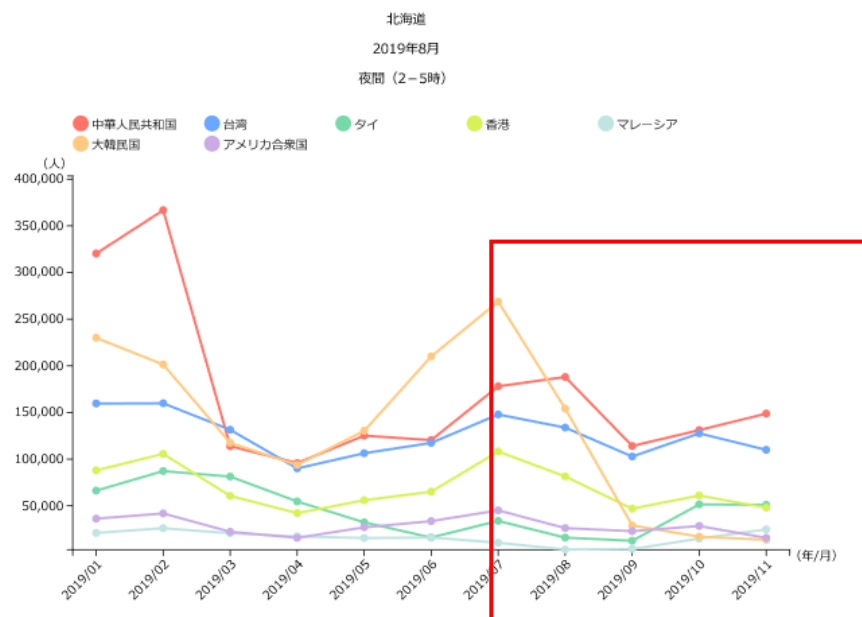
(3) 北海道地方の観光動向（北海道地方のインバウンド滞在者の推移、消費動向）

1) 滞在者数

- 北海道のインバウンド宿泊延べ数は中国、韓国、台湾をはじめ、近年増加基調にあったが、2019 年度は新型コロナの影響等により減少に転じた。
- 夜間（2-5 時）の滞在者数推移（2019 年 1 月-11 月）を見ると、韓国の夜間滞在者数は 2019 年 8 月以降、激減している。要因としては、2019 年の韓国での日本に対する不買運動により、韓国からの宿泊者が減少していることが背景にあると考えられる。



図表 19 夜間（2－5 時）の滞在者推移
国・地域別滞在者数の推移



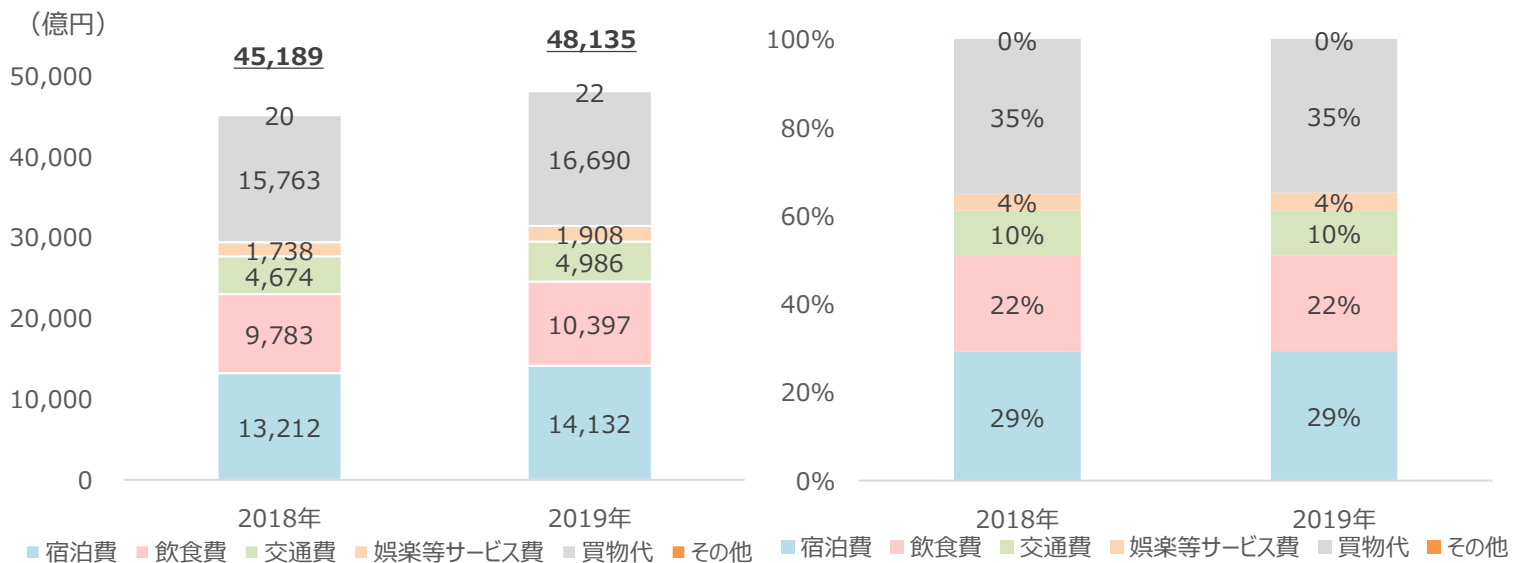
【原データ】株式会社 N T T ドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

【注記】滞在者数とは、指定地域の昼間帯（10 時から 18 時の間）または夜間帯（2 時から 5 時の間）に、2 時間以上滞在した外国人数を日別に算出し、対象期間の日数分を積算した延べ人数を表している。

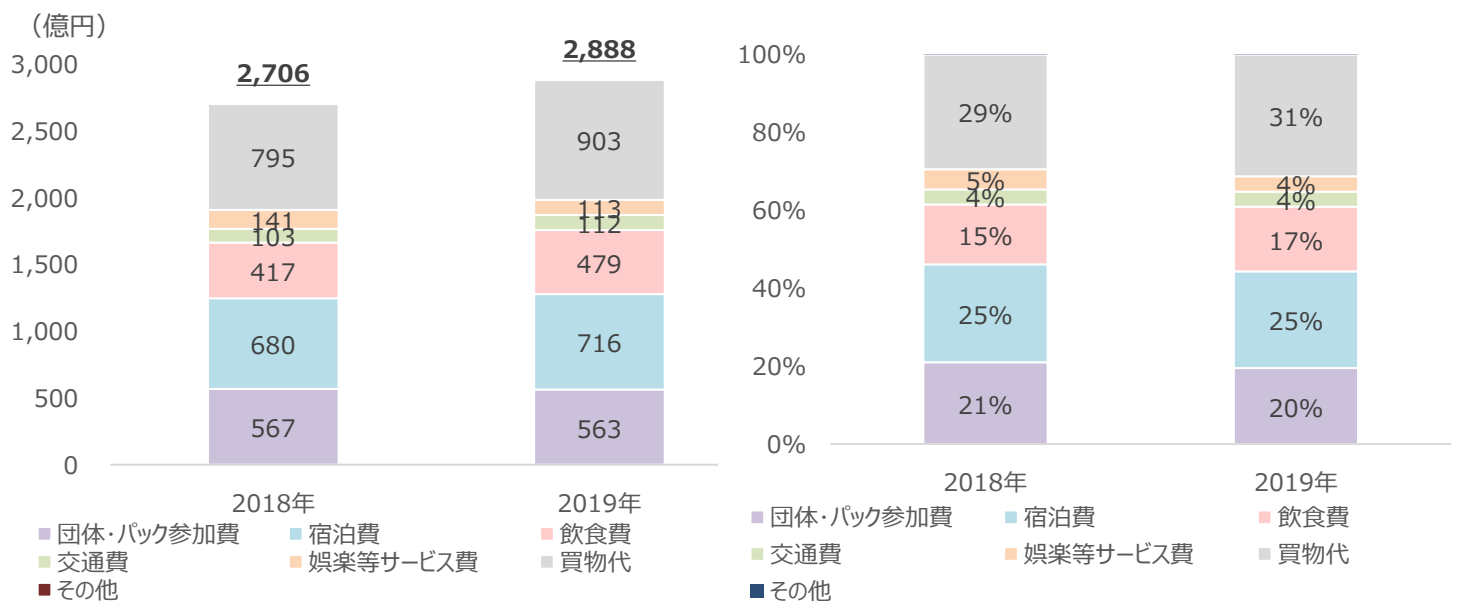
2) 観光消費額

- 消費動向を見ると、全国の観光消費額は 4.5 兆円から 4.8 兆円と増加している。内訳は「買物代」が 35%と最もウエイトが高い。
- 北海道の消費動向をみると、全国同様に増加しており、内訳を見ると、「買い物」「飲食」の占める割合が増加傾向にある。

図表 20 費目別観光消費額（2018 年、2019 年）
全国：実数（左図）、シェア（右図）



図表 21 北海道地方（実数）（左図）、シェア（右図）

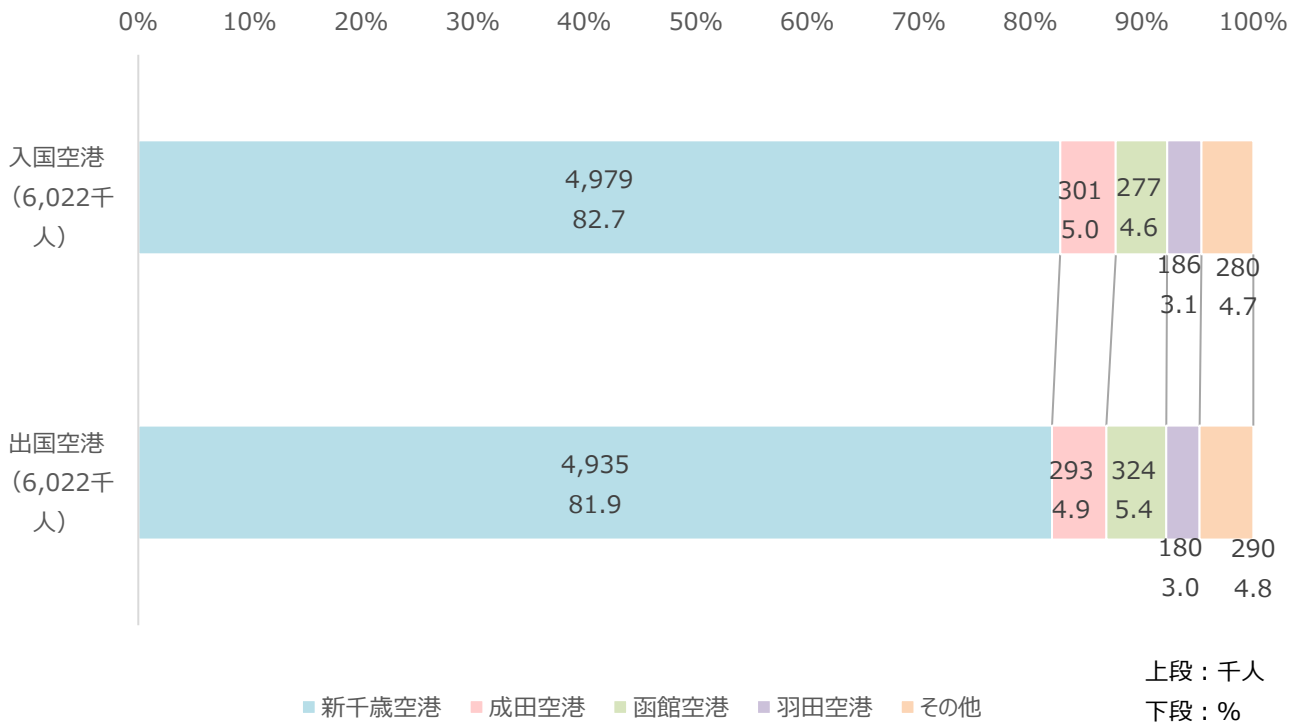


出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

3) 出入国空港

- 北海道のインバウンド出入国空港を見ると、新千歳空港から入国し、新千歳空港から出国するパターンが最も多く、出入国を合計すると、78.6%を占め、次が成田空港から入国し、成田空港から出国するパターンが多い。東京を經由せずに、直接、新千歳空港から北海道に入国し、出国しており、新千歳空港が北海道の空の玄関口となっている点特徴的である。

図表 22 北海道 入国空港 x 出国空港内訳 (2018 年すべての期間 全目的)



図表 23 出入国空港の合計ランキング

順位	北海道	総数：6,022,052 人
1 位	新千歳（入）×新千歳（出）	4,731,364 人（78.6%）
2 位	成田（入）×成田（出）	215,633 人（3.6%）
3 位	新千歳（入）×函館（出）	153,241 人（2.5%）
4 位	羽田（入）×羽田（出）	125,247 人（2.1%）
5 位	函館（入）×新千歳（出）	111,001 人（1.8%）

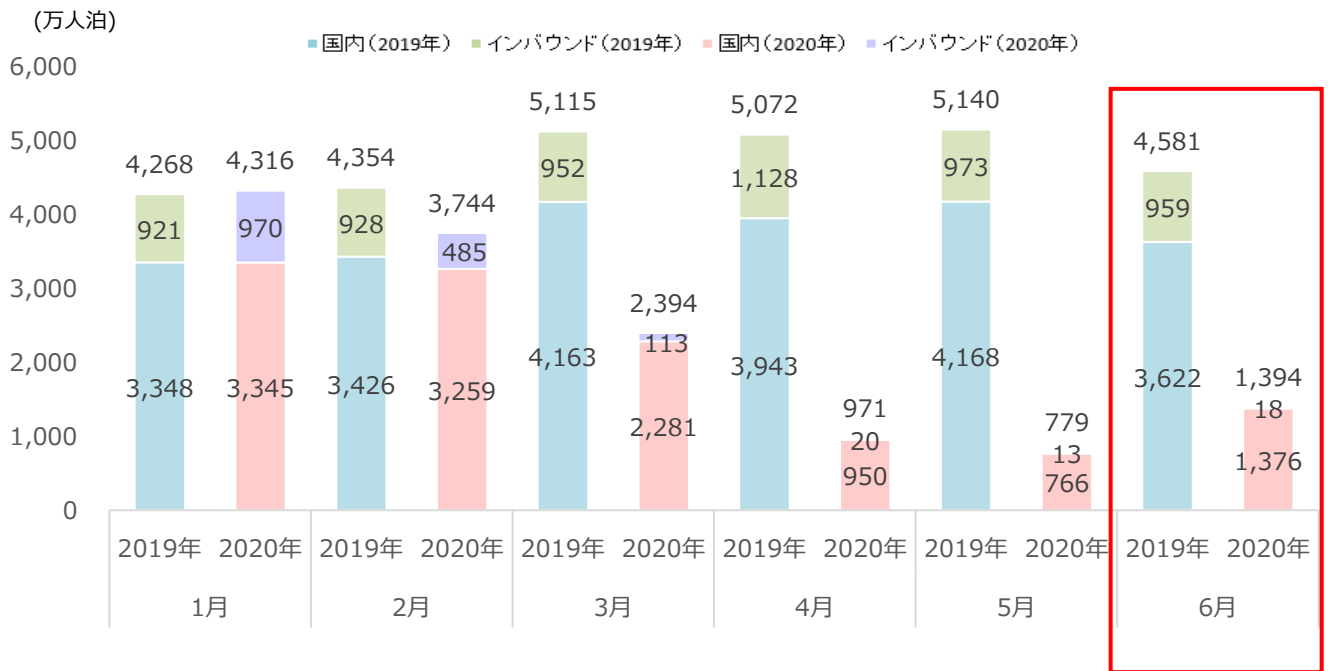
出所：RESAS「観光マップ」>「外国人入出国空港分析」

【原データ】国土交通省「FF-Data（訪日外国人流動データ）」より作成

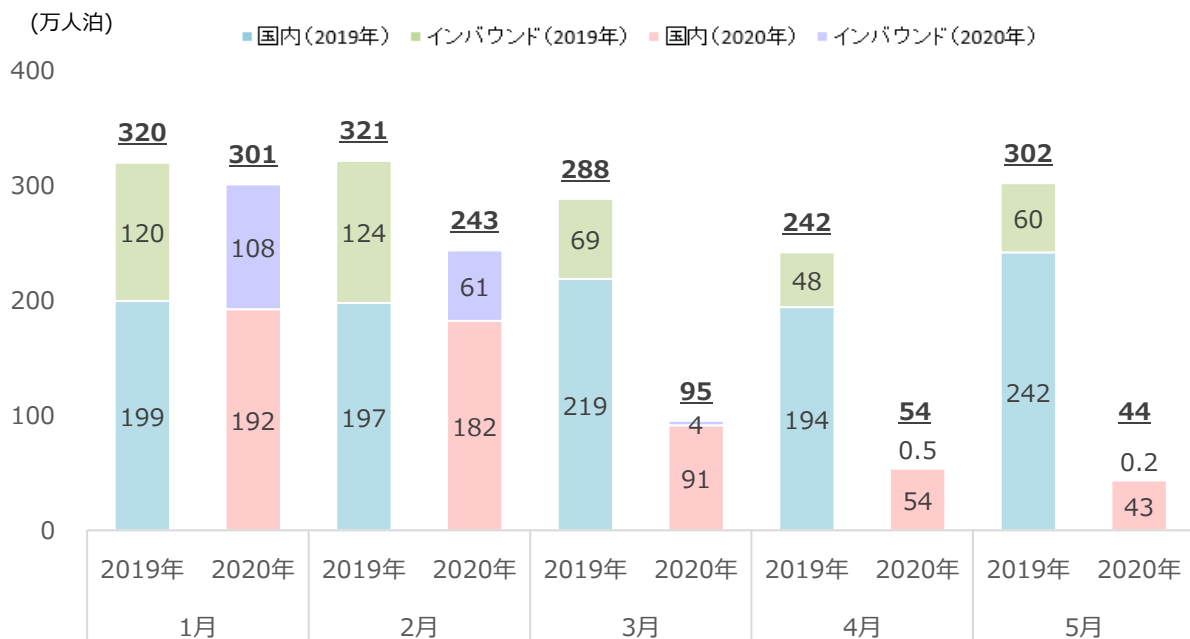
(4) 新型コロナ拡大前後の地域別延べ宿泊者数（月別）

- 新型コロナが拡大した前後の地域別延べ宿泊者数を見ると、2020 年 1 月までは概ね前年同水準を維持していたが、2 月以降は激減し、2020 年 6 月現在では前年同月の 3 割程度にまで落ち込んだ。
- 国内宿泊者数の減少も然ることながら、インバウンドの減少幅は特に大きく、2020 年 5 月の水準は前年同月比で 99% のマイナスを記録し、緊急事態宣言解除後の 6 月に若干回復をみせている。北海道については、1 月には延べ宿泊者数が約 3 百万人であったが、5 月には 44 万人にまで減少し、外国人については、約 2 千人にまで減少した。

図表 24 新型コロナ拡大前後の地域別延べ宿泊者数（全国）



図表 25 新型コロナ拡大前後の地域別延べ宿泊者数（北海道地方）



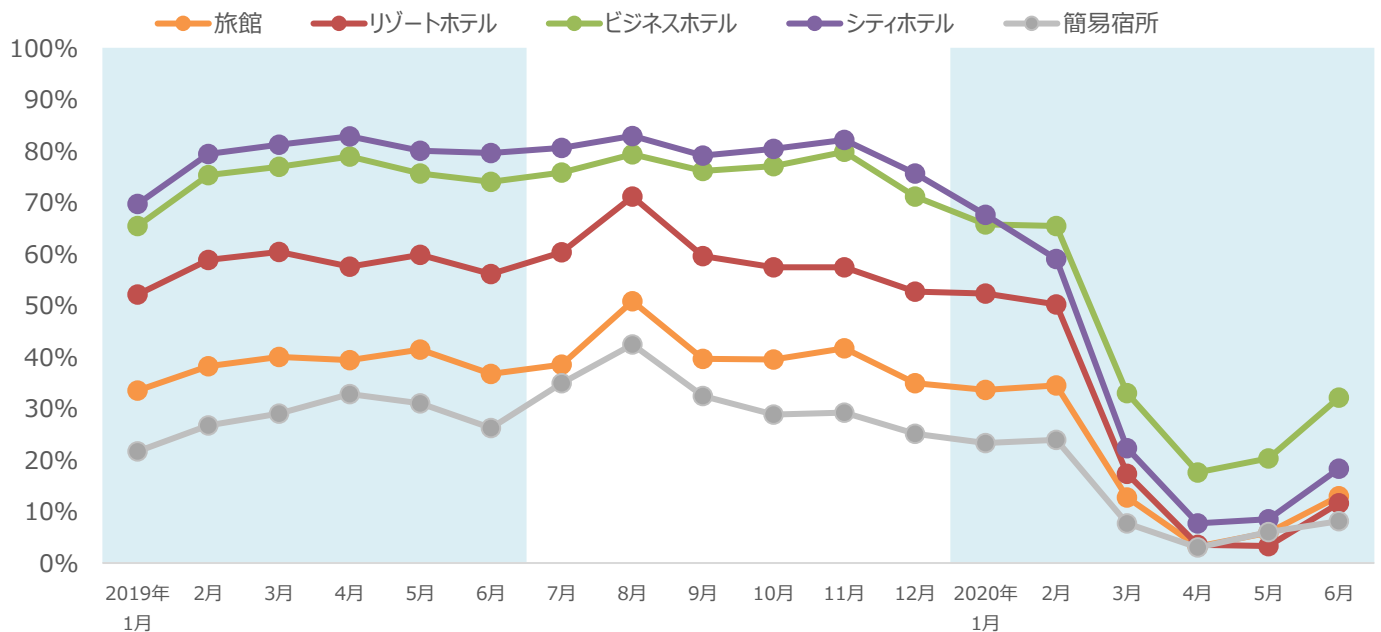
出所：観光庁「宿泊旅行統計」

注：速報のため北海道方のデータは 5 月までとなっている。

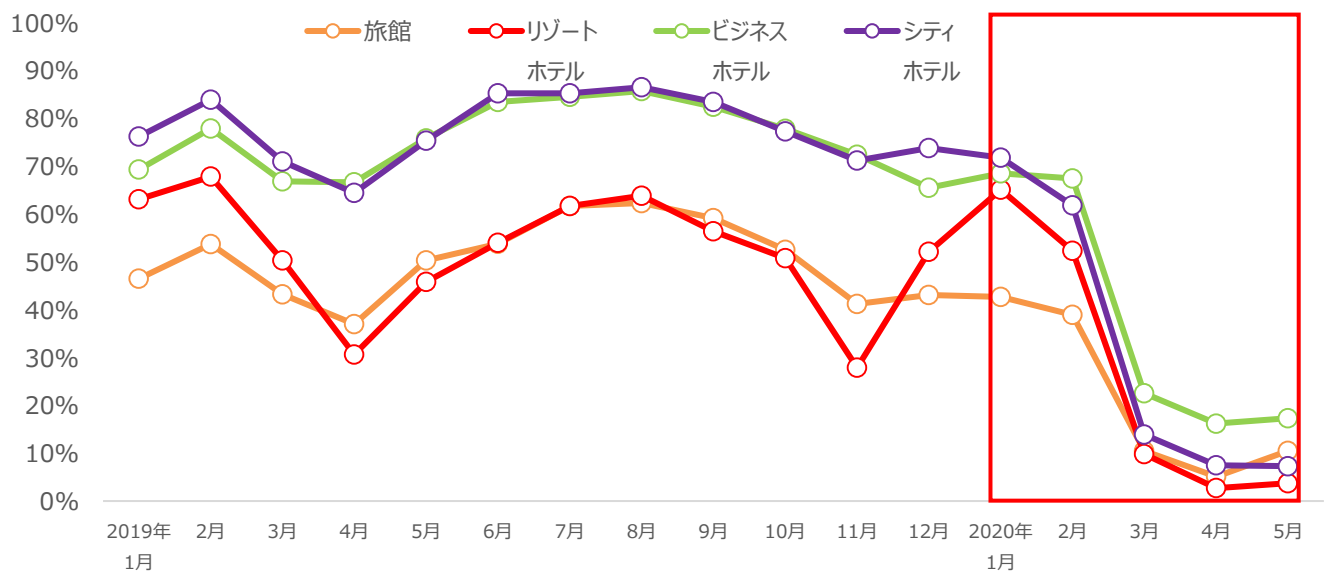
(5) 新型コロナ拡大前後の地域別客室稼働率（月別）

- 新型コロナが拡大した前後の地域別客室稼働率の推移を見ると、2020 年 1 月までは前年同月程度の稼働率を維持していたが、同年 2 月には全施設タイプで前年割れとなり、同年 3 月には急降下している。
- 新型コロナ拡大以前は最も稼働率が高かったシティホテルでは、2019 年 4 月の稼働率 82.8%から 2020 年 4 月には 7.7%にまで低下し、緊急事態宣言が解除された後の 6 月は 18.3%に微増した。
- 北海道についてみると、同様に 3 月以降は急激に減少しており、ビジネスホテルについては約 7 割～8 割の水準にあった稼働率が約 2 割にまで減少したが、5 月に入り若干上昇している。

図表 26 新型コロナ拡大前後の客室稼働率（全国）



図表 27 新型コロナ拡大前後の地域別客室稼働率（北海道地方）



注：速報のため北海道のデータは 5 月までとしている。

出所：観光庁「宿泊旅行統計」

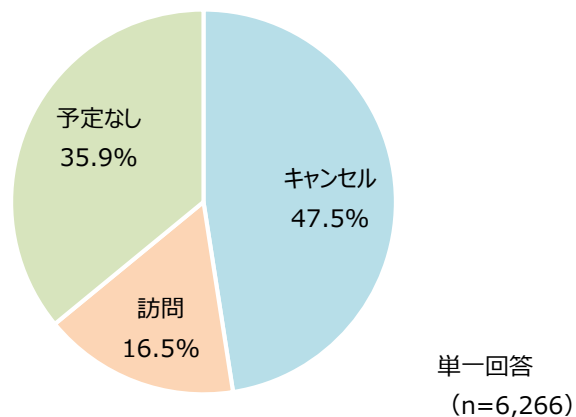
3. DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査結果

(1) 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の海外訪問の動向

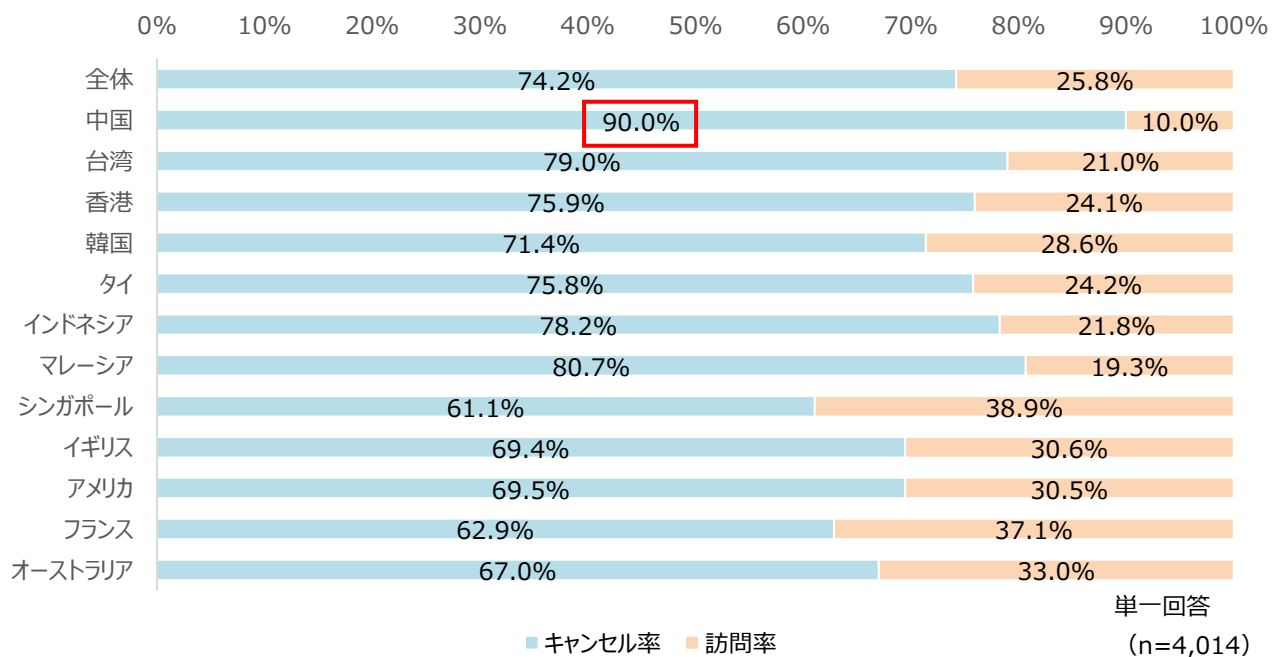
1) 海外訪問状況

- 回答者数のうち、キャンセルした人が 47.5%、実際に訪問した人は 16.5%とキャンセルした人が約半数を占めていた。
- 訪問率とキャンセル率を国籍別でみると、アジア人は欧米豪人に比し、キャンセル率が高く、特に中国のキャンセル率が 9 割と突出して高い。
- 訪問先別の訪問率とキャンセル率をみると、日本（77.9%）は全体のキャンセル率（74.2%）と大きな乖離はない。

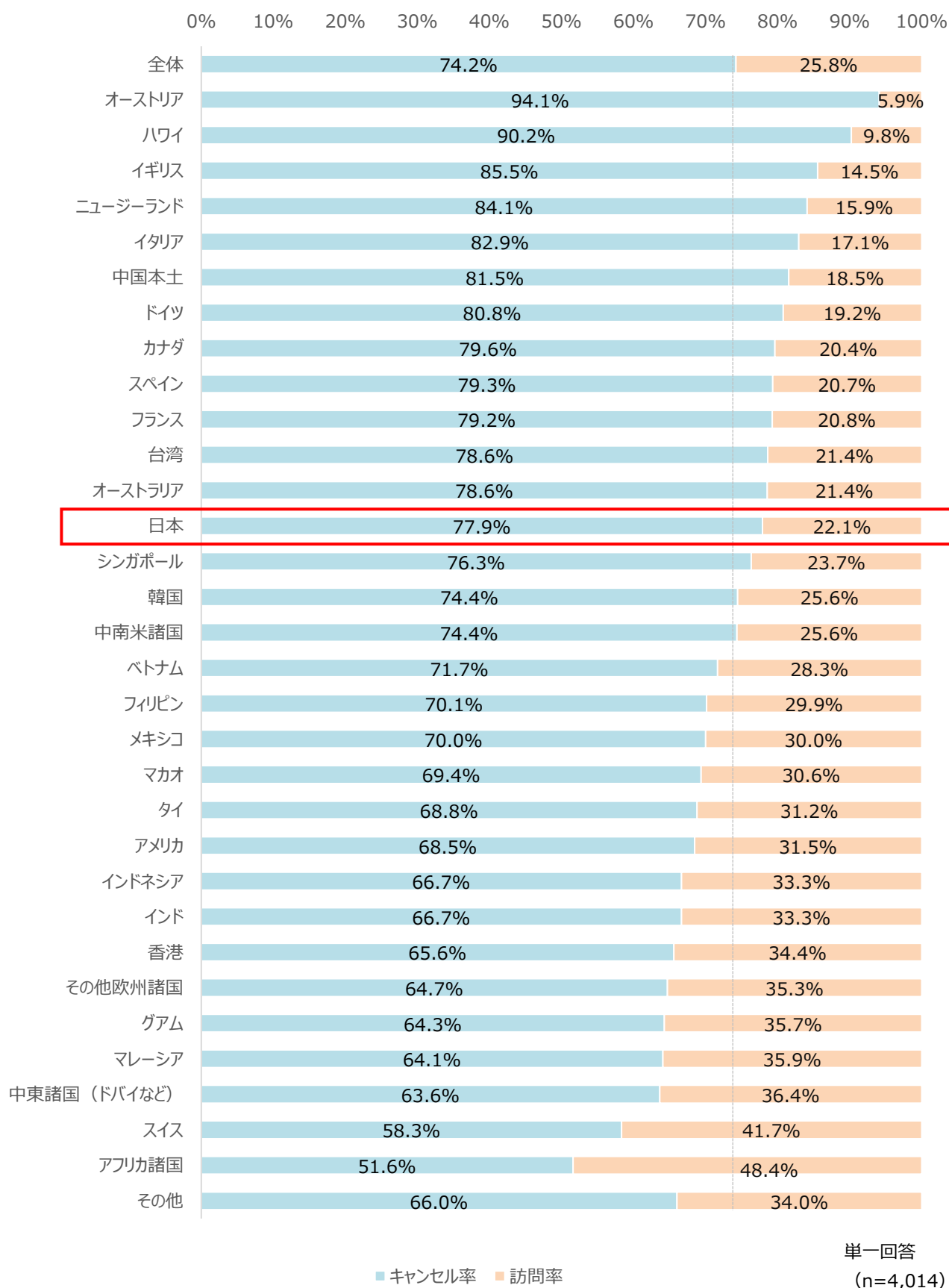
図表 28 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の海外訪問の状況（全体／国籍別）



図表 29 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の海外訪問率／キャンセル率（全体／回答者国籍別）



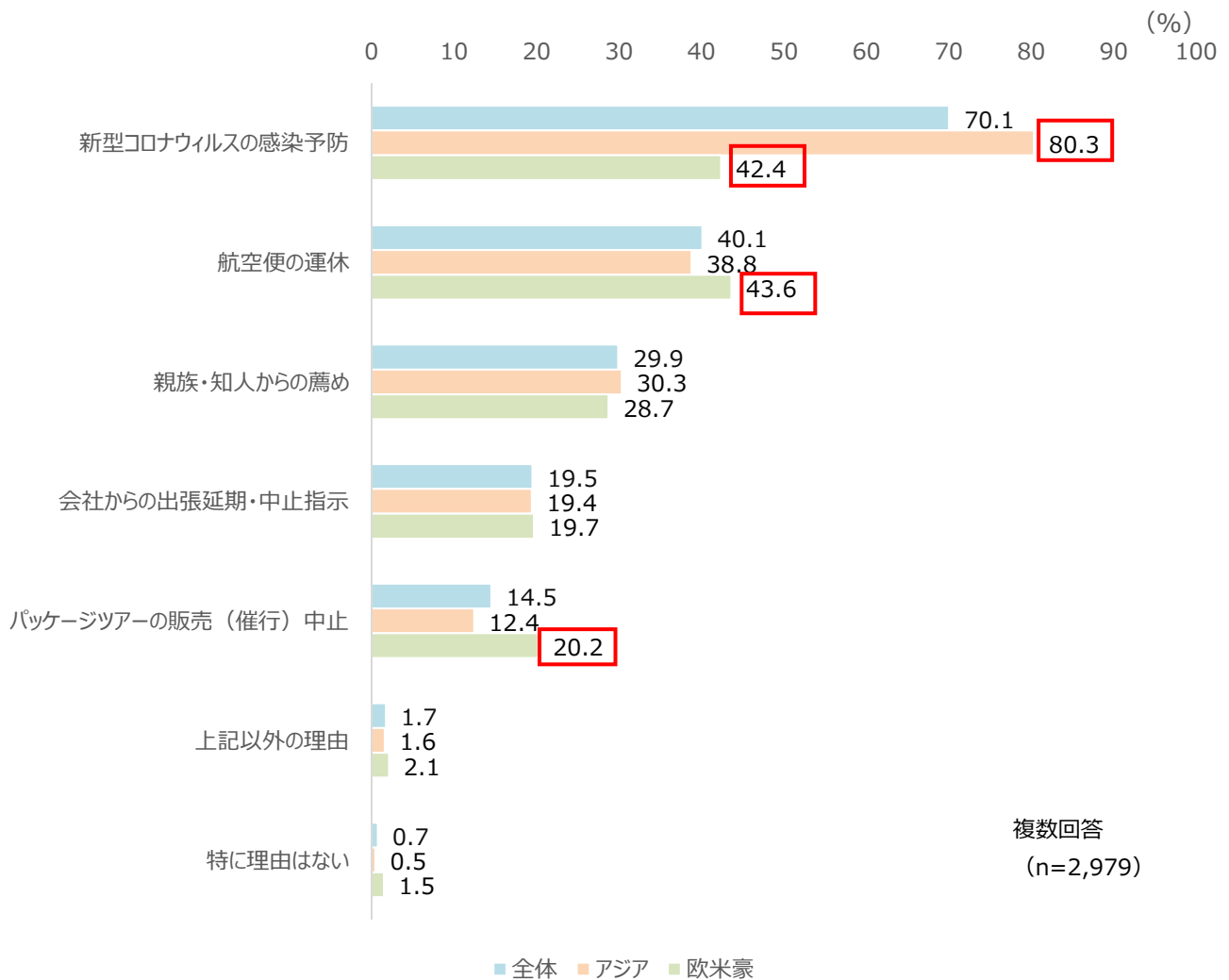
図表 30 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の海外訪問率／キャンセル率（訪問国・地域別）



2) 海外訪問のキャンセル理由

- 海外訪問をキャンセルした理由は、「新型コロナへの感染予防」が最も多い。
- 特にアジアは、欧米豪よりも「新型コロナへの感染予防」を海外訪問のキャンセル理由として挙げている割合が高い。一方、欧米豪は、「航空便の運休」や「パッケージツアーの販売（催行）中止」がアジアよりも高いことから、新型コロナへの感染予防だけでなく、移動制限も海外訪問をキャンセルした要因となっているといえる。

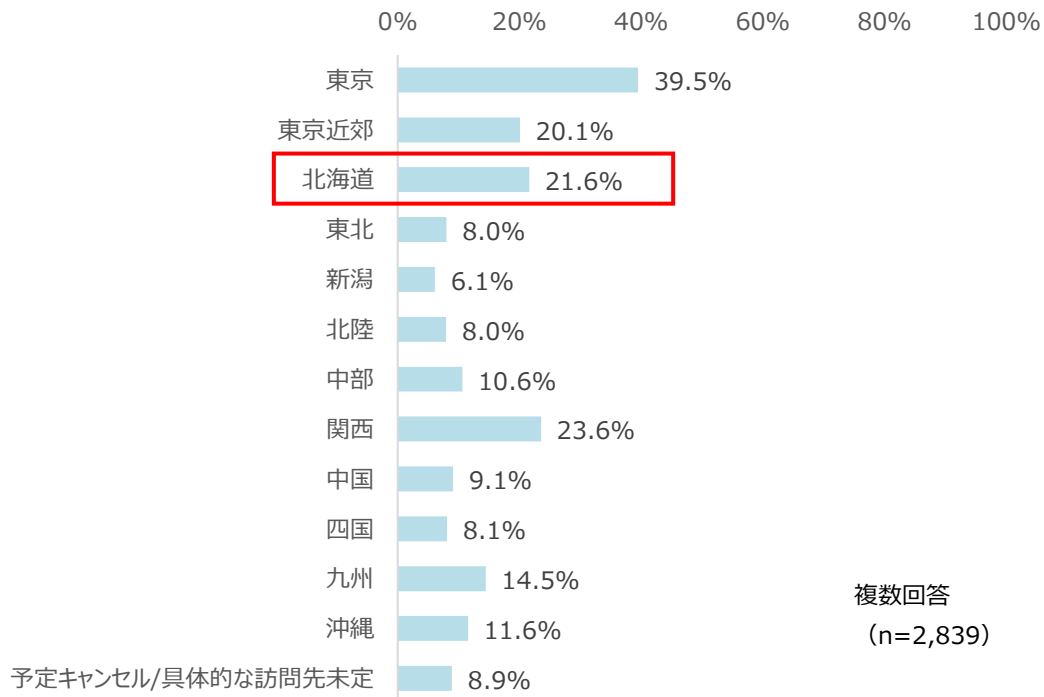
図表 31 キャンセル理由（全体／アジア／欧米豪別）



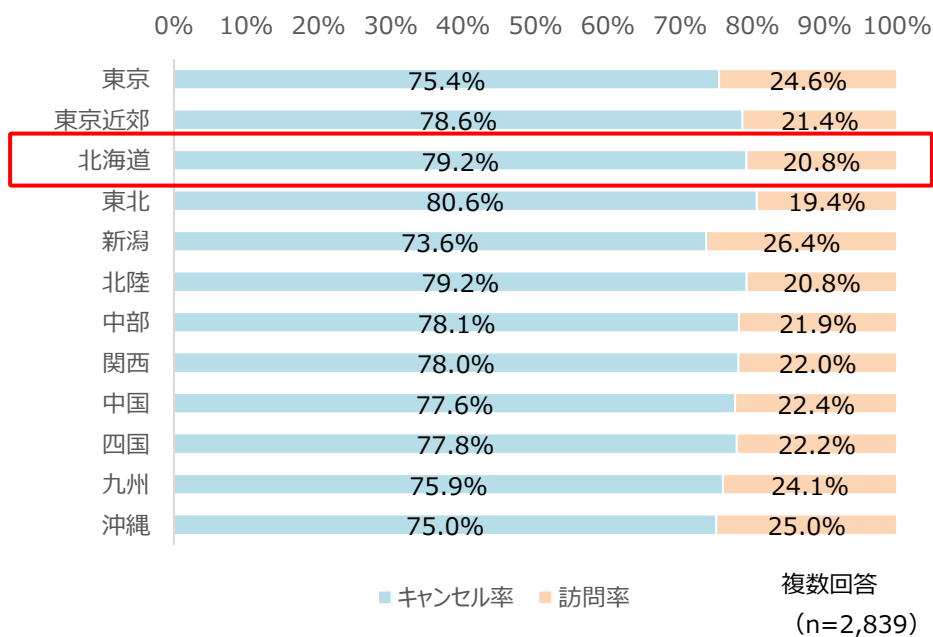
3) 日本各地への訪問状況

- 日本各地への訪問状況を見ると、北海道は東京、関西に次ぐ訪問もしくは訪問予定地であり、人気の高い訪問地であることがうかがえる。
- 地域別キャンセル状況をみると、北海道行きをキャンセルした人は、約 8 割となっている。

図表 32 訪問／訪問予定地域



図表 33 地域別キャンセル状況

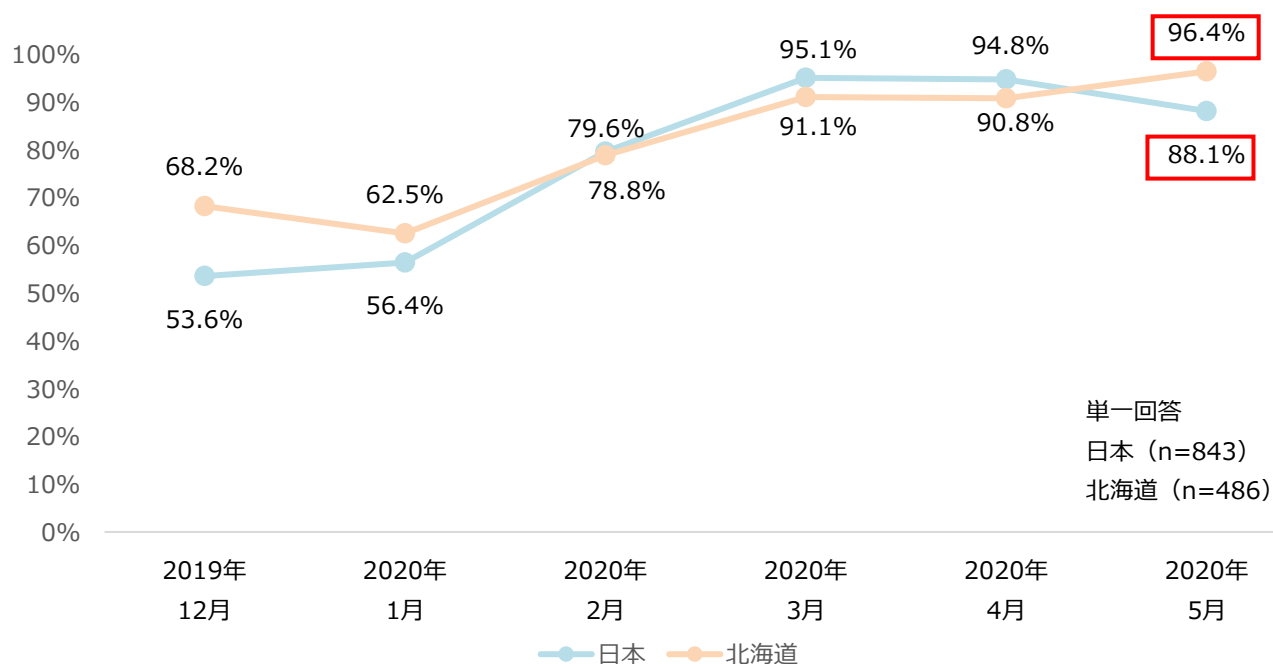


注：東京近郊の例は横浜、箱根、軽井沢、日光

4) 訪問時期／キャンセル時期

- 月別訪問/キャンセル状況についてみると、北海道旅行は、2020年2月からキャンセルが増加している。背景には北海道地方への航空便の減少があることが考えられる。2019年12月に北海道のキャンセル率が高い理由としては、2019年秋以降の韓国の不買運動が背景にあると考えられる。3月に日本全体のキャンセル率が高まった理由としては、海外からの入国制限が影響を及ぼしていると考えられる。
- 日本全体と比較すると、北海道は2020年5月に入り、96.4%と全国平均（88.1%）を上回っている。

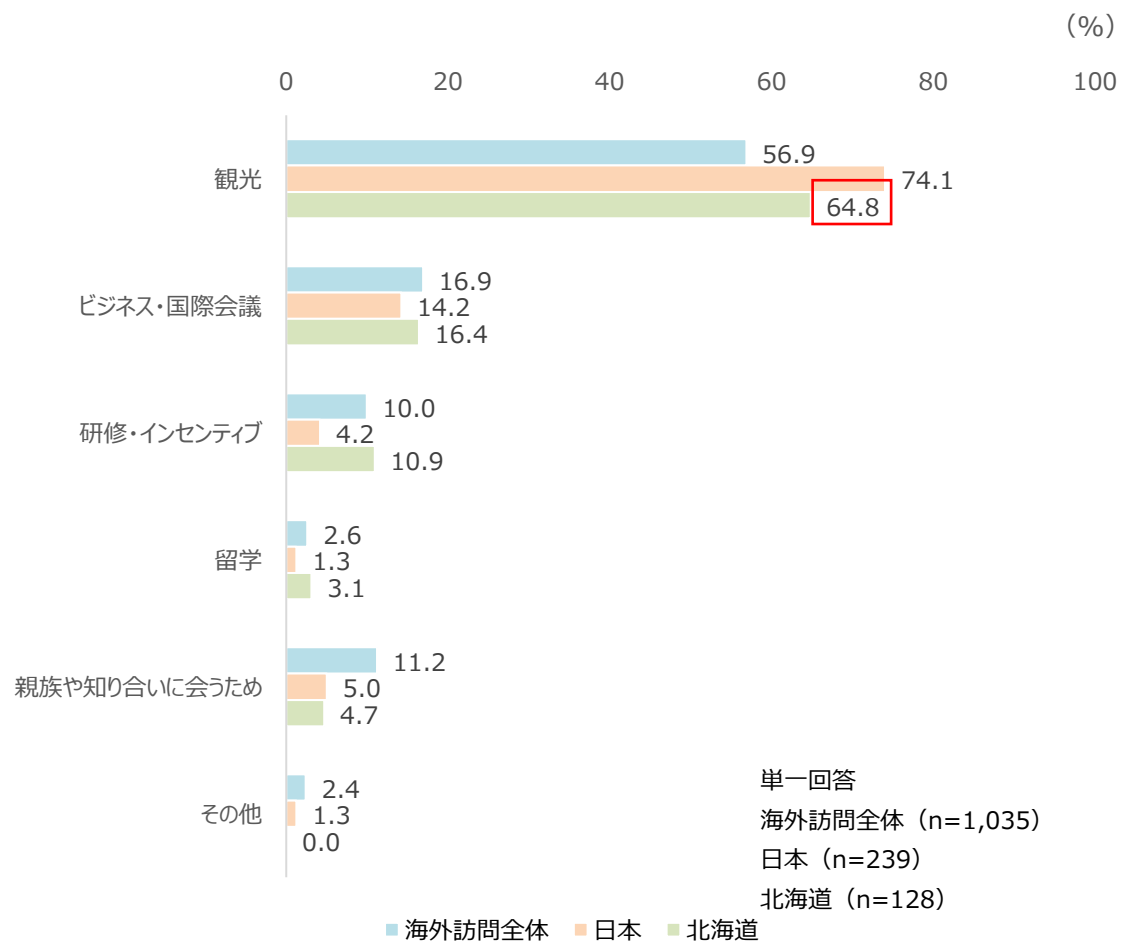
図表 34 キャンセル状況比較（日本／北海道）



5) 日本への往訪／キャンセル理由

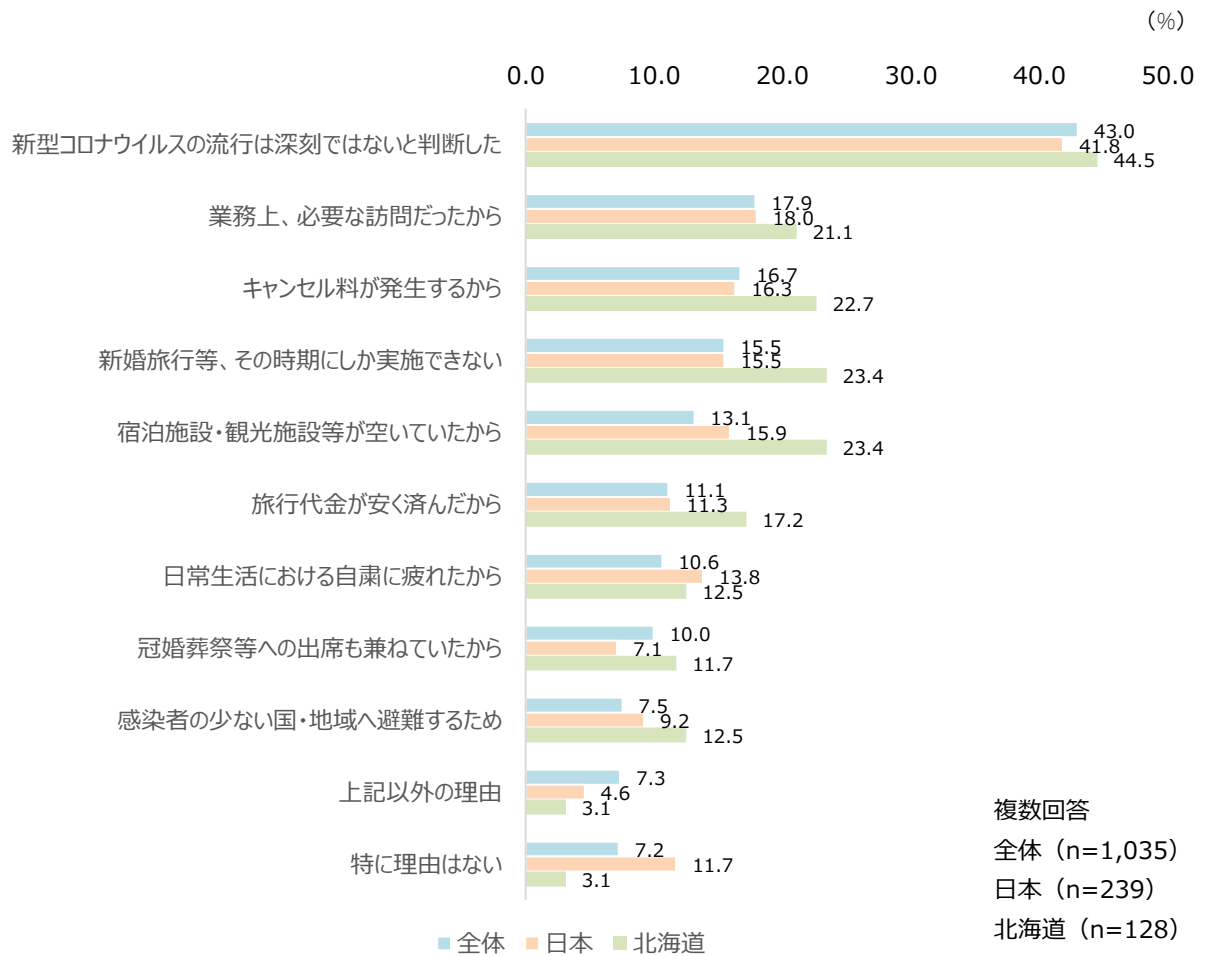
- 日本および北海道への訪問目的は「観光」が最も多い。
- 往訪理由については、「新型コロナの流行は深刻ではないと判断」「業務上、必要な訪問」といった理由の占める割合が高い。
- キャンセル理由をみると、「新型コロナ感染予防」が多く、特に北海道では「航空便の運休」の他に、「親族・知人からの勧め」等新型コロナ感染症予防以外の理由が全体／日本と比較して高い。日本におけるコロナ禍の状況が海外現地の親族や知人に適切に伝わっていない可能性も考えられる。

図表 35 往訪目的（海外全体／日本／北海道別）



※全体と日本は 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の直近 1 回の回答、北海道は同期間全ての回答。

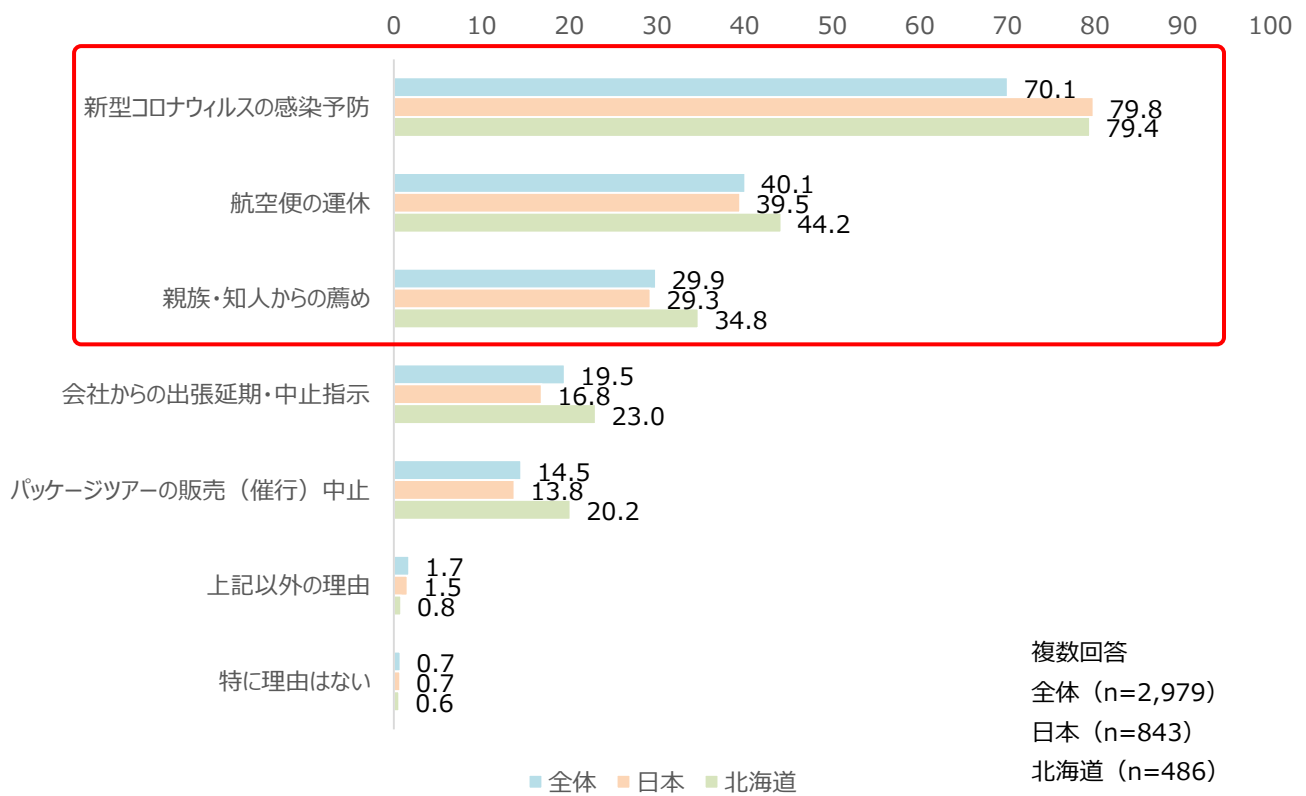
図表 36 往訪理由（海外全体／日本／北海道別）



※全体と日本は 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の直近 1 回の回答、北海道は同期間全ての回答。

図表 37 キャンセル理由（海外全体／日本／北海道別）

(%)

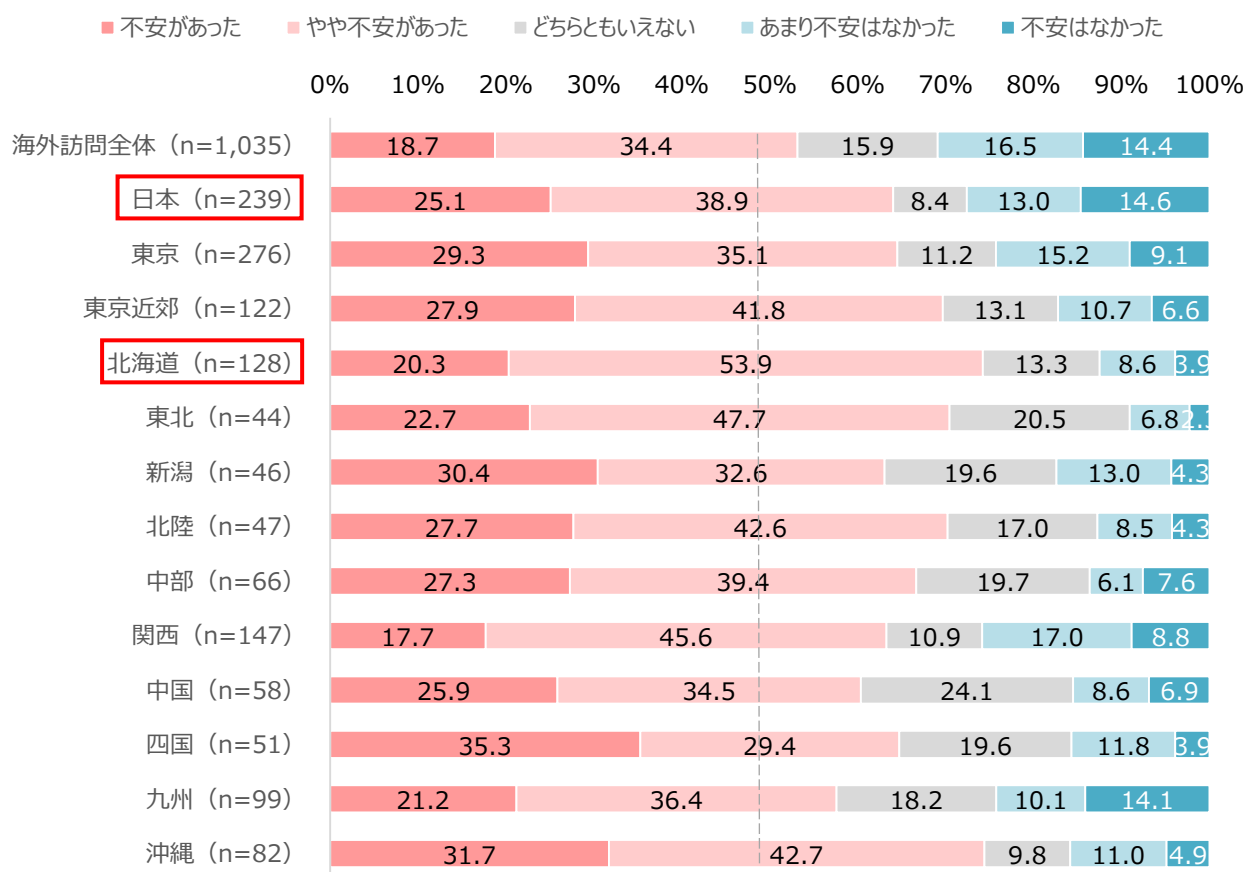


※全体と日本は 2019 年 12 月から 2020 年 5 月の直近 1 回の回答、北海道は同期間全ての回答。

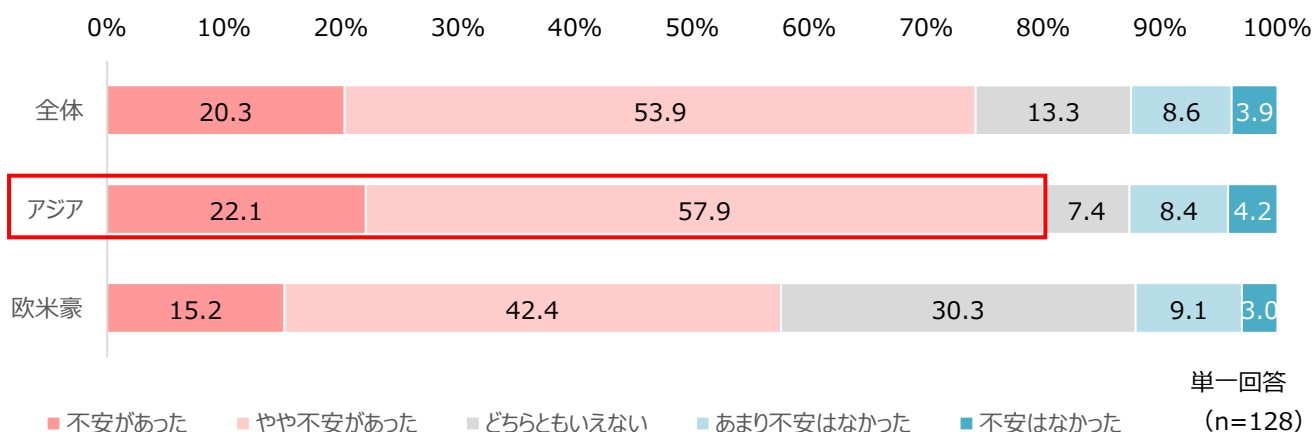
6) 訪日旅行での新型コロナ感染への不安度

- 2019年12月～2020年5月の間の訪日旅行の新型コロナ感染への不安度をみると、海外訪問全体に比し、訪日（日本）において不安を感じていた人の割合が高い。
- 北海道については、約7割の人が新型コロナ感染への不安を抱えていた。
- アジア／欧米豪別でみると、アジアの方が欧米豪人よりも新型コロナ感染へ不安を抱える人の割合が高かった。

図表 38 訪問地別コロナ感染への不安度



図表 39 北海道訪問経験者のコロナ感染への不安度（アジア／欧米豪別）

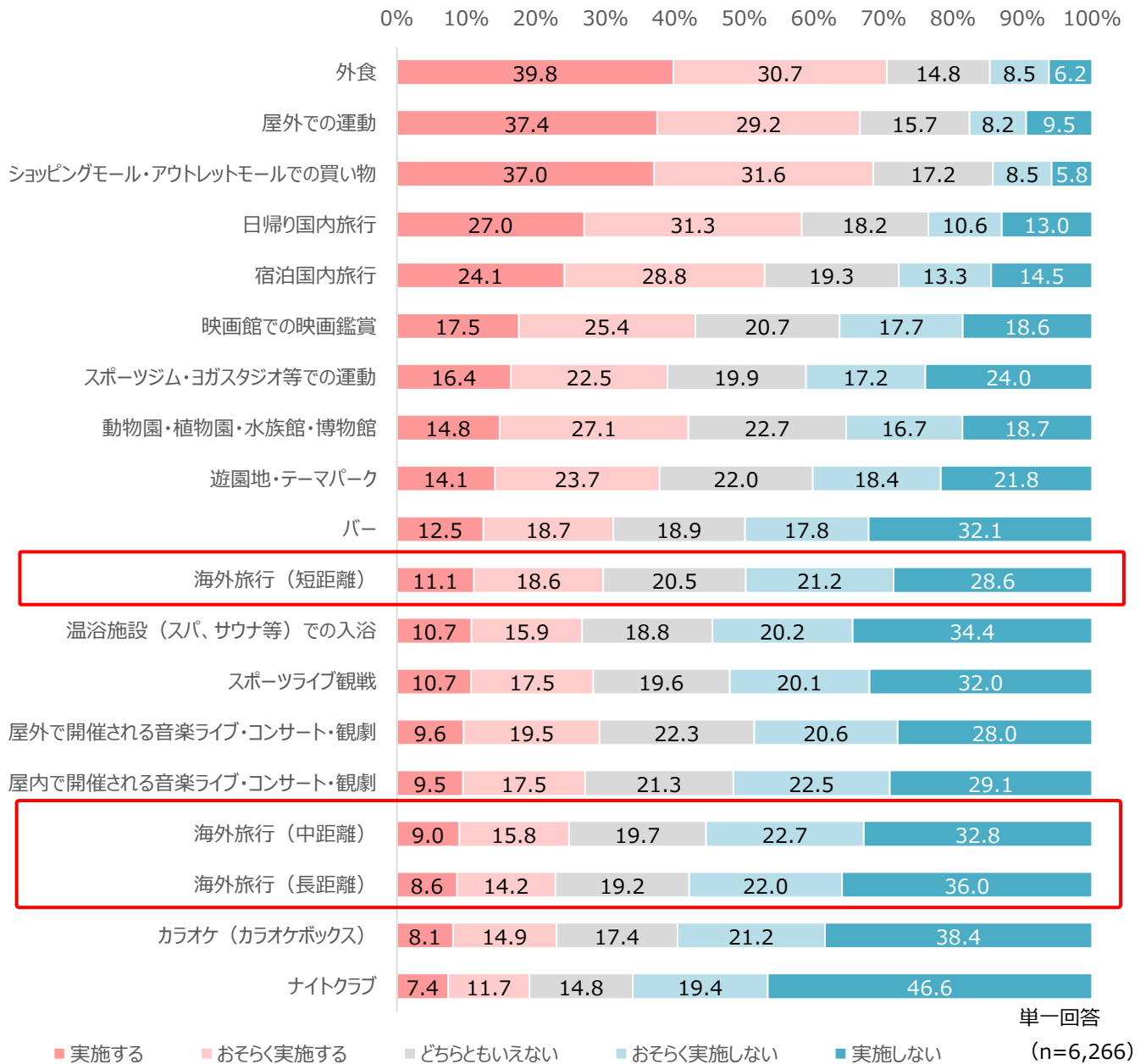


(2) 今後 6 カ月の動向

1) 今後 6 カ月で実施を予定・検討しているレジャー

- 国内の旅行（日帰り・宿泊）は、「外食」「屋外での運動」「買い物」に次いで、今後 6 カ月以内に実施される可能性が高い。一方、海外旅行は、遠距離になるほど実施が敬遠されている。
- このことから、旅行需要は国内から回復し、海外旅行は近隣国から再開されていくことがうかがえる。

図表 40 今後 6 カ月で実施を予定・検討しているレジャー



※海外旅行の距離区分は、飛行機による移動時間が 5 時間未満で「短距離」、5 時間以上 9 時間未満で「中距離」、9 時間以上で「長距離」としている。

2-1) 今後6カ月の旅行実施・検討の意向

- 国籍別に今後6カ月の旅行意向をみたところ、国内旅行（日帰り・宿泊）は、実施する予定が高かった一方、海外旅行は控える傾向がうかがえる。
- 香港は短距離の海外旅行実施の順位が比較的高く（8位）、日本との距離は短距離に含まれることから、日本旅行の実施が早い可能性があると考えられる。

図表 41 旅行への意向（国籍別）

今後6カ月以内に復活するレジャー中での順位。

青部分は、日本への旅行距離に該当する部分。

回答者の国籍	国内日帰り	国内宿泊	海外（短距離）	海外（中距離）	海外（長距離）
中国	5位	4位	16位	17位	19位
台湾	3位	4位	16位	17位	18位
香港	9位	10位	8位	15位	17位
韓国	4位	5位	16位	17位	18位
タイ	3位	5位	10位	11位	16位
インドネシア	4位	5位	9位	11位	14位
マレーシア	4位	5位	9位	15位	17位
シンガポール	4位	8位	9位	11位	17位
イギリス	2位	5位	9位	15位	16位
アメリカ	2位	5位	14位	17位	15位
フランス	2位	4位	12位	17位	16位
オーストラリア	4位	5位	14位	17位	15位

2-2) 今後6ヶ月の旅行実施・検討の意向（収入者層別）

- いずれの旅行形態においても、全体として収入者層が上がるにつれて実施意欲が高くなる傾向にある。
- アジアでは、海外旅行先が遠くなるにつれて実施意向が下がるが、欧米豪では中距離・遠距離先の実施意向に差はあまりない。

図表 42 旅行への意向（収入者層別）

（回答は当てはまるものすべて、％）

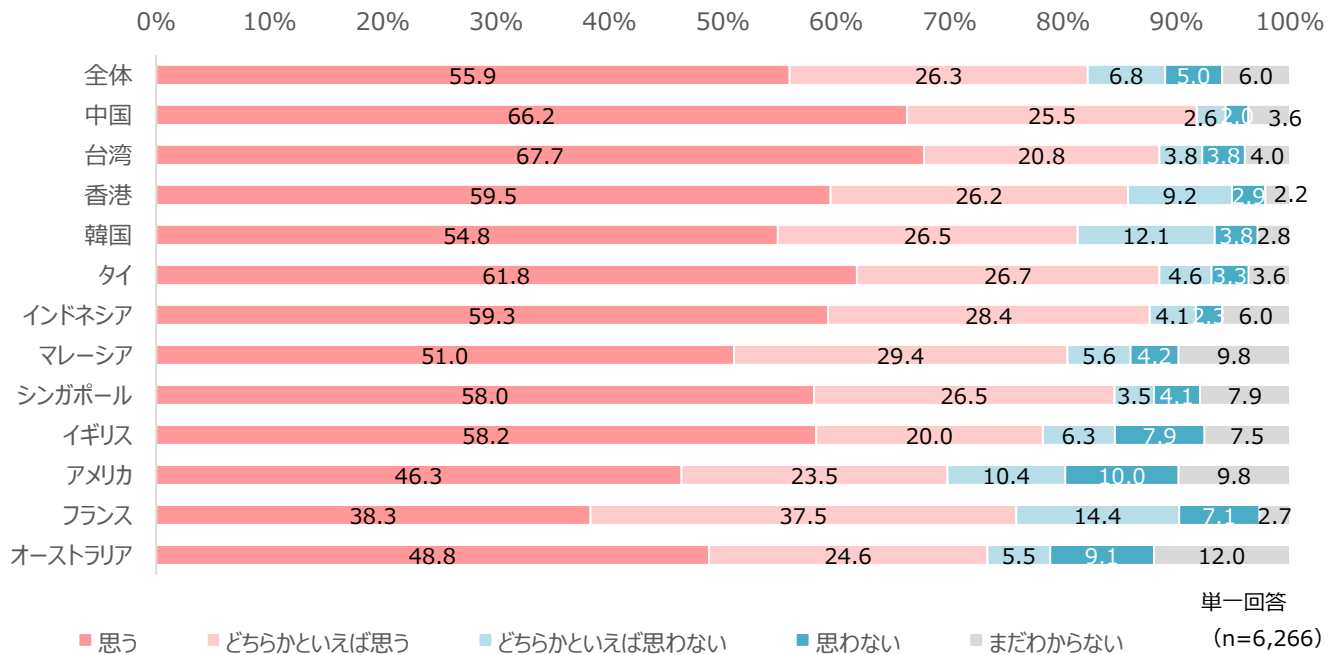
回答者の属性		↓サンプル数	国内日帰り	国内宿泊	海外（短距離）	海外（中距離）	海外（遠距離）
全体		6,266	58.2	52.9	29.7	24.8	22.8
12 地域全体	低収入者層	2,013	53.0	48.0	26.4	22.4	21.1
	中収入者層	2,161	57.0	52.7	28.7	24.2	21.7
	高収入者層	2,092	64.5	57.8	33.8	27.5	25.6
アジア全体	低収入者層	1,331	50.9	46.6	25.2	20.9	18.3
	中収入者層	1,465	54.5	51.1	26.1	21.1	17.7
	高収入者層	1,398	62.3	55.9	33.5	27.3	24.4
欧米豪全体	低収入者層	682	50.9	57.2	28.7	25.4	26.7
	中収入者層	696	56.0	62.2	34.2	30.9	30.0
	高収入者層	694	61.7	69.0	34.6	28.0	28.1

(3) 新型コロナ終息後の海外旅行の動向

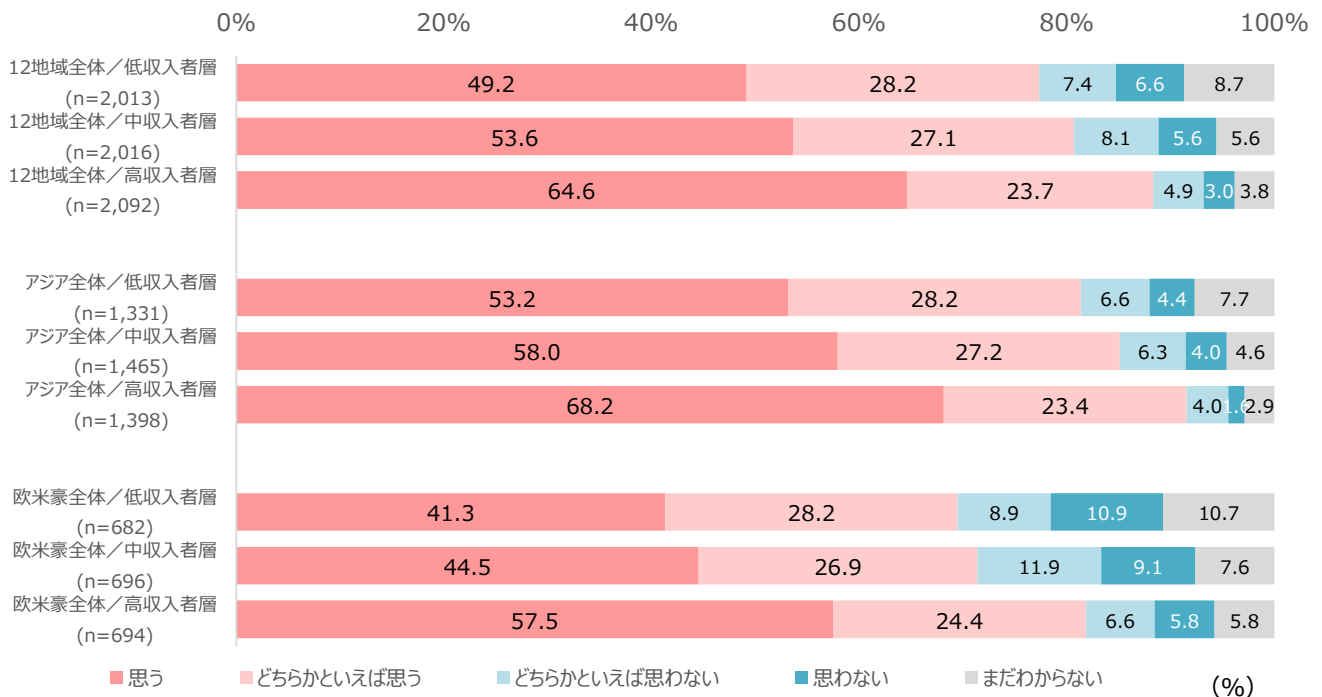
1) 海外旅行への意向

- 新型コロナ終息後の海外旅行への意向は全般的に高い傾向がみられる。
- 高収入者層の方が海外旅行に意欲的である。新型コロナの影響で海外旅行が実施できなかった反動により終息後の海外旅行への意向が高まったと推察される。

図表 43 海外旅行への意向（国籍別）



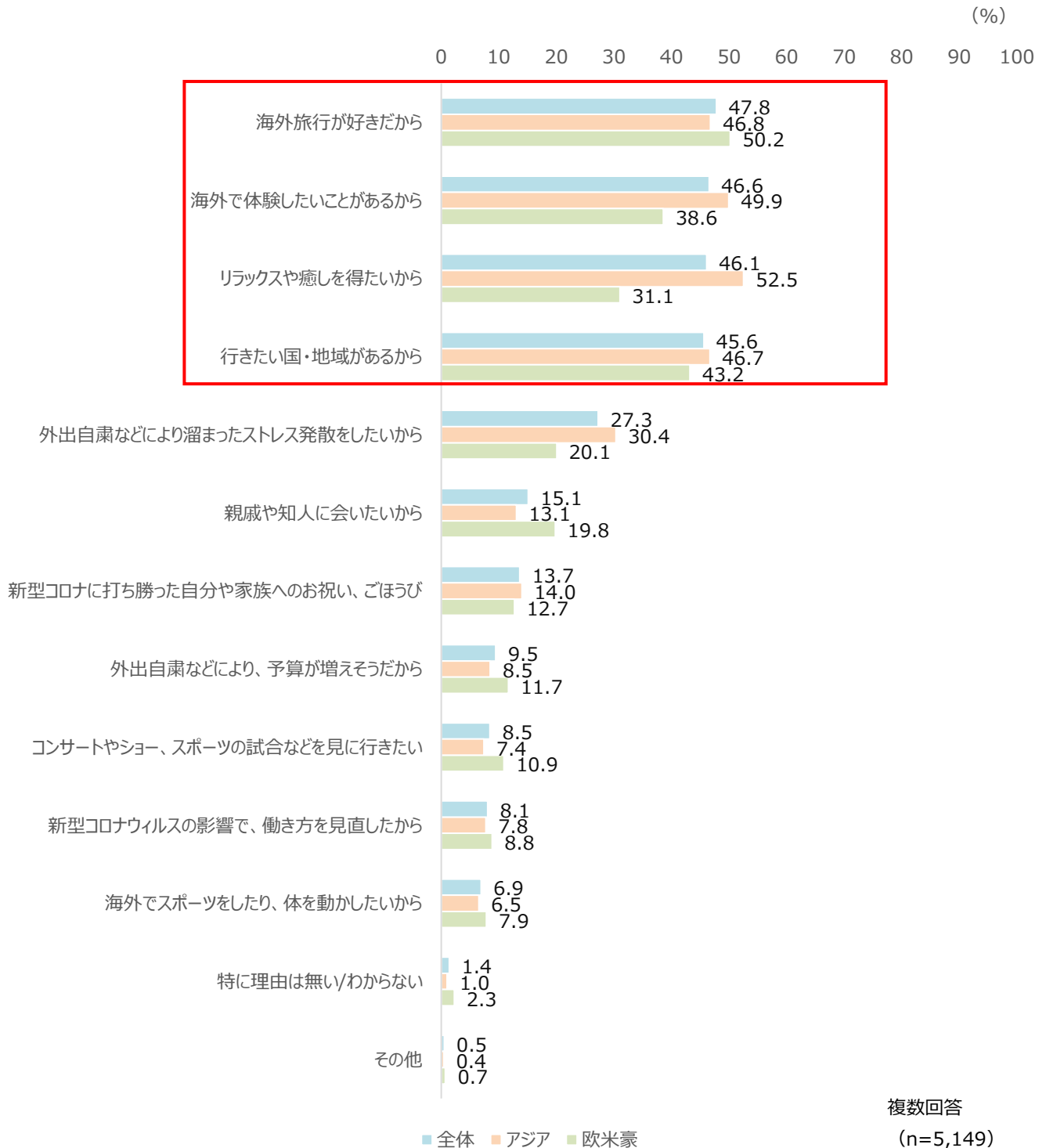
図表 44 海外旅行への意向（収入者層別）



2-1) 新型コロナ終息後に海外旅行をしたい理由

- 海外旅行したい理由は、「海外旅行が好きだから」「海外で体験したいことがあるから」「リラックスや癒しを得たいから」「行きたい国・地域があるから」の順に多い。
- アジア／欧米豪別でみると、アジアでは「リラックスしたい」「海外で体験したいことがある」「行きたい国・地域があるから」が欧米豪よりも回答数が多い。欧米豪では「海外旅行が好きだから」「親戚や知人に会いたいから」がアジアよりも回答数が多い。

図表 45 海外旅行をしたい理由



2-2) 新型コロナ終息後に海外旅行をしたい理由（年代別）

- 海外旅行したい理由はどの世代・国籍でも「海外旅行が好きだから」「海外で体験したいことがあるから」「リラックスや癒しを得たいから」との回答が多い。
- アジアでは「体験」や「リラックスや癒し」を求める回答数が多く、特に台湾 30 代、シンガポール 20 代に顕著である。
- 欧米豪ではアジアに比べて「海外旅行が好き」という回答数が多く、年代が上がるにつれて回答数も増える傾向にある。

図表 46 海外旅行をしたい理由（年代別）

	12地域全体				アジア全体																シンガポール															
	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代				
サンプル数→	1293	1403	1265	1188	915	988	872	835	83	108	103	136	164	165	96	78	104	118	119	128	109	110	109	110	119	121	117	104	105	104	106	122				
海外旅行が好き	44	47	49	51	46	49	46	46	52	40	36	40	32	44	45	44	58	62	53	58	61	69	62	56	30	26	35	29	69	59	51	50				
体験（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）	45	45	47	49	50	51	50	49	46	34	43	41	44	45	57	51	57	61	55	52	49	49	45	52	50	45	46	51	65	65	54	48				
リラックスや癒しを得たい	47	47	47	44	54	53	53	50	65	56	66	60	41	33	38	45	64	69	61	54	61	62	57	55	60	57	53	64	68	59	50	40				
行きたい国・地域がある	45	42	46	50	49	46	47	46	45	42	47	35	38	32	45	45	67	64	57	58	53	57	43	46	40	35	43	42	65	51	46	44				
外出自粛などにより溜まったストレス発散	31	30	26	22	35	33	28	25	33	22	26	26	25	37	33	38	33	25	18	18	32	31	26	26	42	36	24	23	45	42	26	29				
親戚や知人への訪問	14	15	14	18	12	12	13	15	10	6	10	11	8	9	8	10	7	14	10	13	14	15	15	16	17	17	13	18	16	25	16	17				
新型コロナウイルスに打ち勝った自分や家族へご褒み	15	16	14	10	15	15	15	11	5	8	9	8	15	16	16	17	12	10	7	4	14	13	14	17	22	24	22	18	10	12	12	11				
外出自粛などにより、予算が増えそう	13	10	8	6	12	8	7	6	7	9	5	6	15	10	8	5	13	7	3	5	10	8	6	10	13	8	6	9	17	6	6	3				
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたい	12	9	7	6	10	9	6	5	4	4	3	2	9	9	10	15	13	9	9	4	14	12	5	2	11	9	9	5	12	13	1	7				
新型コロナウイルスの影響で、働き方を見直した	11	10	6	5	10	9	6	6	4	5	1	3	18	10	7	10	8	3	3	5	10	7	3	7	15	17	12	9	8	12	7	4				
海外でスポーツをしたり、体を動かしたい	10	8	6	4	9	7	5	4	6	6	6	2	13	9	11	12	12	8	5	3	6	15	6	4	12	8	3	2	8	5	1	5				
その他	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1			
特に理由は無い/わからない	1	1	2	2	1	0	2	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	2	1	1	3	1	0	0	3	3				

	マレーシア								インドネシア				欧米系全体				アメリカ				オーストラリア				イギリス				フランス			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5				
	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代	0代				
サンプル数→	95	127	117	79	136	135	105	78	378	415	393	353	98	89	93	83	95	109	92	89	92	106	102	95	93	111	106	86				
海外旅行が好き	48	58	56	58	32	39	26	32	39	43	56	64	24	40	42	47	49	46	61	61	43	46	63	68	41	40	58	78				
体験（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）	53	54	52	56	43	53	45	50	32	33	41	49	22	33	39	52	45	39	48	52	33	40	58	53	29	23	21	40				
リラックスや癒しを得たい	52	54	50	32	36	47	45	38	29	32	34	29	22	34	32	19	33	36	36	24	30	26	30	27	32	33	36	44				
行きたい国・地域がある	47	49	53	58	43	41	37	40	35	34	46	60	22	37	39	59	44	31	54	60	40	42	52	67	32	26	41	53				
外出自粛などにより溜まったストレス発散	35	28	27	22	36	43	42	21	22	21	23	14	21	19	27	8	18	22	17	9	23	22	26	20	26	20	23	16				
親戚や知人への訪問	6	6	16	22	16	12	15	18	20	20	17	22	15	19	19	12	20	22	25	24	21	23	11	29	24	17	14	23				
新型コロナウイルスに打ち勝った自分や家族へほめばいい	3	7	7	5	27	30	33	12	15	17	11	7	14	22	15	6	14	13	14	6	15	15	5	8	17	17	12	8				
外出自粛などにより、予算が増えそう	8	7	10	6	13	10	10	5	14	15	11	5	14	15	11	2	8	15	10	4	18	15	8	7	15	17	16	7				
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたい	9	4	4	8	7	9	5	4	17	11	8	7	17	11	13	6	17	8	7	4	18	15	6	7	15	11	8	9				
新型コロナウイルスの影響で、働き方を見直した	11	9	6	5	6	9	6	4	13	12	7	3	19	13	9	4	11	10	4	1	11	12	6	3	11	12	9	3				
海外でスポーツをしたり、体を動かしたい	8	4	3	8	7	5	4	4	12	9	7	3	10	9	12	1	8	5	3	3	11	11	9	2	17	11	5	7				
その他	2	1	2	3	0	0	2	3	0	0	1	2	0	0	0	4	0	0	1	6	1	0	1	0	0	0	0	0				
特に理由は無い/わからない	2	1	3	1	0	0	3	1	2	2	3	2	0	2	5	4	1	4	3	2	2	1	5	1	3	1	0	2				

(回答はあてはまるものすべて、%)

※40%以上を赤く塗りつぶしている。

※60%以上を赤枠で囲っている。

2-3) 新型コロナ終息後に海外旅行をしたい理由（収入者層別）

- 前述の通り、海外旅行したい理由は「海外旅行が好きだから」「海外で体験したいことがあるから」「リラックスや癒しを得たいから」との回答が多いが、収入者層が上がるにつれてそれらの回答数が増える傾向にある。

図表 47 海外旅行をしたい理由（収入者層別）

	1 2 地域 全体	12地域全体			アジア全体									韓国									中国			台湾			香港			タイ			シンガポール		
		低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層									
		5149	1557	1744	1848	1083	1247	1280	136	159	135	138	190	175	155	165	149	118	157	163	149	153	159	154	131	152											
サンプル数→		5149	1557	1744	1848	1083	1247	1280	136	159	135	138	190	175	155	165	149	118	157	163	149	153	159	154	131	152											
海外旅行が好き		48	41	45	56	40	44	54	43	31	50	35	44	40	47	57	69	58	59	68	19	31	40	50	58	63											
体験（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）		47	41	47	50	44	51	54	35	41	46	41	59	41	52	55	62	39	47	57	40	52	53	56	53	62											
リラックスや癒しを得たい		46	42	47	49	48	53	56	57	65	61	38	40	37	54	64	68	56	58	61	56	56	64	52	56	53											
行きたい国・地域がある		46	43	43	50	46	44	50	42	36	47	36	42	36	63	60	62	54	46	51	35	41	43	51	46	56											
外出自粛などにより溜まったストレス発散		27	27	28	27	29	30	31	28	22	30	38	34	27	21	24	26	29	25	32	28	39	27	34	34	38											
親戚や知人への訪問		15	16	15	14	14	13	12	10	6	12	14	6	8	10	14	9	14	17	13	20	18	11	19	18	19											
新型コロナウイルスに打ち勝った自分や家族へごほうび		14	12	15	14	12	15	15	4	9	10	21	14	14	6	12	6	12	15	16	20	24	21	10	12	13											
外出自粛などにより、予算が増えそう		9	9	9	10	9	8	9	7	5	8	17	7	9	8	8	5	7	10	9	9	9	8	6	8	9											
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたい		8	10	8	7	9	6	7	6	3	1	14	8	10	10	8	8	11	8	6	9	8	8	8	4	11											
新型コロナウイルスの影響で、働き方を見直した		8	8	8	8	8	7	8	4	3	2	12	12	12	5	4	5	8	7	6	14	13	13	3	8	11											
海外でスポーツをしたり、体を動かしたい		7	8	6	7	7	6	7	5	3	6	16	8	11	7	7	5	6	8	7	7	7	6	4	3	7											
その他		1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0											
特に理由は無い/わからない		1	2	2	1	2	1	0	2	1	0	0	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	1	2	2	1											

	マレーシア						インドネシア						欧米豪全体									アメリカ			オーストラリア			イギリス			フランス		
	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層	低 収入 者 層	中 収入 者 層	高 収入 者 層						
サンプル数→	103	128	187	130	164	160	474	497	568	102	135	126	114	114	157	119	122	154	139	126	131												
海外旅行が好き	48	49	64	27	28	42	43	47	59	34	35	44	46	55	58	41	55	66	48	47	64												
体験（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）	47	52	58	43	47	52	35	37	43	25	38	43	40	44	50	45	43	49	28	25	28												
リラックスや癒しを得たい	42	45	53	28	43	51	27	31	35	22	22	37	34	28	34	20	34	31	32	39	37												
行きたい国・地域がある	45	43	61	37	37	48	38	42	49	27	38	48	44	45	50	45	46	58	34	39	40												
外出自粛などにより溜まったストレス発散	28	28	28	31	37	41	20	21	19	25	16	19	16	21	15	20	24	24	21	23	20												
親戚や知人への訪問	12	9	14	12	19	13	22	21	17	15	17	17	26	24	19	23	20	20	22	25	11												
新型コロナウイルスに打ち勝った自分や家族へごほうび	7	4	6	19	27	32	12	13	13	16	16	13	13	14	9	7	11	14	14	13	15												
外出自粛などにより、予算が増えそう	7	10	7	9	8	13	10	13	12	13	14	6	7	11	11	8	14	14	12	12	18												
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたい	7	7	5	8	5	6	13	12	8	16	13	8	14	11	4	15	10	10	9	13	11												
新型コロナウイルスの影響で、働き方を見直した	10	4	9	5	7	6	9	9	8	14	14	7	8	6	6	8	8	8	9	9	9												
海外でスポーツをしたり、体を動かしたい	7	3	6	4	5	6	11	7	7	11	7	7	7	6	3	12	6	8	12	8	9												
その他	3	2	1	2	0	1	0	1	1	0	1	1	1	2	2	1	0	1	0	0	0												
特に理由は無い/わからない	3	2	1	1	1	1	3	3	1	1	4	2	3	4	2	3	2	1	3	2	0												

（回答はあてはまるものすべて、%）

※40%以上を赤く塗りつぶしている。

3) 新型コロナ終息後においても海外旅行を控える理由

- 新型コロナ終息後においても海外旅行を控える理由は、「感染予防のための自粛」「旅行先での衛生面での配慮、清潔・安全への不安」「心理的に海外旅行をする気分になれない」の順に多い。
- 感染予防対策を十分に行い旅行者の不安を払拭することが、インバウンド需要回復への対応策となることが示唆される。

図表 48 新型コロナ終息後においても海外旅行を控える理由

サンプル数→	全体	アジア 全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガ ポール	マレーシ ア	インドネ シア	欧米豪 全体	アメリカ	オースト リア	イギリス	フランス
	742	375	84	25	40	62	41	39	51	33	367	106	77	72	112
感染予防のための自粛	32	38	42	40	38	31	17	36	47	52	26	17	21	28	37
旅行先での衛生面での配慮、清潔・安全への不安	31	37	20	76	40	31	54	28	47	33	24	13	26	29	30
心理的に、海外旅行をする気分になれない	26	30	37	20	23	35	20	21	45	21	21	18	27	14	24
仕事・収入の減少	22	30	12	28	25	34	41	36	39	39	15	15	13	15	15
海外旅行への興味が薄くなった	21	20	15	24	25	21	20	15	16	33	22	19	25	24	23
周囲から心配されたり、非難される可能性がある	13	19	7	24	23	19	34	10	24	24	8	8	4	4	12
海外で体験したいことがない	13	14	15	16	10	18	15	8	14	12	13	18	12	10	11
外出自粛により、家にいることに慣れた	13	13	14	4	18	16	15	10	6	12	13	15	12	13	11
行きたい国・地域がない	10	10	10	12	15	15	2	13	12	3	10	12	9	10	9
身近（自分や親族、友人）にコロナの被害があった	9	9	7	12	0	16	2	18	8	12	9	10	9	10	6
その他	1	2	0	0	0	2	7	3	0	3	1	0	1	6	0
特に理由はない／わからない	8	3	6	0	0	0	2	8	4	0	14	18	18	13	8

（回答はあてはまるものすべて、％）

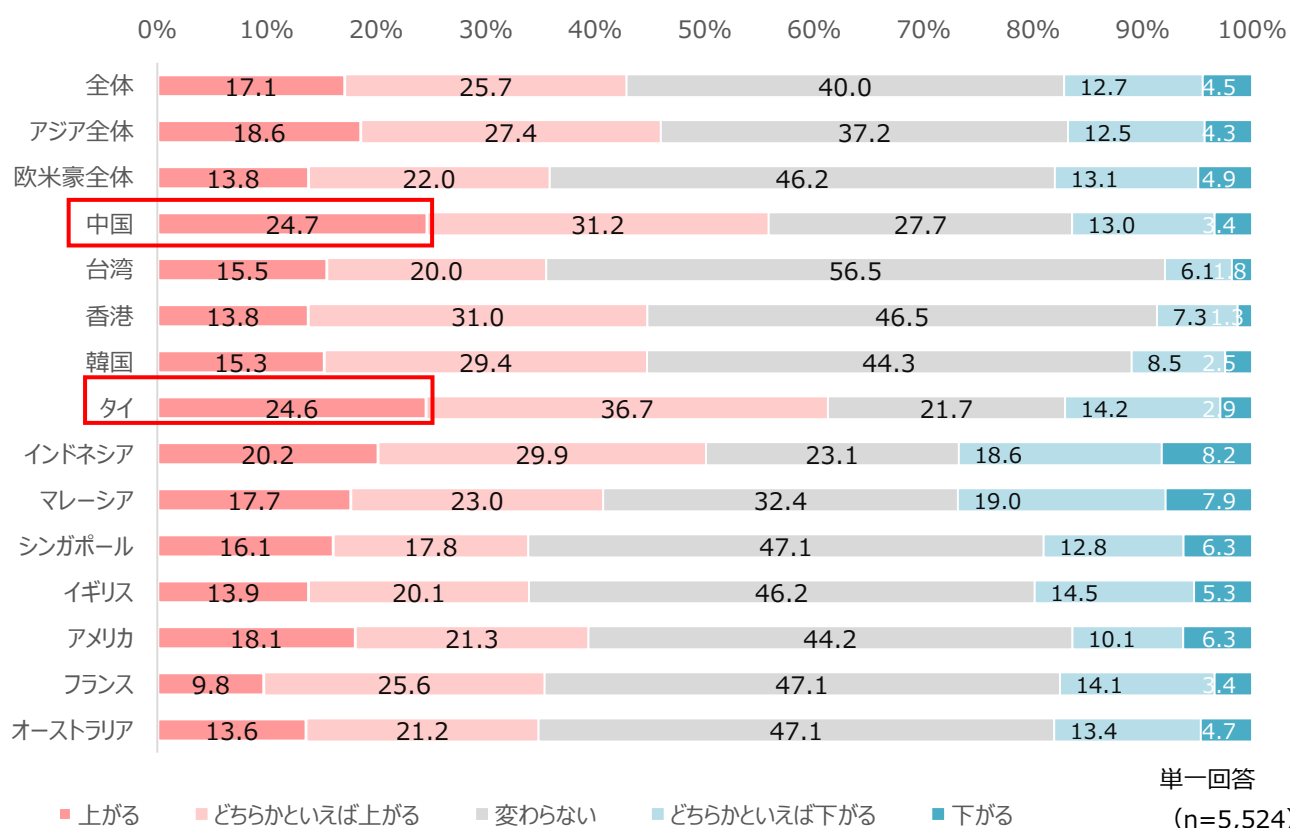
※25％以上を赤く塗りつぶしている。

※中国はサンプル数が少ないため、参考値

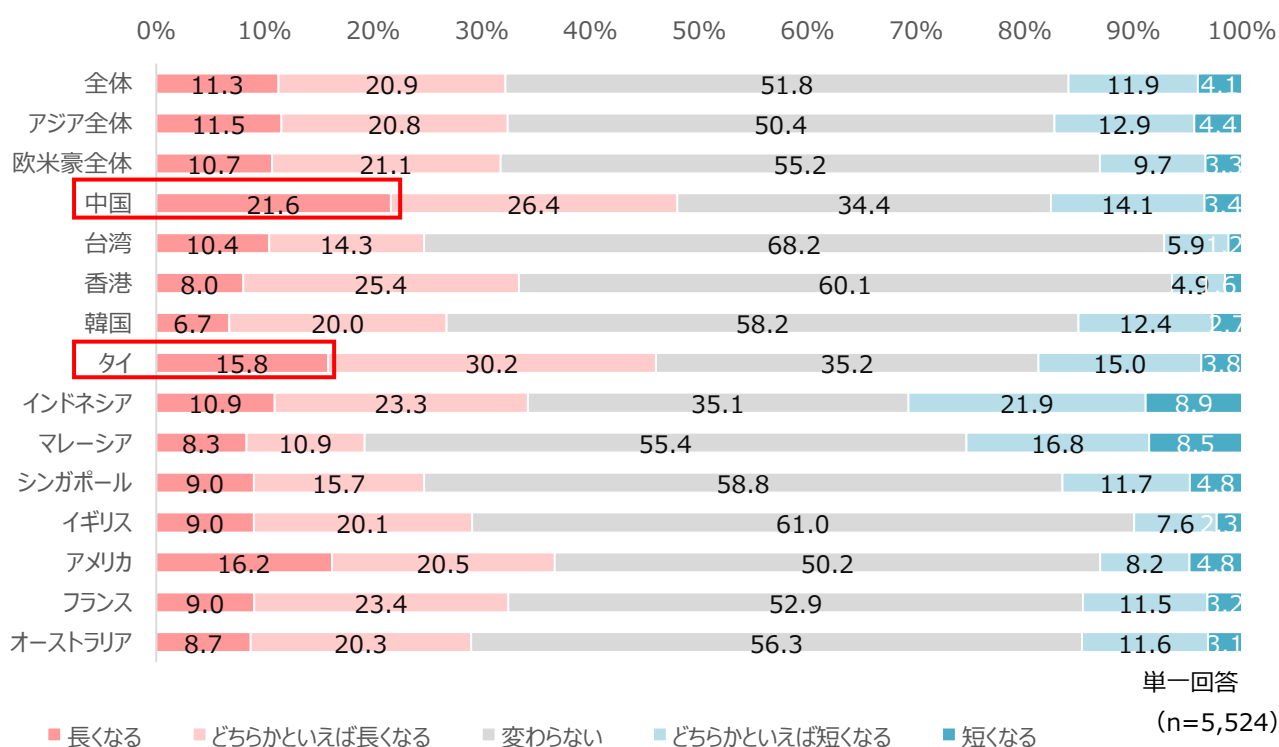
4-1) 新型コロナ終息後の海外旅行の予算／滞在日数（国籍別）

- 新型コロナ終息後の海外旅行の予算及び滞在日数は、全般に現状維持若しくは予算を増やし、長期滞在を志向する傾向である。特に予算は中国、タイで増加し、滞在日数も中国、タイで長期化する傾向が予想される。

図表 49 海外旅行の予算



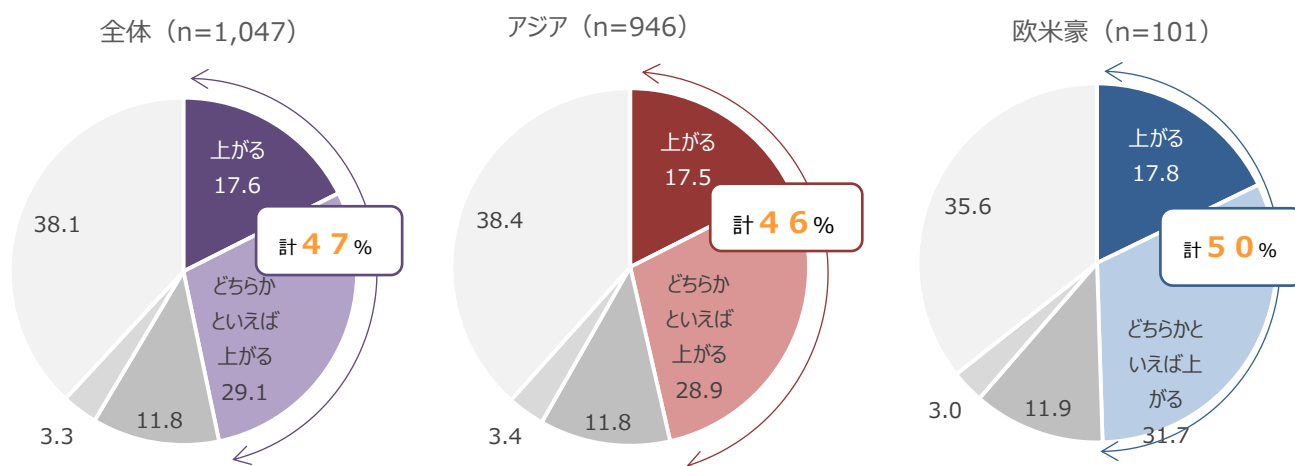
図表 50 海外旅行の滞在日数



4-2) 新型コロナ終息後の海外旅行の予算/滞在日数（北海道訪問希望者）

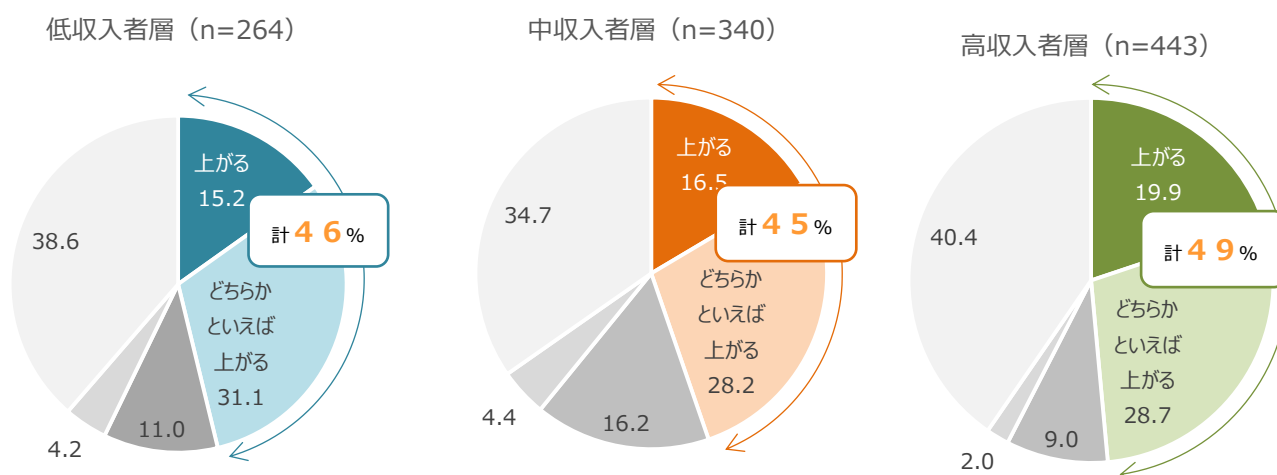
- 北海道訪問希望者において、新型コロナ終息後の海外旅行について予算が「上がる」、「どちらかといえば上がる」と回答した割合は、「下がる」、「どちらかといえば下がる」よりも高くなっている。
- 欧米豪の方がアジアよりも予算が上がると回答した割合が高い。収入者層別では、高収入者層が予算が上がるという回答した割合が最も高い。
- 新型コロナ終息後は、北海道においても旅行者の消費単価は上昇する可能性がある。

図表 51 新型コロナ終息後、海外旅行の予算はどのように変化するか（北海道訪問希望者、居住地域別）



■ どちらかといえば下がる ■ 下がる ■ 変わらない

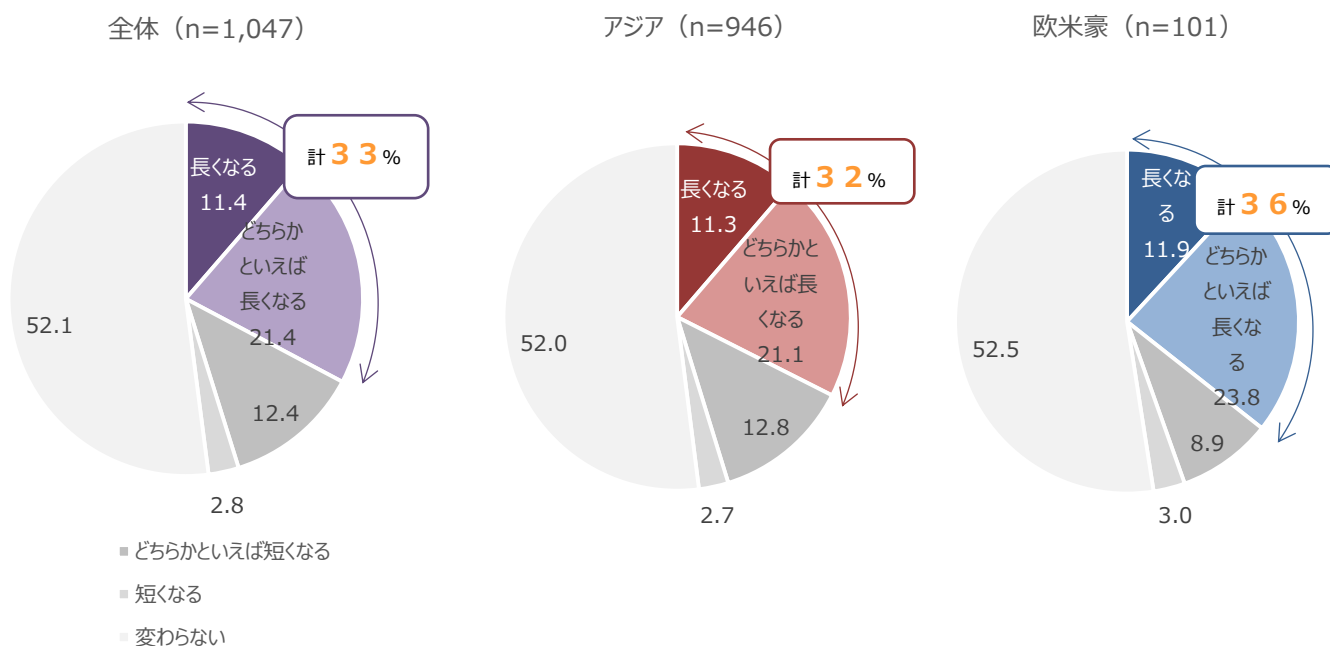
図表 52 新型コロナ終息後、海外旅行の予算はどのように変化するか（北海道訪問希望者、収入者層別）



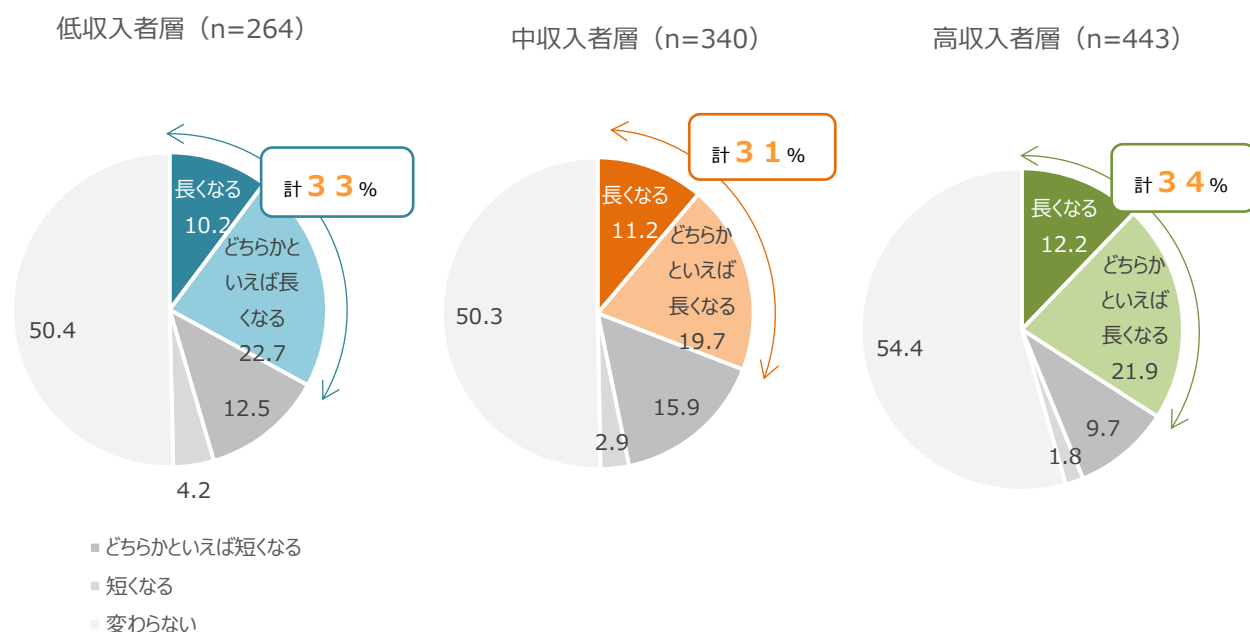
■ どちらかといえば下がる ■ 下がる ■ 変わらない

- 北海道訪問希望者において、新型コロナ終息後の海外旅行について滞在日数が「長くなる」、「どちらかといえば長くなる」と回答した割合は、「短くなる」、「どちらかといえば短くなる」よりも高くなっている。
- 欧米豪の方がアジアよりも滞在日数が長くなると回答した割合が高い。収入者層による差はあまりなく、どの収入者層も滞在日数が長くなると回答した割合が、短くなると回答した割合よりも高い。
- 新型コロナ終息後は、北海道においても旅行者の滞在日数は長期化する可能性がある。

図表 53 新型コロナ終息後、海外旅行の滞在日数はどのように変化するか（北海道訪問希望者、居住地域別）



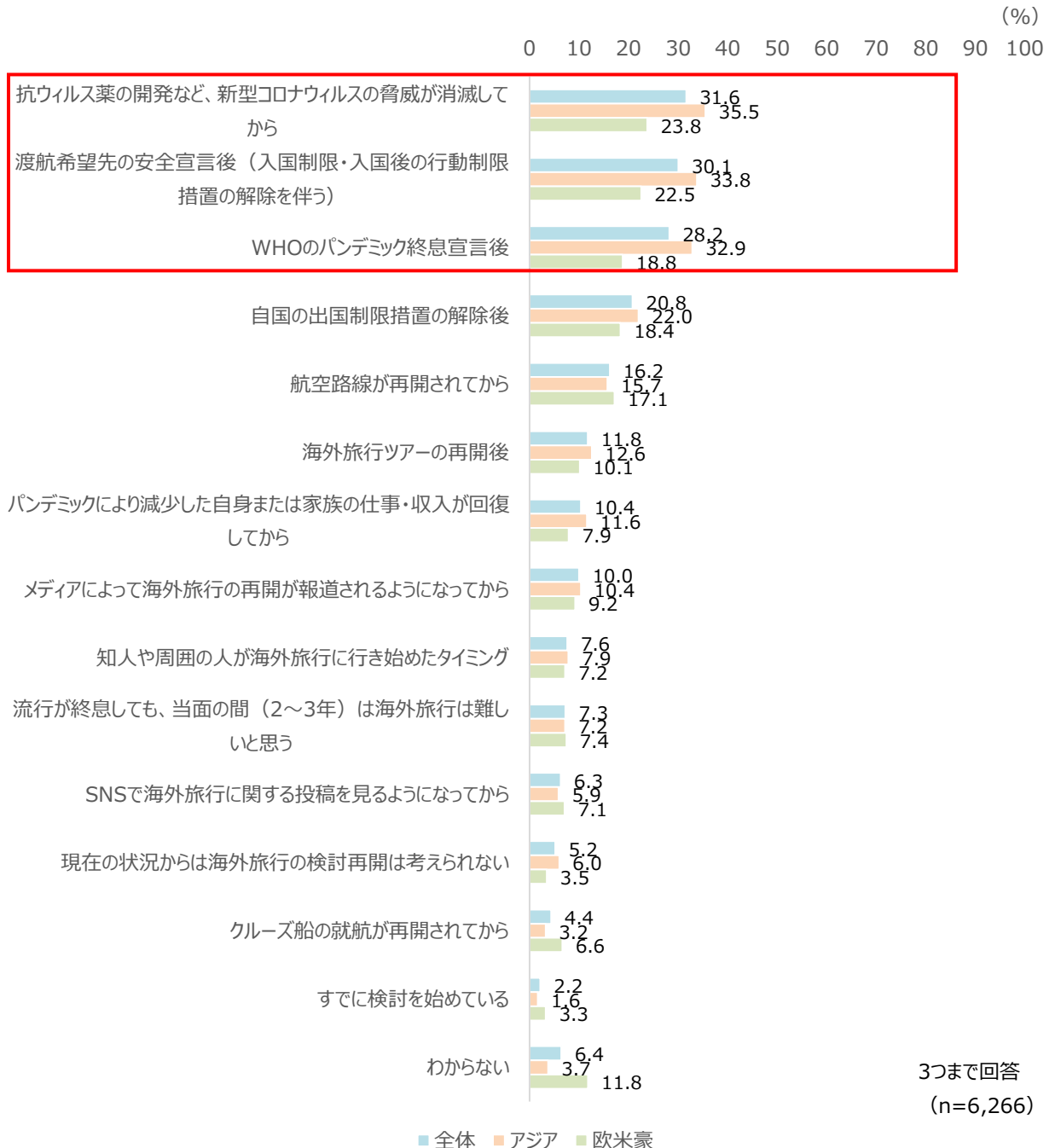
図表 54 新型コロナ終息後、海外旅行の滞在日数はどのように変化するか（北海道訪問希望者、収入者層別）



5-1) 海外旅行再開のタイミング

- 海外旅行の検討を再開するタイミングは、「抗ウイルス薬の開発など新型コロナの脅威が消滅」「渡航希望先の安全宣言後」「WHO のパンデミック終息宣言後」が上位になっている。
- アジア／欧米豪別でみると、アジアは新型コロナの感染リスクが消滅してから海外旅行を検討する傾向があるが、欧米豪は「航空路線が再開」「クルーズ船が再開」したら再検討する傾向があり、アジアほど感染リスクを意識していないことがうかがえる。

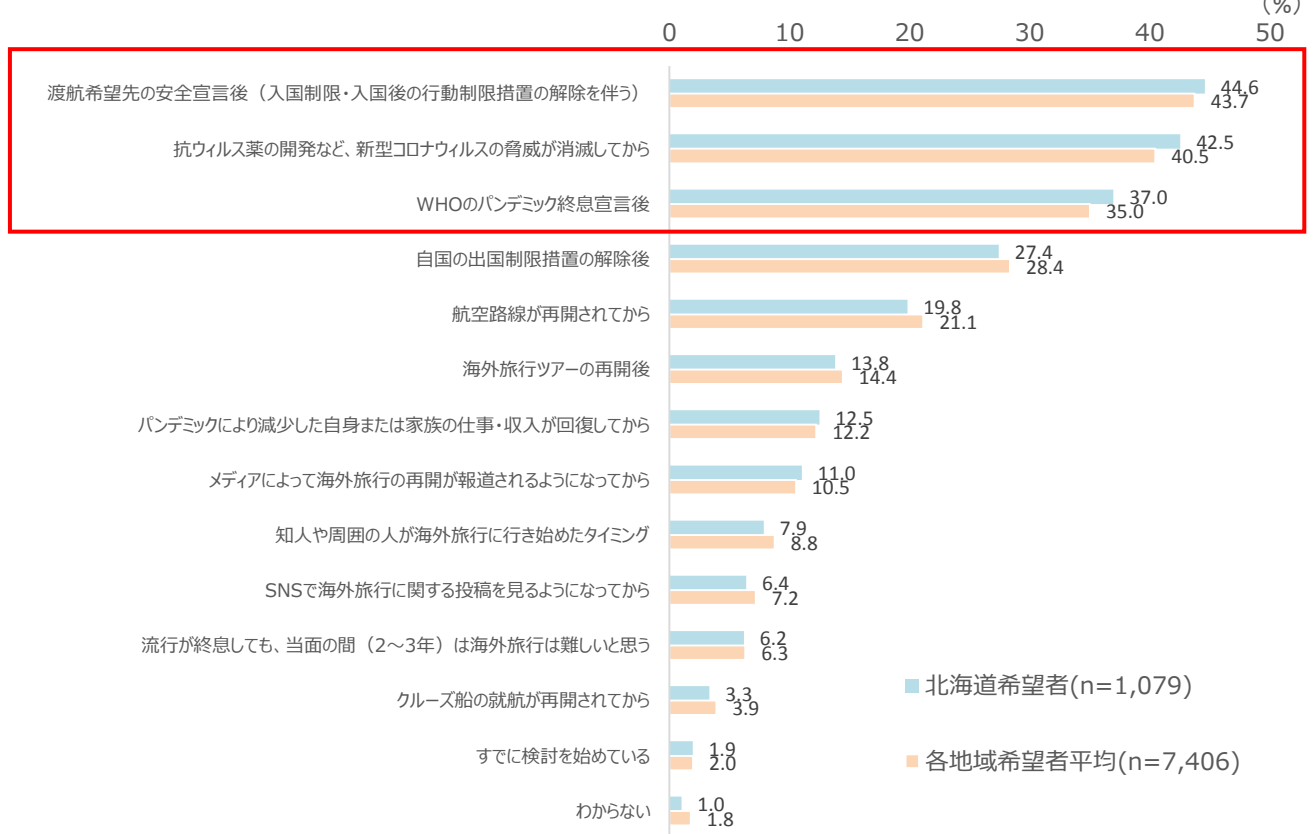
図表 55 次に海外旅行の検討を再開するタイミング



5-2) 海外旅行再開のタイミング（北海道訪問希望者）

- 北海道訪問希望者は、政府・公的機関からの安全宣言後や抗ウイルス薬の開発後といった回答の選択率が各地域希望者の平均より高くなっており、海外旅行の検討再開に対して若干保守的な可能性がある。
- 国籍別では重視するタイミングに若干の違いがあり、「海外旅行の再開が報道されるようになってから」「自国の出国制限措置の解除後」「航空路線が再開されてから」といった回答が多い国もみられる。

図表 56 海外旅行の検討を再開するタイミング（北海道訪問希望者）／全体



図表 57 海外旅行の検討を再開するタイミング（北海道訪問希望者）／国籍別

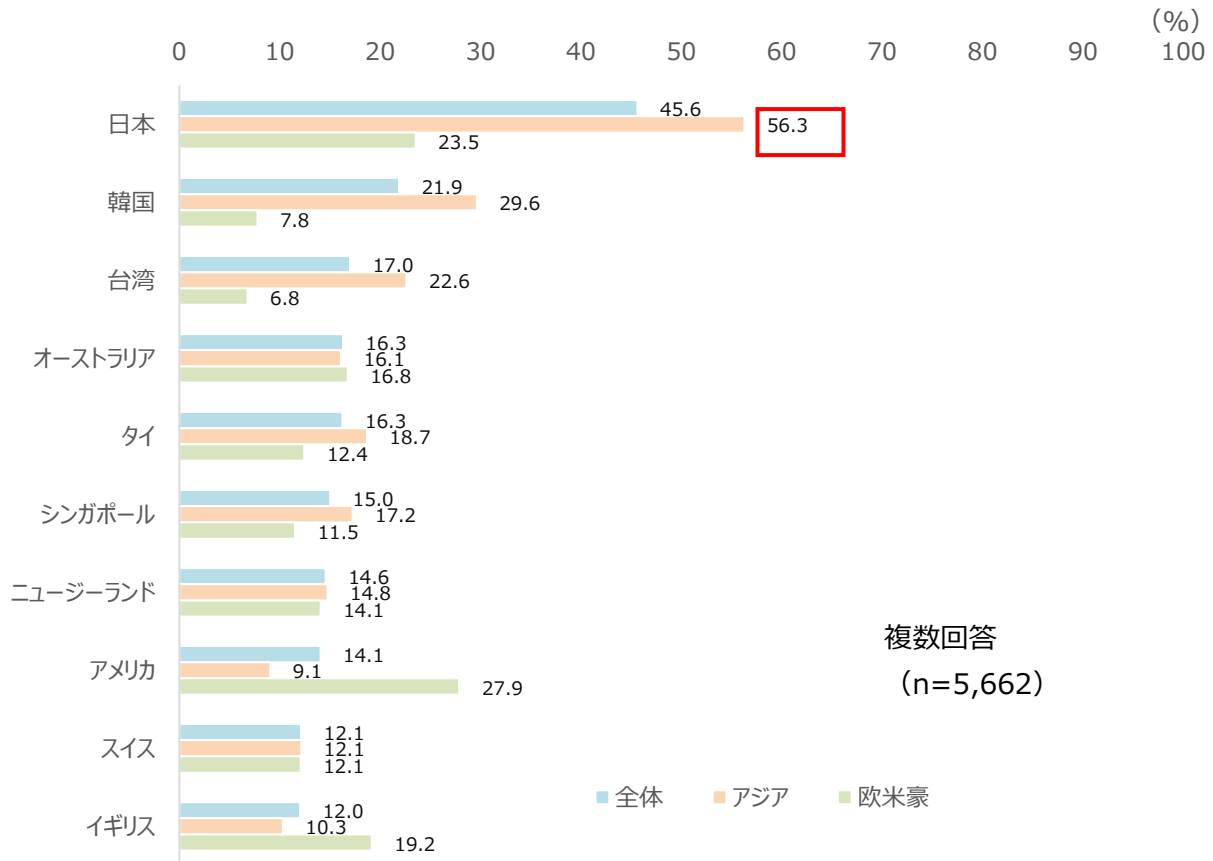
	1 位	2 位	3 位
韓国 (n=42)	抗ウイルス薬の開発など 35.7%	WHOのパンデミック終息宣言後 35.7%	海外旅行の再開が報道されるようになってから 33.3%
中国 (n=128)	抗ウイルス薬の開発など 46.9%	渡航希望先の安全宣言後 44.5%	WHOのパンデミック終息宣言後 33.6%
台湾 (n=167)	渡航希望先の安全宣言後 50.3%	抗ウイルス薬の開発など 44.3%	自国の出国制限措置の解除後 36.5%
香港 (n=129)	渡航希望先の安全宣言後 40.3%	自国の出国制限措置の解除後 37.2%	航空路線が再開されてから 34.1%
タイ (n=179)	抗ウイルス薬の開発など 50.8%	渡航希望先の安全宣言後 47.5%	WHOのパンデミック終息宣言後 41.9%
シンガポール (n=134)	渡航希望先の安全宣言後 50.7%	抗ウイルス薬の開発など 37.3%	WHOのパンデミック終息宣言後 36.6%
マレーシア (n=107)	WHOのパンデミック終息宣言後 52.3%	抗ウイルス薬の開発など 52.3%	渡航希望先の安全宣言後 45.8%
インドネシア (n=86)	WHOのパンデミック終息宣言後 64.0%	抗ウイルス薬の開発など 53.5%	渡航希望先の安全宣言後 40.7%
アメリカ (n=21)	抗ウイルス薬の開発など 57.1%	渡航希望先の安全宣言後 38.1%	WHOのパンデミック終息宣言後 33.3%
オーストラリア (n=38)	渡航希望先の安全宣言後 42.1%	航空路線が再開されてから 31.6%	自国の出国制限措置の解除後 28.9%
イギリス (n=26)	渡航希望先の安全宣言後 46.2%	自国の出国制限措置の解除後 26.9%	航空路線が再開されてから 26.9%
フランス (n=22)	WHOのパンデミック終息宣言後 36.4%	渡航希望先の安全宣言後 27.3%	抗ウイルス薬の開発など 22.7%

※上位3項目につき表示。 ※アメリカ・イギリス・フランスについては n=29 以下のため参考値。

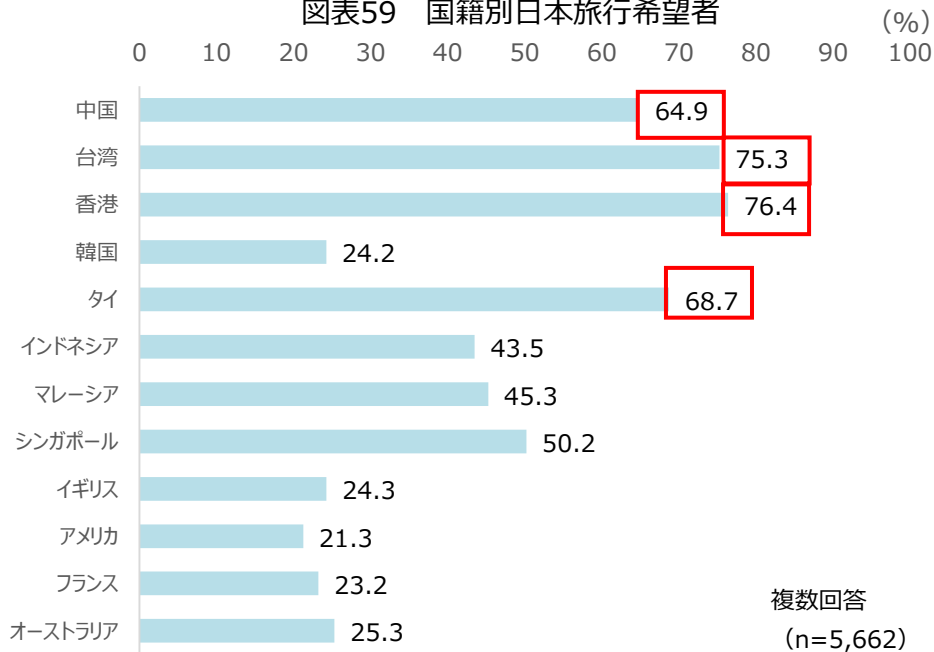
6) 新型コロナ終息後に海外旅行をしたい国・地域

- 海外旅行したい国は日本がトップにあげられており、日本の人気は依然として高い。アジアでは 1 位、欧米豪ではアメリカに次いで 2 位にランクインしている。日本訪問希望者を国籍別で見ると、中国、香港、台湾、タイ人の 6 割以上が日本訪問を希望している一方、韓国、欧米豪は 2 割程度と他国と比較すると低い。

図表 58 海外旅行したい国・地域（トップ 10）



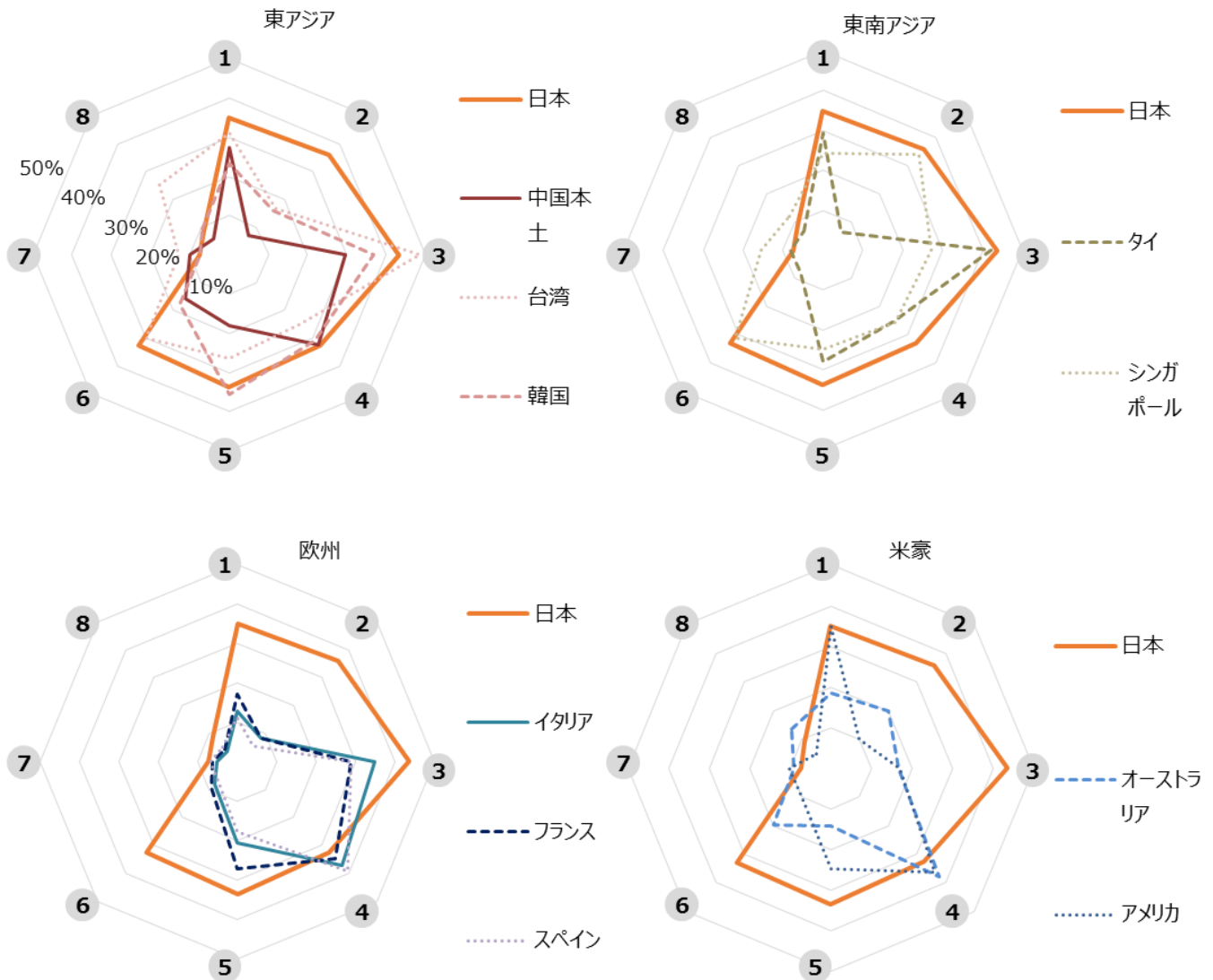
図表59 国籍別日本旅行希望者



7) 新型コロナ終息後に、その国・地域を観光のために訪問したい理由

- 他の国・地域と比較すると、日本は多言語対応への評価が低く、新型コロナ終息後においても、一層の取り組みが必要とされているといえる。
- また、台湾等と比較すると、日本は新型コロナの被害が少ない国と評価されているとは言い難い。
- 一方で、日本は「買い物」、「食事」、「治安のよさ」等に加え、「清潔さ」が高く評価されている。
- 新型コロナ終息後は、ウイルス対策全般の継続などの安全・安心に関する取り組みを徹底するとともに、「清潔さ」という更なる強みを活かすべく、それぞれの言語で正確な情報発信をすることが重要だと考えられる。

図表 60 新型コロナ終息後に、その国・地域を観光のために訪問したい理由（回答は当てはまるもの全て）

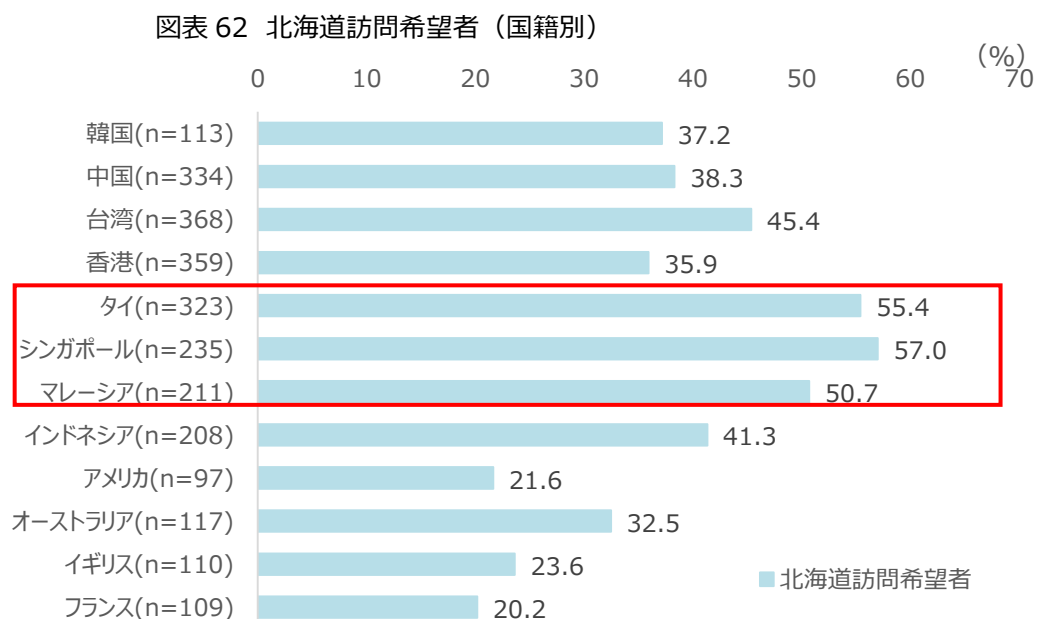
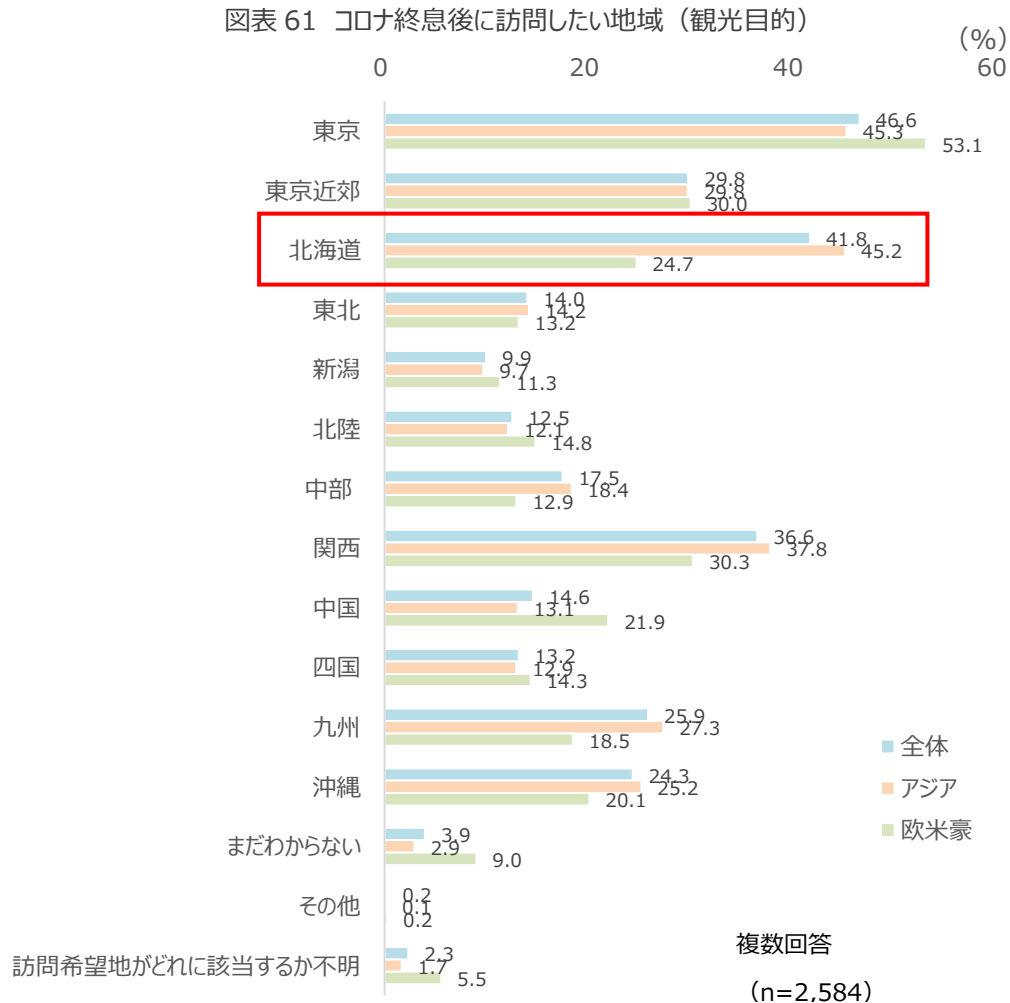


- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 以前も旅行したことがあり、気に入ったから | 5 買い物がしたいから |
| 2 清潔だから | 6 治安が良いから |
| 3 食事が美味しいから | 7 多言語に対応しているから |
| 4 体験したいツアーやアクティビティがあるから | 8 新型コロナの被害が少ない国・地域だったから |

※ 新型コロナ終息後に海外観光旅行について「(したいと) 思わない」を選択した対象者および次に海外観光旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員から回答を得た。

8-1) 新型コロナ終息後に訪日するならば訪問したい地域

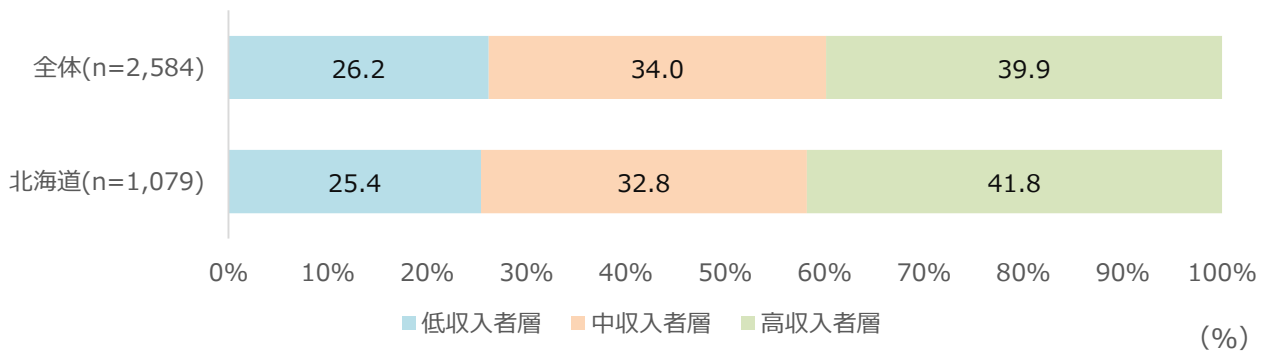
- 終息後にいきたい地域について、北海道は、アジアでは東京に次いで国内第 2 位の人気があるものの、欧米豪では第 4 位である。
- 北海道訪問希望者の国籍別では、タイ、シンガポール、マレーシアでの人気が高。以前より来道の多い中国・台湾・韓国といった国に加えて、新規の顧客層が狙える余地がある。



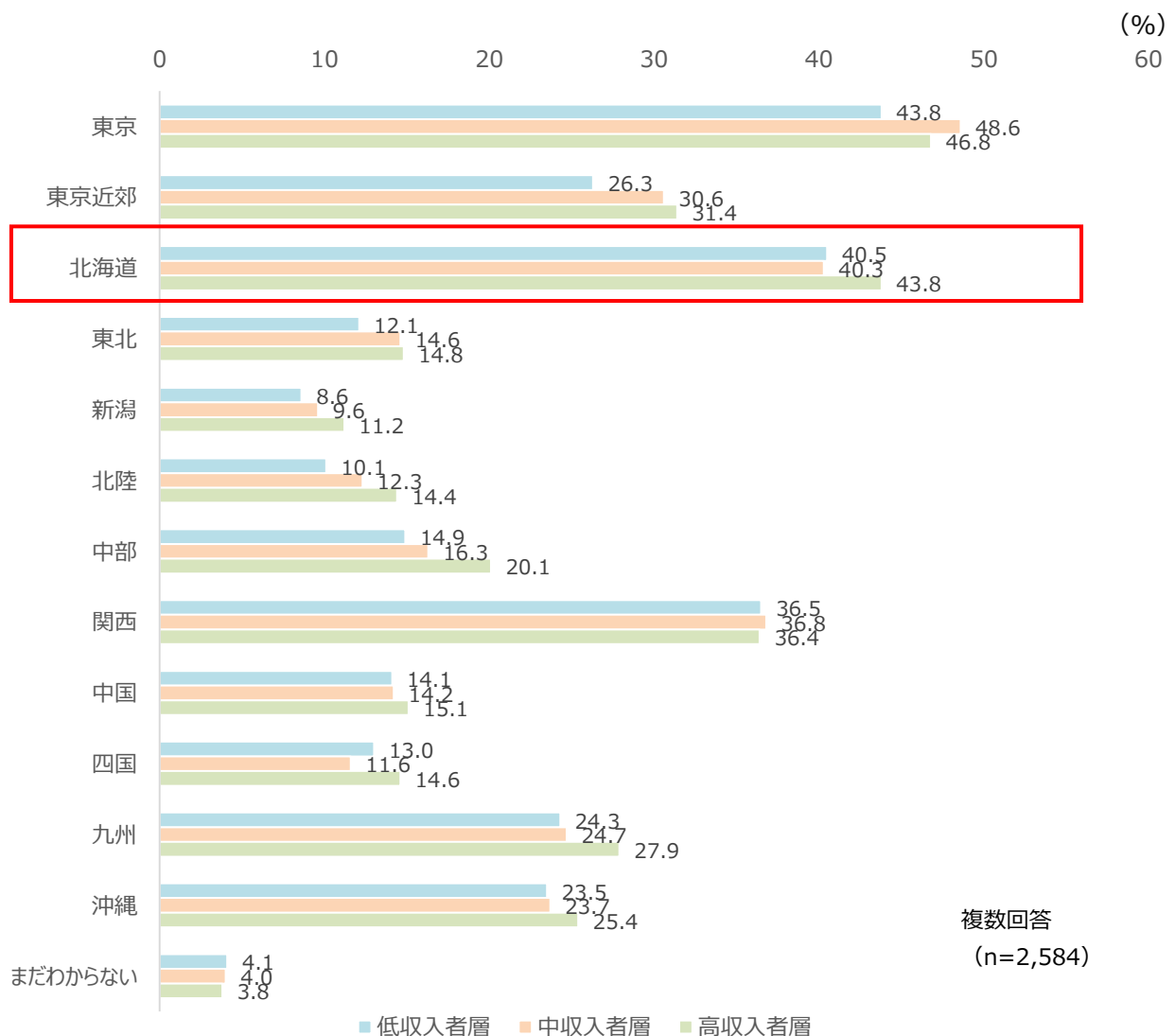
8-2) 新型コロナ終息後に訪日するならば訪問したい地域（収入者層別）

- 前述の通り、前提として、終息後に海外旅行をする意向のある回答者は高収入者層になるにつれ多くなっている。
- よって、希望者の構成比でみると高収入者層が占める比率が大きくなるという傾向があり、北海道訪問希望者も同様である。
- 他地域との比較でみると、北海道はすべての収入者層で東京に次ぐ人気がある。

図表 63 訪問希望者の構成比（収入者層別）



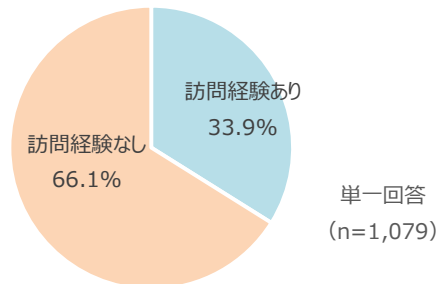
図表 64 終息後に訪日するならば訪問したい地域（収入者層別）



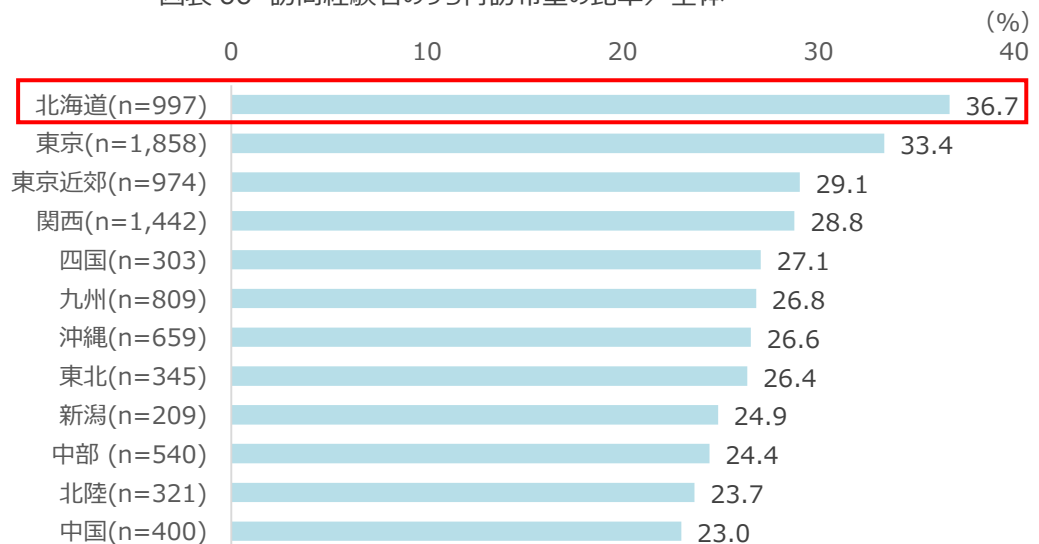
8-3) 新型コロナ終息後に訪日するならば訪問したい地域（北海道訪問経験の有無別）

- 北海道訪問希望者は、訪問経験なしの回答者が7割弱、訪問経験ありの回答者が3割強となっている。前述の通り、タイ、シンガポール、マレーシアといった国の北海道未経験者も取り込める余地があり、希望を実際の往訪に繋げる取り組みが重要となる。
- また、北海道は、訪問経験がある回答者のうち再訪を希望している比率が他地域と比べて高い（＝リピーター人気がある）ため、上記のような新規顧客についても取り組み次第ではリピーターとなる可能性が高いと考えられる。
- 過去調査の分析結果として、北海道のリピーターは、自然の観賞よりも「温泉への入浴」や「スイーツを食べる」といった項目への期待が高まる傾向があるため、こうしたコンテンツの強化もリピーター獲得に効果的である。

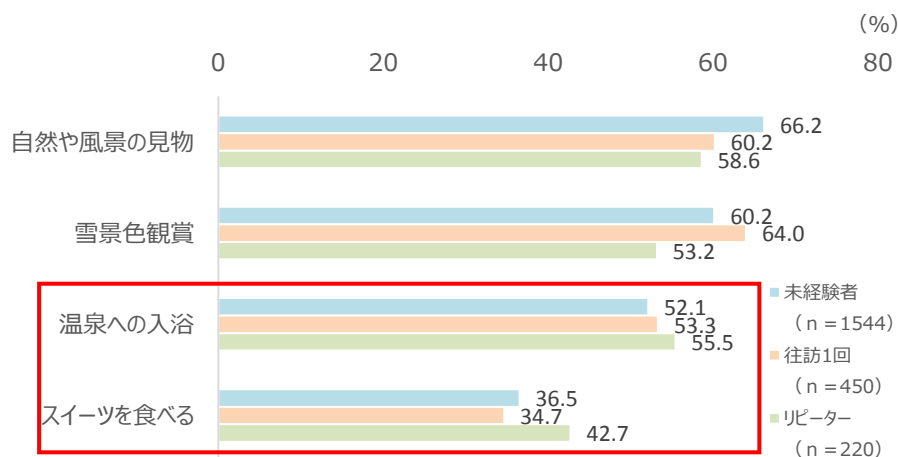
図表 65 北海道訪問希望者のうち訪問経験あり・なしの比率／全体



図表 66 訪問経験者のうち再訪希望の比率／全体



図表 67 2018 年度調査「北海道に期待すること」リピーター分析／全体



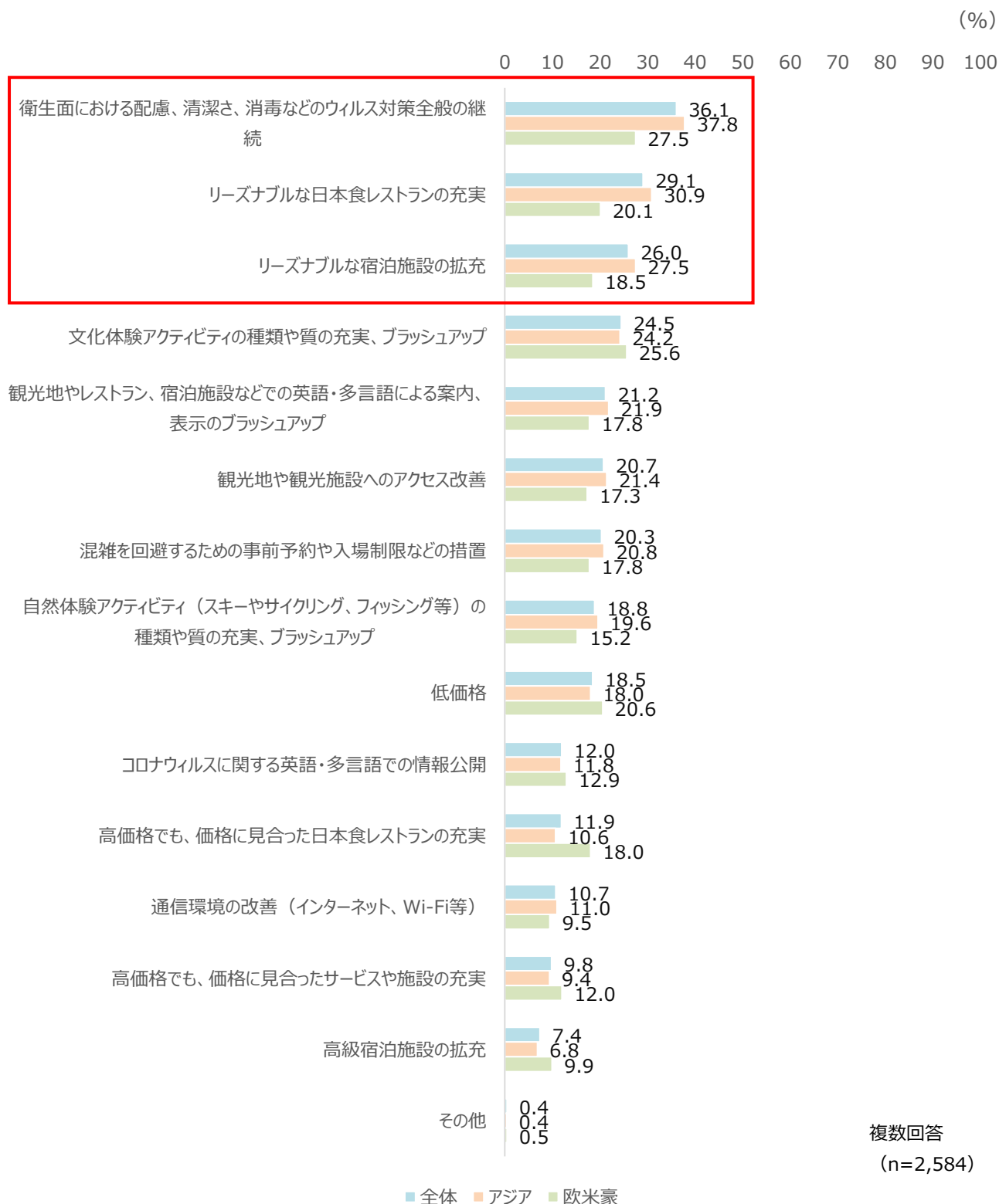
※回答項目のうち有用な項目を一部抜粋したもの。

(4) 訪日旅行・北海道旅行に期待すること

1) 新型コロナ終息後に訪日旅行に期待すること

- 訪日旅行に期待することは、「ウイルス対策の継続」「リーズナブルな日本食レストランの充実」「リーズナブルな宿泊施設の拡充」が上位となっている。

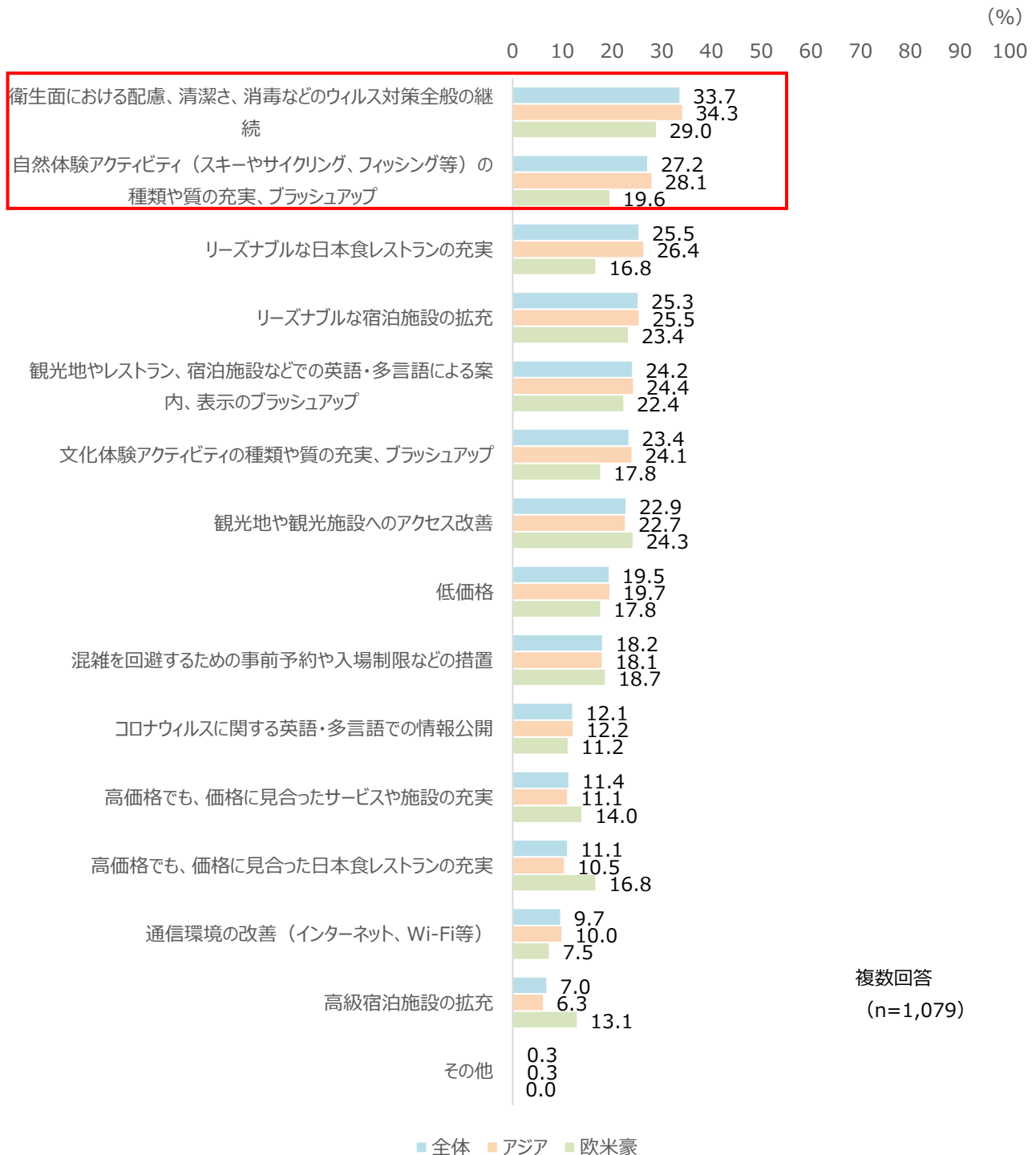
図表 68 訪日旅行に期待したいこと



2-1) 新型コロナ終息後に北海道旅行に期待すること

- 北海道旅行に期待することは、訪日旅行に期待することと同様に、「ウイルス対策の継続」への期待が最も高くなっている。
- 北海道旅行では、「自然体験アクティビティの種類や質の充実」が訪日旅行全体よりも期待されている。

図表 69 コロナ終息後の北海道旅行で期待したいこと



2-2) 新型コロナ終息後に北海道旅行に期待すること（国籍別）

- ウイルス対策を特に重視しているのはタイ、インドネシアで、「ウイルス情報の多言語での公開」への期待も同様に高い。
- 自然体験アクティビティは、特に中国、香港、台湾での期待が高い。
- 文化体験アクティビティは、特にマレーシア、台湾、韓国での期待が高い。
- アクセス改善への期待が高いのは台湾、香港、中国であり、過去に来道した際に不便を感じたことから改善を期待している可能性がある。
- 英語・多言語化案内への期待が高いのはインドネシア、タイであり、母国語での表示を求めている可能性がある。
- 前述の通り北海道人気が高かったシンガポールでは、上位に低価格・リーズナブルへの期待が並んでいる特徴がある。

図表 70 北海道旅行に期待すること（国籍別）

	1位	2位	3位	4位	5位
韓国 (n=42)	文化体験アクティビティ 31.0%	観光地へのアクセス改善 23.8%	ウイルス対策全般 23.8%	高価格でも価格に見合ったサービス 21.4%	自然体験アクティビティ 19.0%
中国 (n=128)	自然体験アクティビティ 42.2%	ウイルス対策全般 31.3%	文化体験アクティビティ 25.8%	観光地へのアクセス改善 25.0%	英語・多言語案内 24.2%
台湾 (n=167)	ウイルス対策全般 35.9%	自然体験アクティビティ 34.7%	文化体験アクティビティ 31.1%	リーズナブルな日本食 29.9%	観光地へのアクセス改善 28.7%
香港 (n=129)	自然体験アクティビティ 38.0%	リーズナブルな日本食レストラン 33.3%	リーズナブルな宿泊施設 30.2%	観光地へのアクセス改善 26.4%	ウイルス対策全般 25.6%
タイ (n=179)	ウイルス対策全般 48.0%	英語・多言語案内 26.3%	自然体験アクティビティ 24.6%	ウイルスに関する多言語での情報公開 24.6%	リーズナブルな宿泊施設 24.0%
シンガポール (n=134)	低価格 43.3%	リーズナブルな日本食レストラン 30.6%	リーズナブルな宿泊施設 27.6%	ウイルス対策全般 27.6%	英語・多言語案内 24.6%
マレーシア (n=107)	リーズナブルな日本食レストラン 32.7%	文化体験アクティビティ 31.8%	ウイルス対策全般 31.8%	低価格 29.9%	リーズナブルな宿泊施設 29.9%
インドネシア (n=86)	ウイルス対策全般 38.4%	英語・多言語案内 34.9%	リーズナブルな宿泊施設 33.7%	低価格 32.6%	ウイルスに関する多言語での情報公開 25.6%
アメリカ (n=21)	ウイルス対策全般 42.9%	リーズナブルな宿泊施設 38.1%	英語・多言語案内 23.8%	低価格 23.8%	自然体験アクティビティ 19.0%
オーストラリア (n=38)	ウイルス対策全般 28.9%	混雑回避の措置 28.9%	高価格でも価格に見合った日本食 26.3%	観光地へのアクセス改善 23.7%	リーズナブルな日本食レストラン 23.7%
イギリス (n=26)	低価格 30.8%	観光地へのアクセス改善 30.8%	文化体験アクティビティ 26.9%	自然体験アクティビティ 23.1%	リーズナブルな宿泊施設 23.1%
フランス (n=22)	英語・多言語案内 31.8%	高価格でも価格に見合ったサービス 27.3%	観光地へのアクセス改善 27.3%	ウイルス対策全般 27.3%	自然体験アクティビティ 22.7%

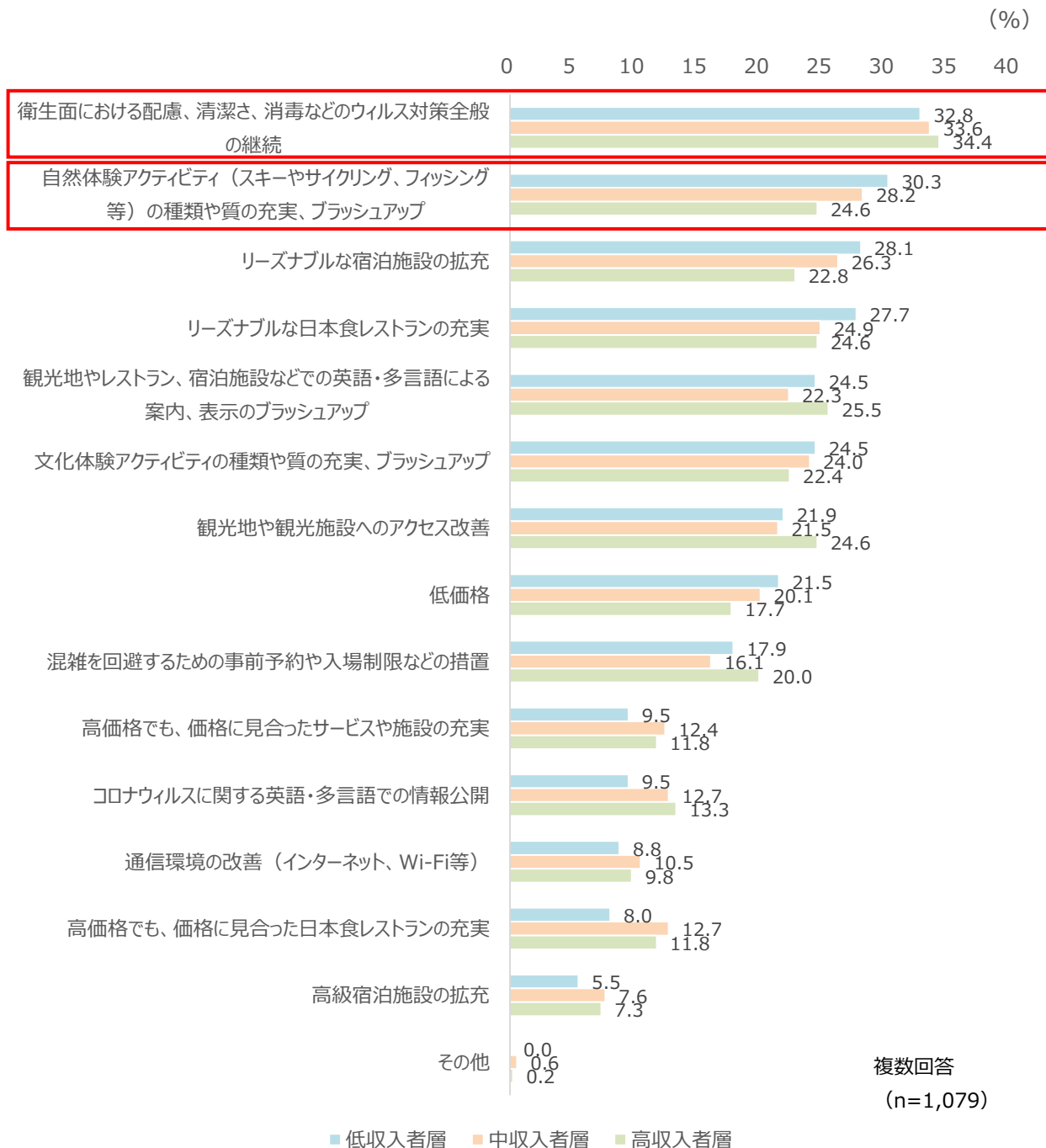
※上位5項目につき表示。

※アメリカ・イギリス・フランスについては n=29 以下のため参考値。

2-3) 新型コロナ終息後に北海道旅行に期待すること（収入者層別）

- どの収入者層においても「ウイルス対策の継続」への期待が最も高い。
- 北海道旅行に期待することとして上位である「自然体験アクティビティ」は、高収入者層→中収入者層→低収入者層の順に期待が高くなっており、スキーやサイクリング、フィッシング等、気軽に取り組みやすいリーズナブルなプランの需要が一定程度あると考えられる。

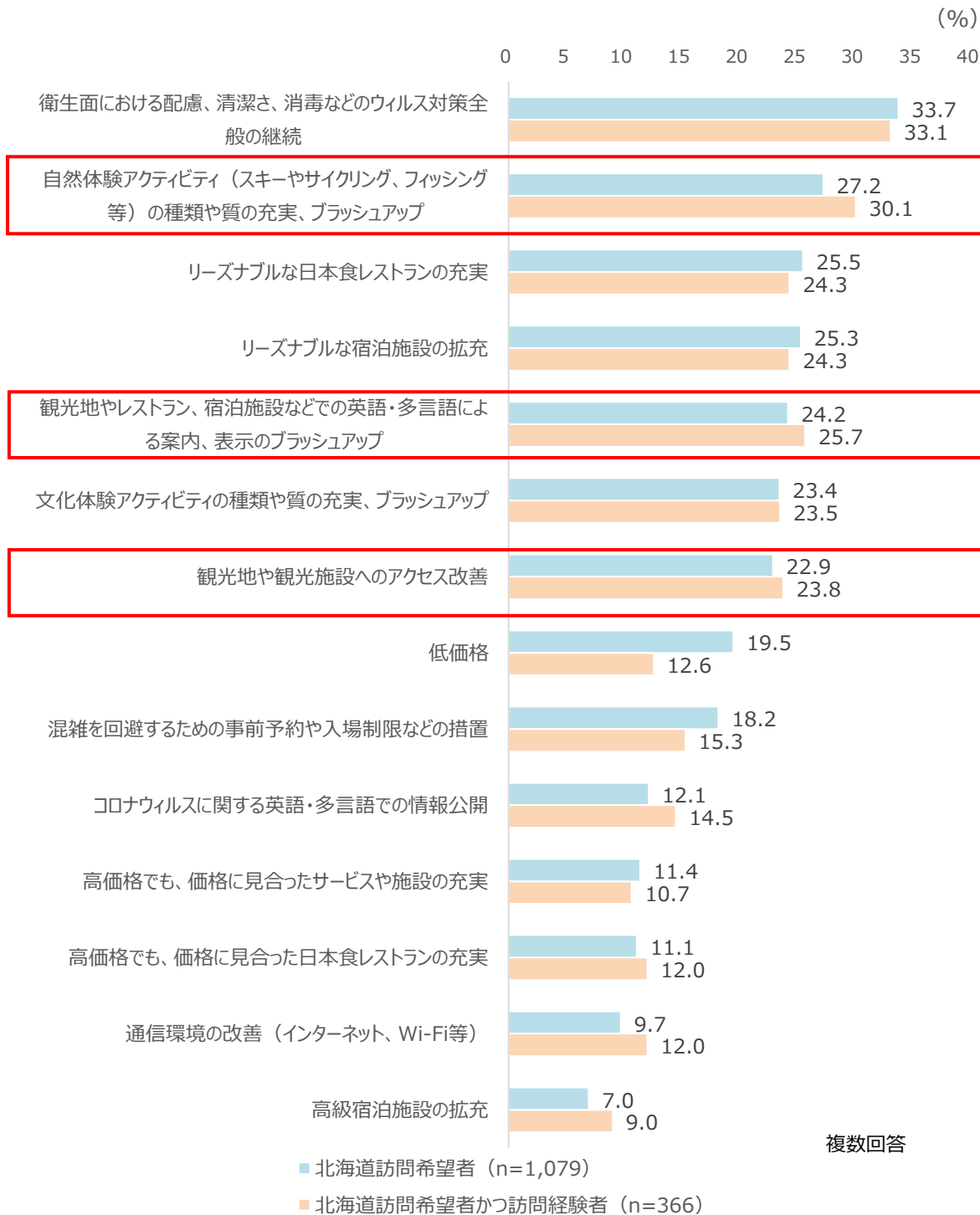
図表 71 北海道旅行に期待すること（収入者層別）



2-4) 新型コロナ終息後に北海道旅行に期待すること（北海道訪問経験者の傾向）

- 北海道訪問経験者においても、「ウイルス対策の継続」への期待が最も高くなっている。
- 傾向として、北海道訪問経験者では「自然体験アクティビティ」を期待する回答の比率が全体より高い。
- また、「観光地での英語・多言語案内」、「観光地へのアクセス改善」を求める声が高く、以前に北海道を訪問した際に不満があったことから、改善に期待する声が高いということが考えられる。

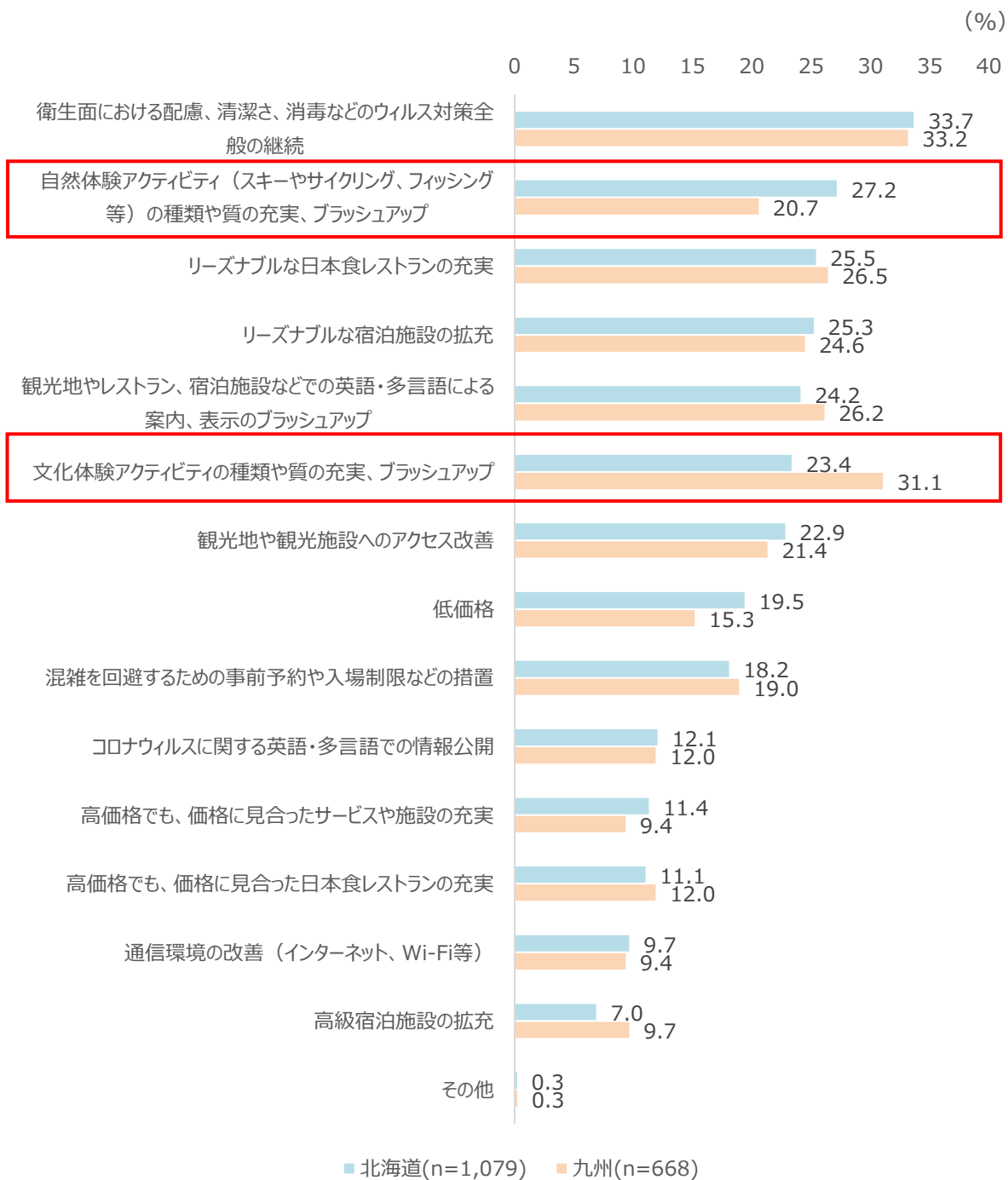
図表 72 北海道旅行に期待すること（北海道訪問経験者）



2-5) 北海道旅行に期待すること・九州旅行に期待することの比較

- ゴールデンルートに次ぐ人気観光地である九州と比較すると、北海道は自然体験アクティビティへの期待が高い一方、九州は文化体験アクティビティへの期待が高いという特徴がある。
- 文化体験を求めて訪日希望している旅行者がいる中で、北海道においては、アイヌ文化や幕末・開拓期の歴史文化といった北海道ならではのコンテンツを充実させ PR していくことで、さらなる顧客獲得が望めると考えられる。

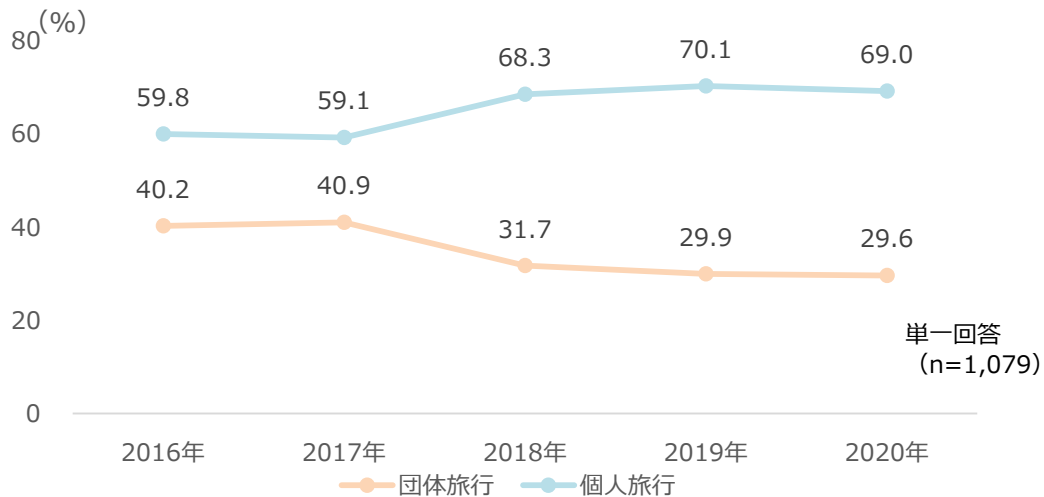
図表 73 期待すること（北海道旅行と九州旅行の比較）



3) 希望する旅行形態の過去調査比較（北海道訪問希望者）

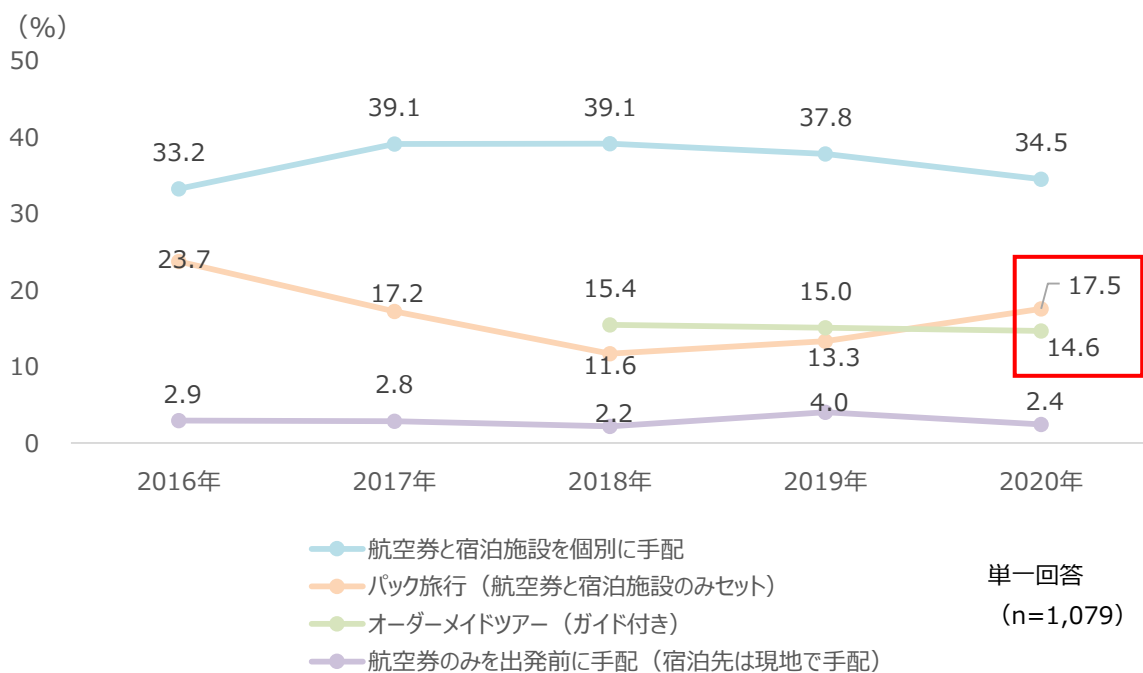
- 北海道訪問希望者の希望する旅行形態について、過去傾向として団体旅行（バック旅行ガイド付き）の希望が減少し個人旅行の希望が増加している中で、本調査の希望でもおおよそ同様の傾向がみられる。
- 個人旅行の内訳では、オーダーメイドツアー（ガイド付き）の希望が減少し、バック旅行（航空券と宿泊施設のみセット）の希望が上昇している。個人旅行の中でも、添乗員や現地ガイドと接しない旅行形態が好まれている可能性がある。

図表 74 希望する旅行形態（北海道訪問希望者）



※本調査においては「わからない」という選択肢があるため団体旅行と個人旅行の合計は一致しない。

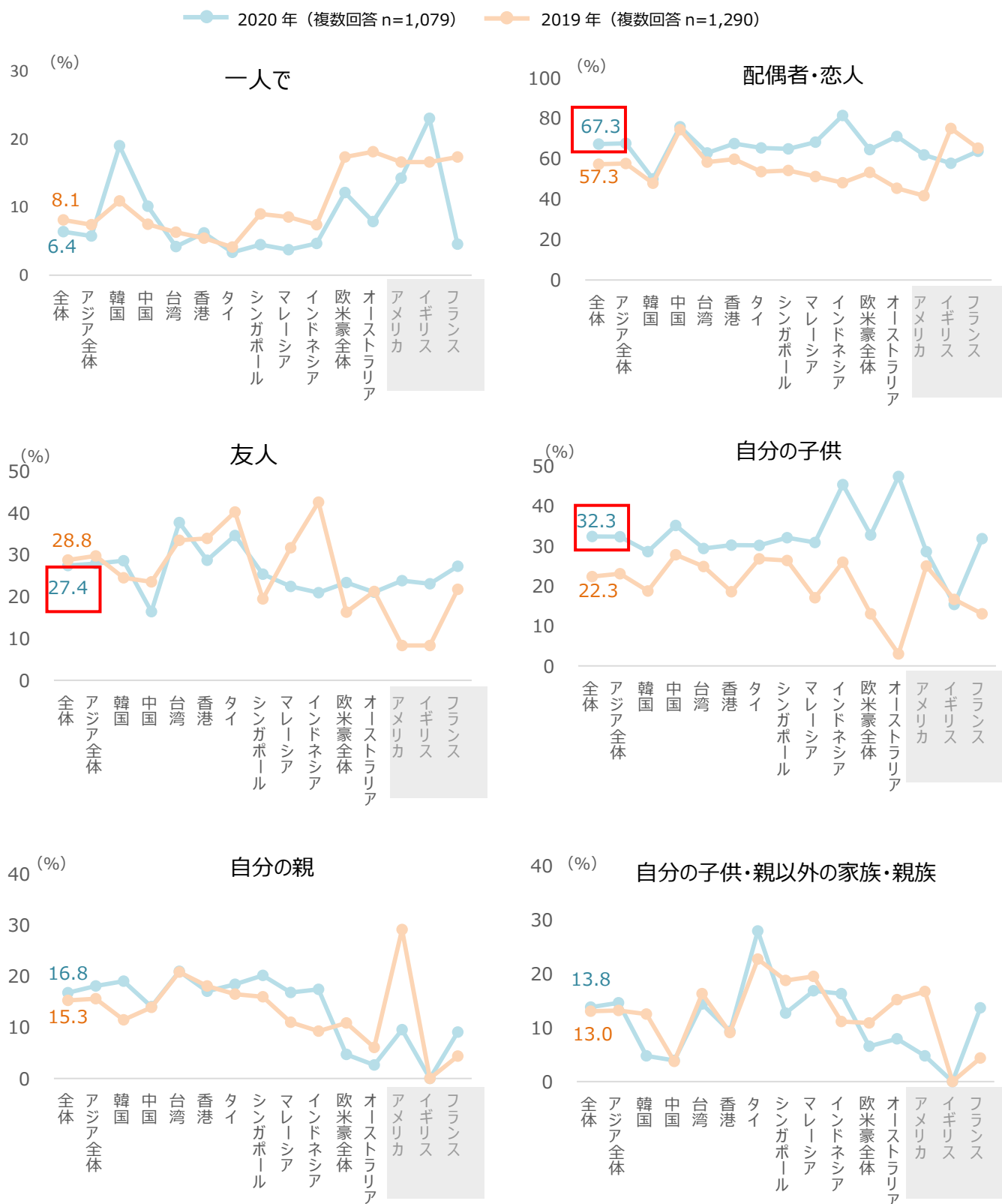
図表 75 個人旅行内訳（北海道訪問希望者）／全体



4) 希望する同行者の過去調査比較（北海道訪問希望者）

- 北海道訪問希望者の希望する同行者について、2019 年調査と比較すると、「配偶者・恋人」「自分の子供」で特に選択率が高くなっている。
- 一方、「友人」は選択率が低くなる傾向があり（特にインドネシア、マレーシア）、感染リスクを避けるため、行動履歴がわかる近しい人が意識されているものと考えられる。

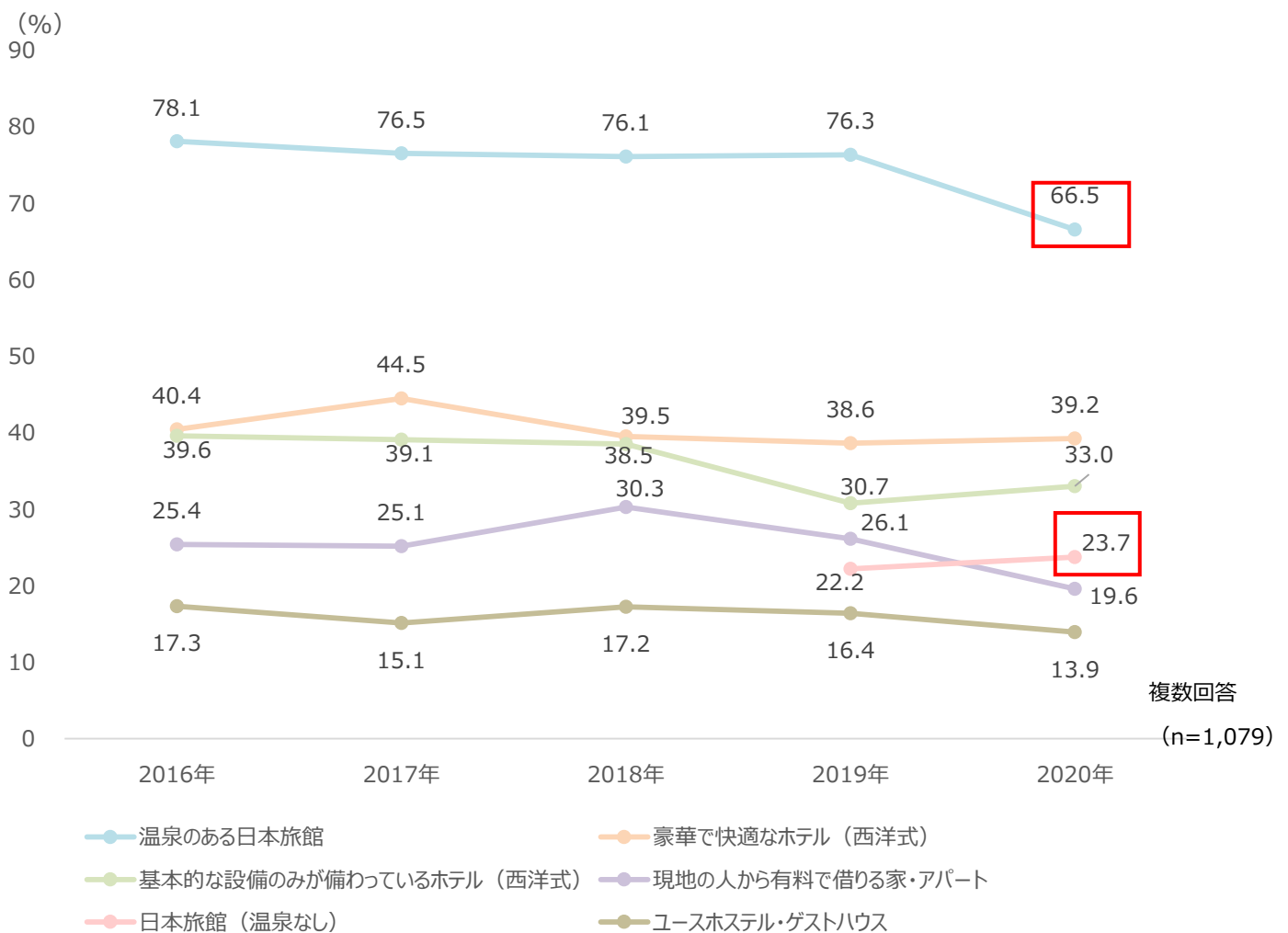
図表 76 希望する同行者（北海道訪問希望者）



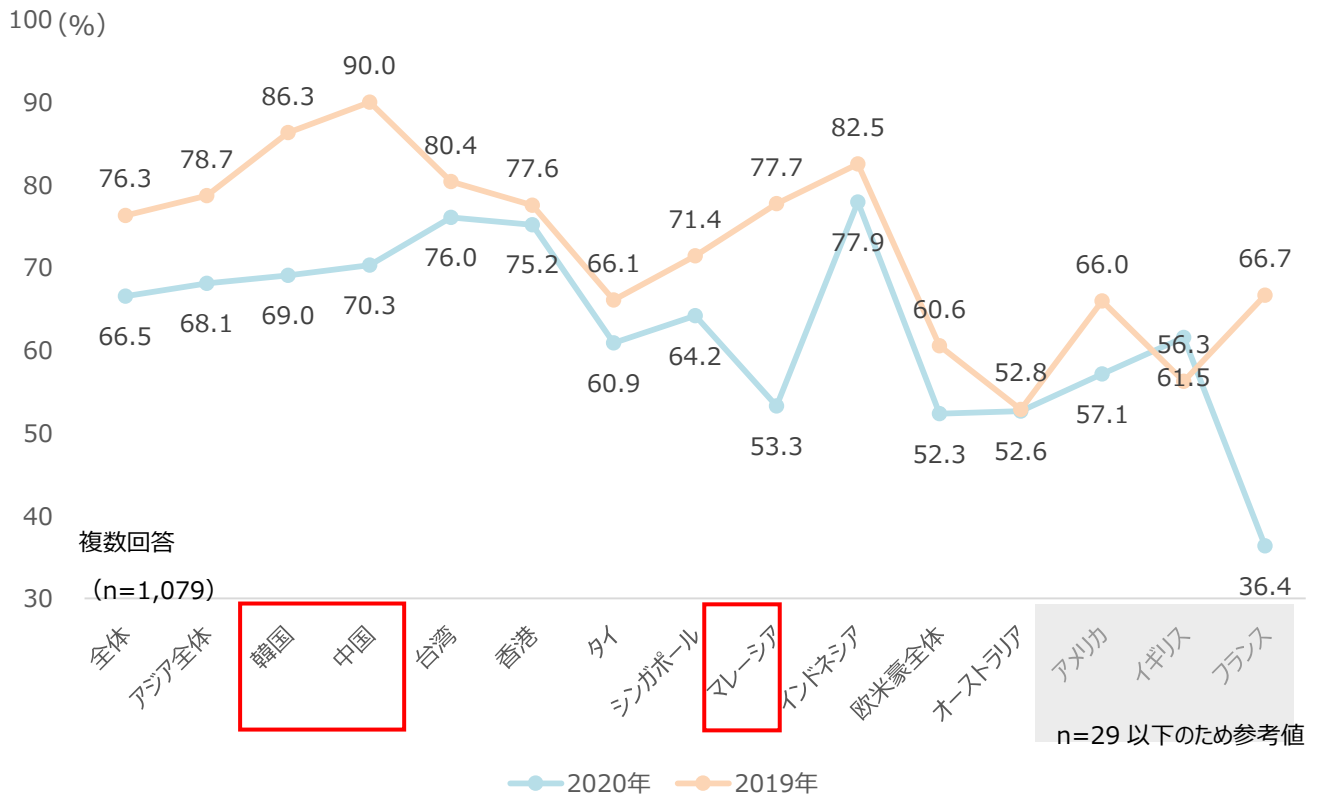
5) 希望する宿泊施設の過去調査比較（北海道訪問希望者）

- 北海道訪問希望者の希望する宿泊施設について、「温泉のある日本旅館」は最も人気があるものの選択率が低下し、過去水準で最も低くなっている（特に韓国、中国、マレーシア）。一方で、「日本旅館（温泉なし）」の選択率は上昇している（特に中国、香港）。
- このことから、日本旅館自体には宿泊したいものの、行動履歴が不明な人と共用で利用する温泉、スパやサウナ等での感染に対する不安があるものと考えられる。
- また、「現地の人から有料で借りる家・アパート」（民泊）、「ユースホステル・ゲストハウス」の選択率が過去水準で最も低くなっている。ホテルや旅館と比べて清掃等による安全性や清潔感といった点で施設ごとに差が大きく、一定以上の対応が必ずしも保証されていないことに対する不安があるものと考えられる。

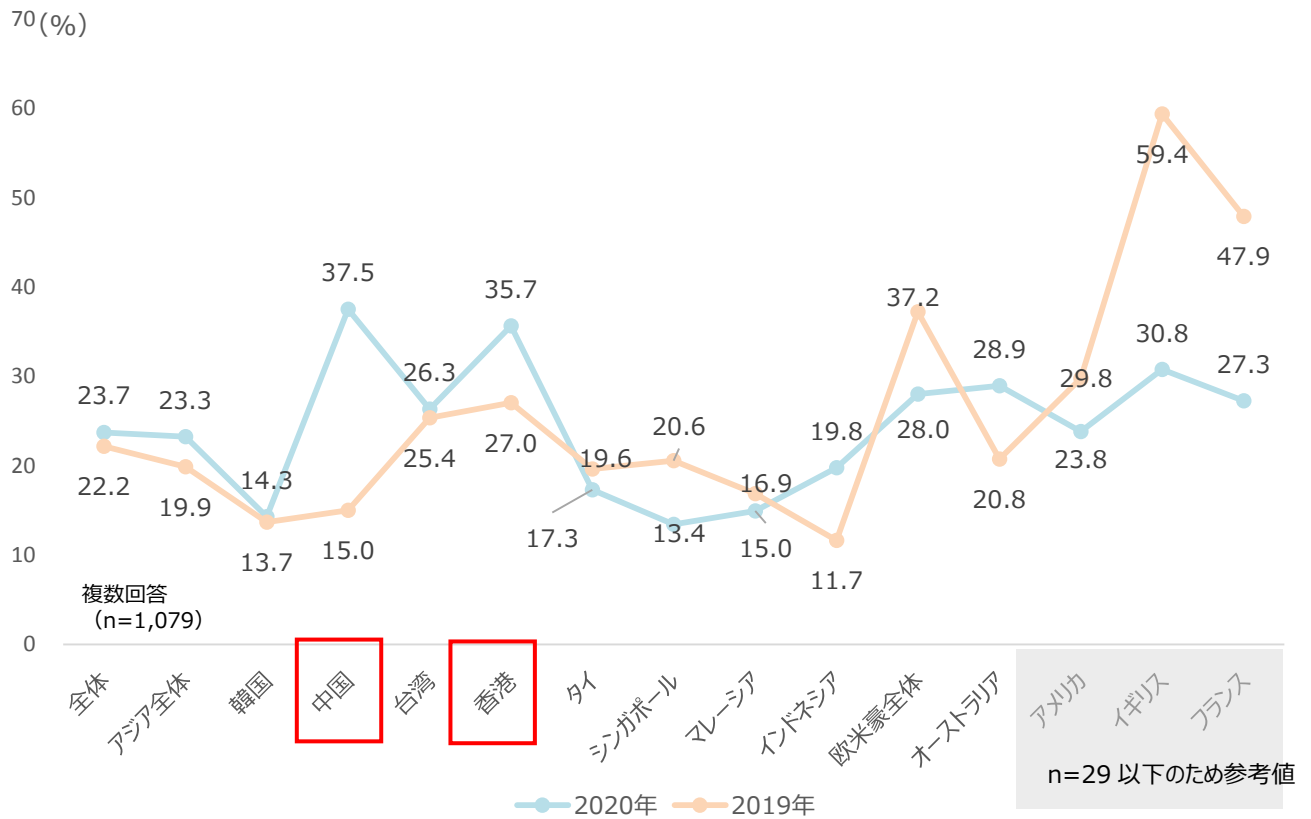
図表 77 希望する宿泊施設（北海道訪問希望者）



図表 78 温泉のある日本旅館（北海道訪問希望者）／国籍別



図表 79 日本旅館（温泉なし）（北海道希望者）／国籍別

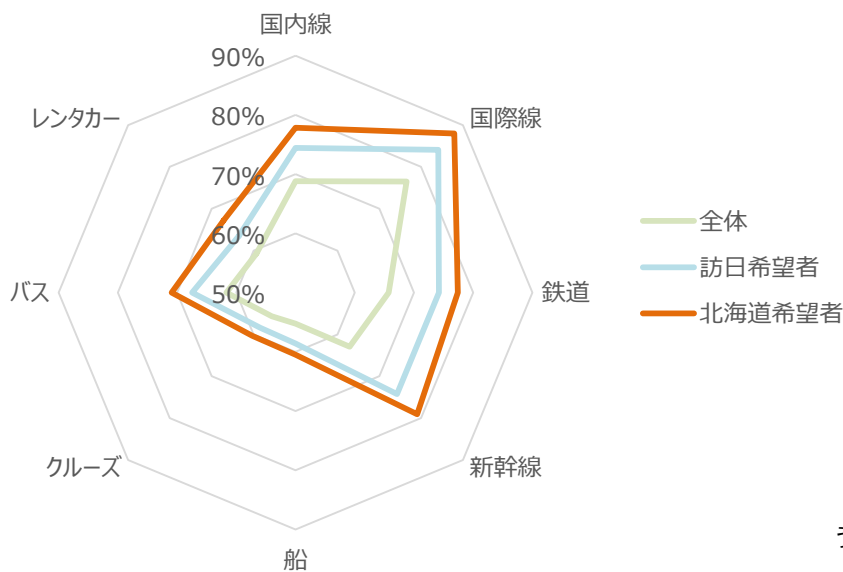


（５）観光関連事業者が取るべき新型コロナ対策

1) 新型コロナ対策が必要だと感じる乗り物・場所

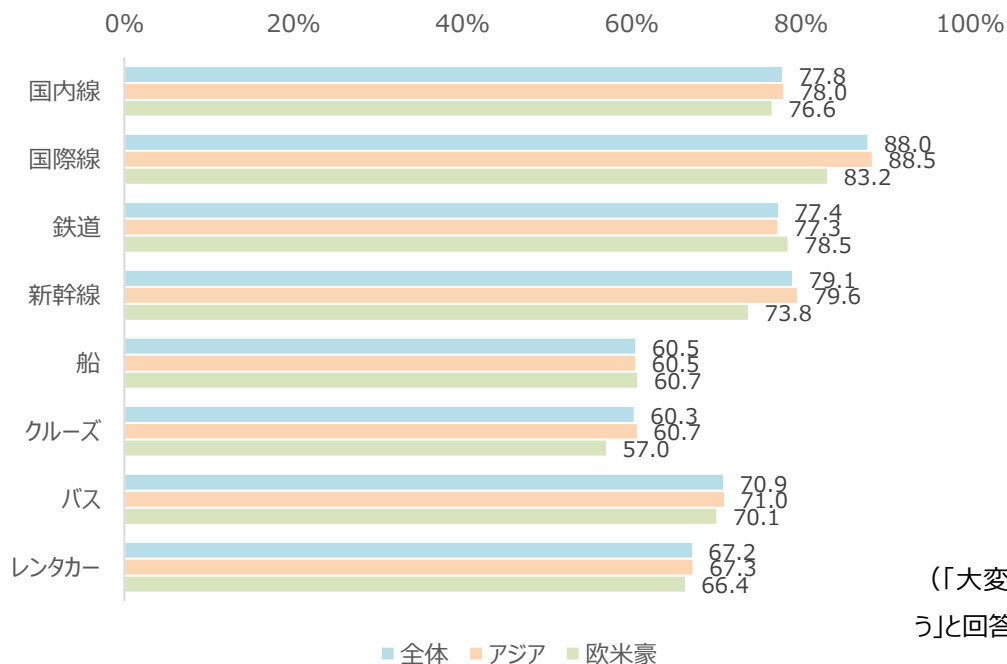
- 北海道訪問希望者は、回答者全体や訪日希望者と比べてウイルス対策に慎重である。道内においては、より一層入念なウイルス対策をアピールすることが重要だと考えられる。
- 北海道は比較的早い時期から感染が拡大した地域であったため、北海道訪問希望者の不安が増大した可能性がある。最新の感染状況を正しく発信することが旅行者の不安を払拭するために必要であると考えられる。
- また、アジアの方が欧米豪よりも「大変そう思う」「そう思う」の選択率が高く、アジアの不安度の高さがうかがえる。

図表 80 ウイルス対策が必要だと感じる乗り物（全体・訪日希望者・北海道訪問希望者）



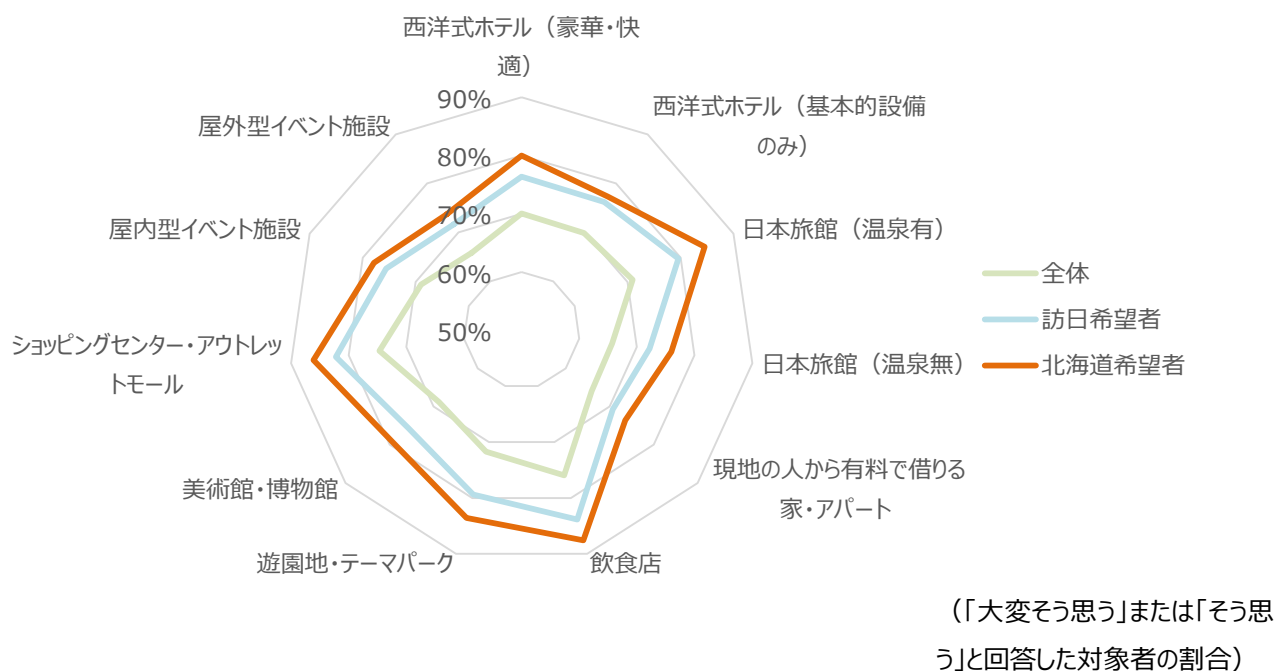
（「大変そう思う」または「そう思う」と回答した対象者の割合）

図表 81 ウイルス対策が必要だと感じる乗り物（北海道訪問希望者）

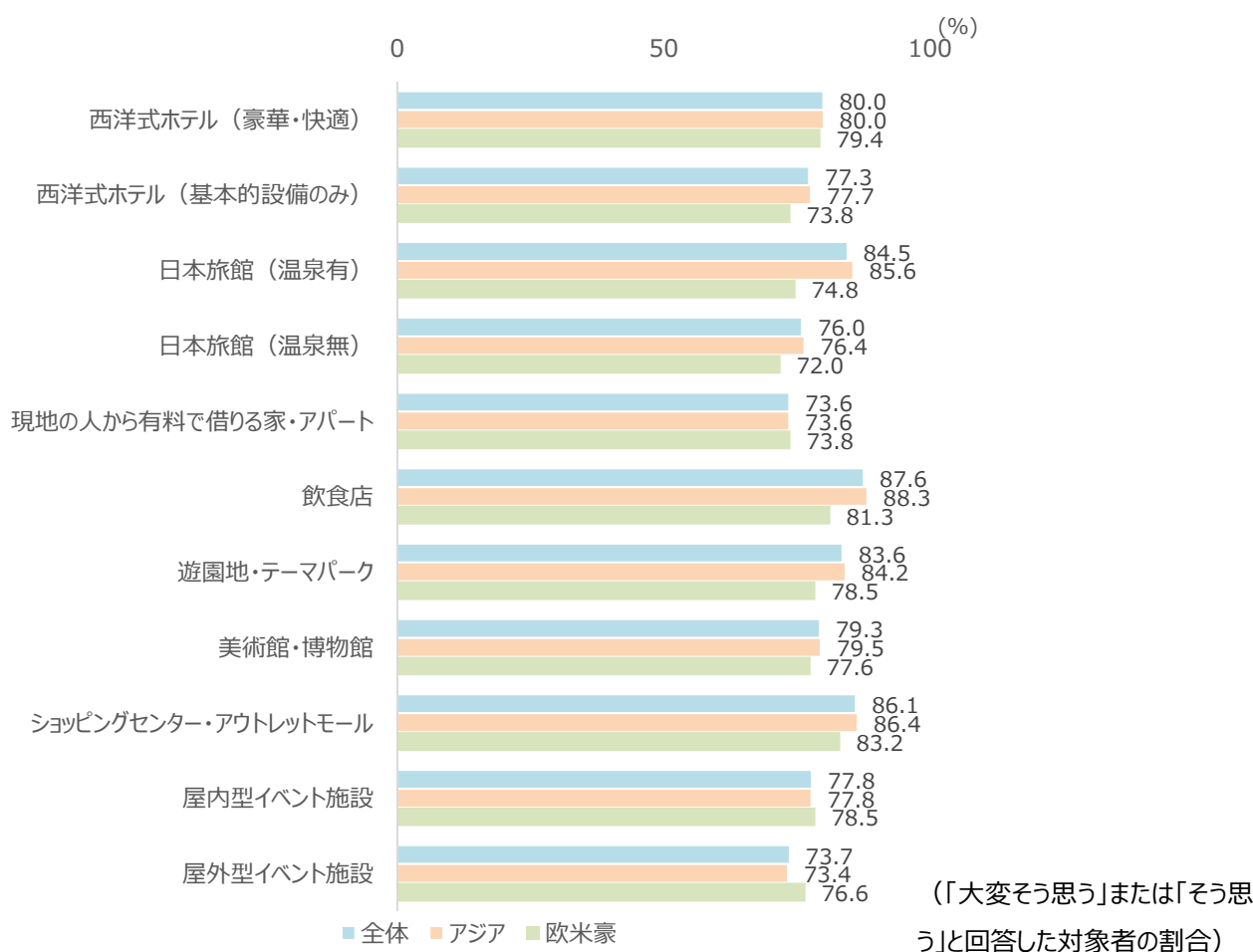


（「大変そう思う」または「そう思う」と回答した対象者の割合）

図表 82 ウイルス対策が必要だと感じる場所（全体・訪日希望者・北海道訪問希望者）



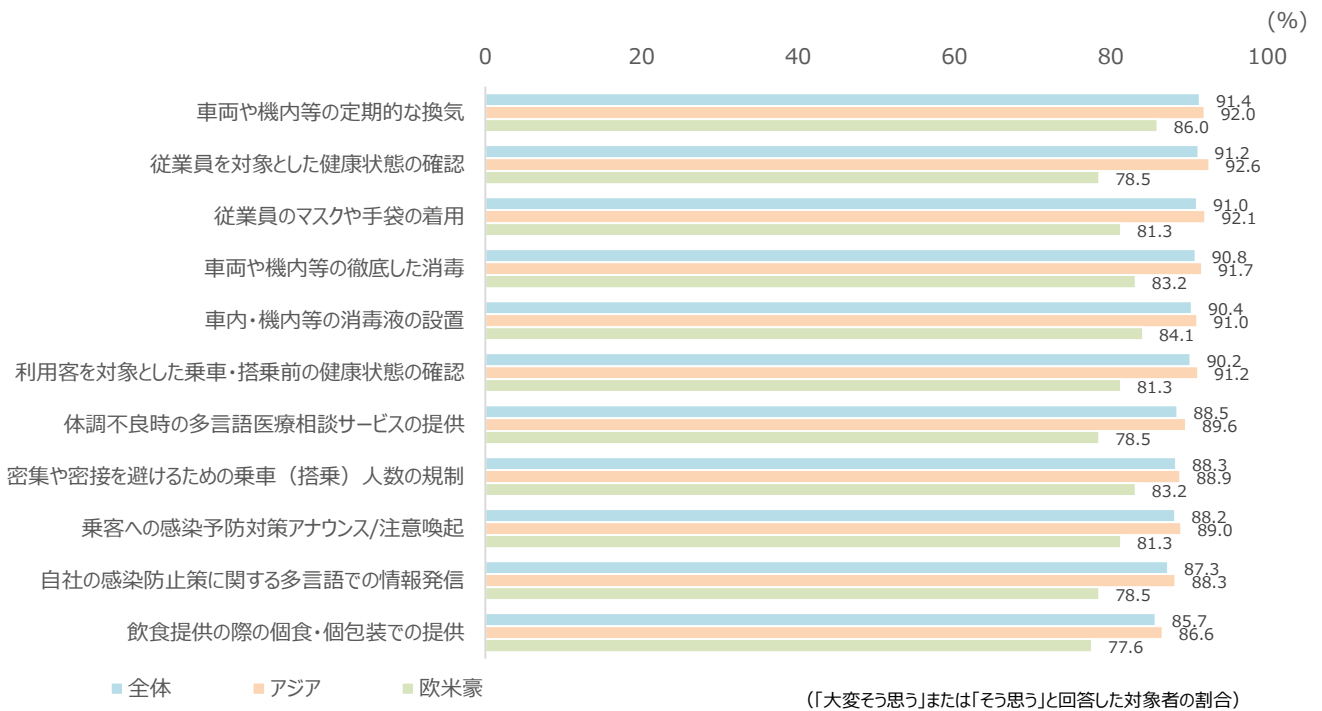
図表 83 ウイルス対策が必要だと感じる場所（北海道訪問希望者）



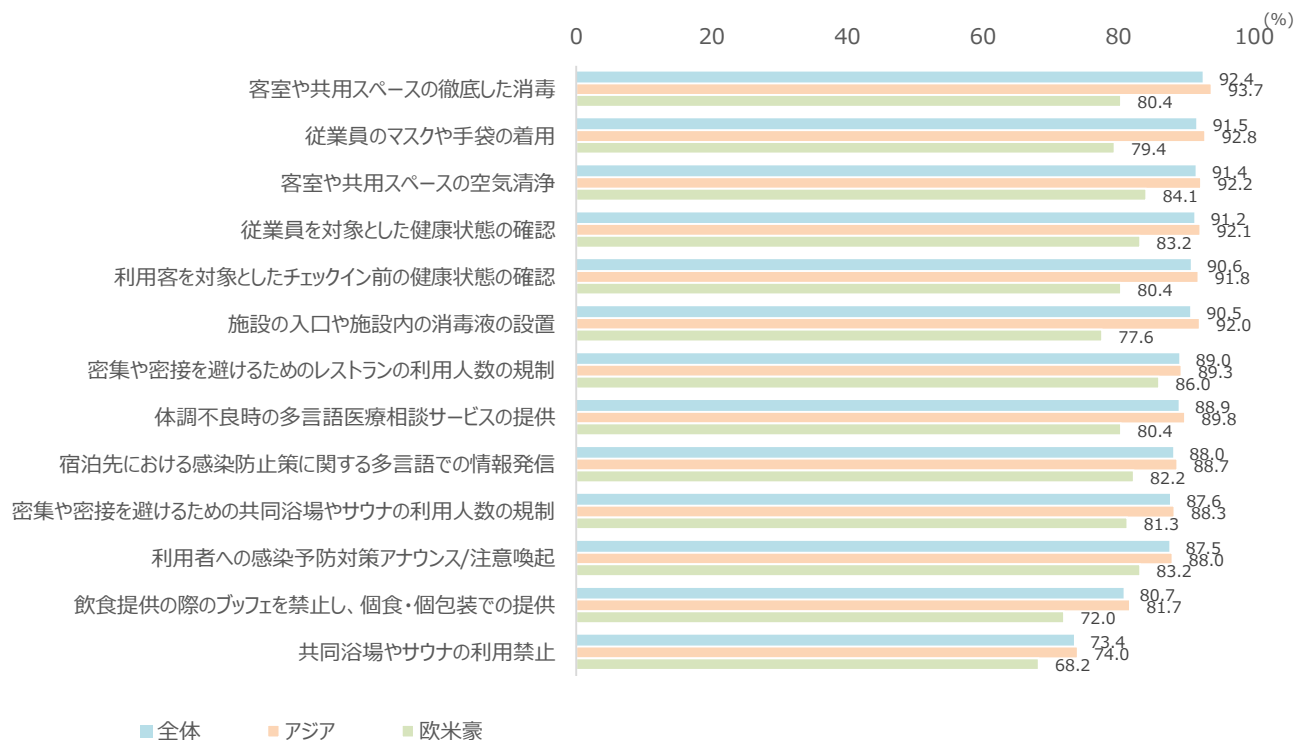
2) 交通事業者及び宿泊事業者がとるべき新型コロナ対策（北海道訪問希望者）

- 交通事業者がとるべき対策は全般的に選択率が高く、「大変そう思う」と「そう思う」を合わせると、アジアではすべての項目が 9 割程度、欧米豪でも 8 割程度である。
- 宿泊事業者がとるべき対策についても、全般的に選択率が高く、「大変そう思う」と「そう思う」を合わせると、アジアでは 11 項目が 9 割程度、欧米豪でも 8 割程度である。
- 交通事業者及び宿泊事業者において、できる限りの感染症対策に励むことが観光客の安心感につながる事が推察される。

図表 84 交通事業者がとるべき新型コロナ対策（北海道訪問希望者）



図表 85 宿泊事業者がとるべき新型コロナ対策（北海道訪問希望者）



本レポートにおける地域区分

「2. 日本のインバウンド誘客の動向」における地域区分

地域	該当する都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、山形県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
新潟	新潟県
北陸	富山県、石川県、福井県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
関西	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
南九州	宮崎県、鹿児島県
沖縄	沖縄県

「3. DBJ インバウンドアンケート結果」における地域区分

- 各地域「訪問希望者」は、地域区分の中で「いずれか1カ所以上に訪問してみたい」と回答した者を、各地域の「訪問希望者」として換算している（例：「北海道」「東京」の2カ所に訪問したい回答者⇒「北海道」「東京」希望者としてそれぞれ1カウント）。

地域	該当する都道府県・地名
東京	東京都
東京近郊	横浜、箱根、軽井沢、日光
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、山形県
新潟	新潟県
北陸	富山県、石川県、福井県
中部	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
関西	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
沖縄	沖縄県

アンケートデータ出所

(株) 日本政策投資銀行・(公財) 日本交通公社が実施した、「2020 年コロナウイルス影響度調査」から作成。

調査方法：インターネットによる調査

- 実施時期：2020 年 6 月 2 日～6 月 12 日
- 調査地域：韓国、香港、台湾、中国（上海・北京）、タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール、アメリカ、イギリス、オーストラリア、フランスの 12 地域
- 調査対象者：20 歳～59 歳の男女、かつ、海外旅行経験者
- 中国は、上海および北京在住者のみ
- 有効回答者数：上記各地域に居住する住民計 6,266 人
- アンケート業務委託先：楽天インサイト株式会社

◆有効回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス	
男性	3,177	2,101	266	264	261	252	264	266	263	265	1,076	271	268	259	278
女性	3,089	2,093	263	284	269	259	257	251	257	253	996	249	257	246	244
総計	6,266	4,194	529	548	530	511	521	517	520	518	2,072	520	525	505	522

◆訪日経験別回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス	
訪日経験あり	3,006	2,583	382	419	439	428	316	282	162	155	423	113	123	79	108
訪日経験者（1回）	1,079	866	132	172	93	50	117	117	90	95	213	46	62	48	57
訪日経験者（2回以上）	1,927	1,717	250	247	346	378	199	165	72	60	210	67	61	31	51
訪日経験なし	3,260	1,611	147	129	91	83	205	235	358	363	1,649	407	402	426	414
総計	6,266	4,194	529	548	530	511	521	517	520	518	2,072	520	525	505	522

◆訪日経験別回答者数（割合） (%)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス	
訪日経験あり	48	62	72	76	83	84	61	55	31	30	20	22	23	16	21
訪日経験者（1回）	17	21	25	31	18	10	22	23	17	18	10	9	12	10	11
訪日経験者（2回以上）	31	41	47	45	65	74	38	32	14	12	10	13	12	6	10
訪日経験なし	52	38	28	24	17	16	39	45	69	70	80	78	77	84	79

（参考）本調査における訪日経験者割合推移 (%)

調査時期	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス	
2020年	48	62	72	76	83	84	61	55	31	30	20	22	23	16	21
2019年	41	54	69	68	76	83	43	45	25	26	15	16	19	10	16
2018年	45	59	70	62	81	80	60	52	30	35	19	18	23	15	20
2017年	45	57	63	69	83	83	58	43	26	30	20	26	25	15	17
2016年	41	55	61	71	76	78	60	43	25	28	14	14	21	11	11
2015年	—	52	62	65	72	75	48	44	25	27	—	—	—	—	—
2014年	—	47	55	56	69	72	45	36	21	19	—	—	—	—	—
2013年	—	45	60	54	65	74	36	39	18	14	—	—	—	—	—
2012年	—	46	54	57	65	68	31	—	21	19	—	—	—	—	—

（注） 選択肢の多い設問については、回答に偏りが出ないよう、回答者ごとに選択肢の順番がランダムに入れ替わる設定とした。

（注 2） 割合は、小数点第一位を四捨五入し、整数とした。

- 収入層の区分は、国・地域の回答者数を世帯年収順に三分の一ずつ区分し、上位層を高収入者層、中位層を中収入者層、低位層を低収入者層としている。

◆収入者層別回答者数

(人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス	
低収入者層	2,013	1,331	173	157	191	146	169	188	144	163	682	160	170	166	186
中収入者層	2,161	1,465	204	212	185	180	176	158	165	185	696	202	159	156	179
高収入者層	2,092	1,398	152	179	154	185	176	171	211	170	694	158	196	183	157

◆収入者層区分基準額

(千円)

	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
低収入者層	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳
	3,576	3,109	2,894	4,796	1,356	4,664	1,023	575	5,310	4,640	4,200	3,770
中収入者層	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳
	6,259	6,217	4,521	8,222	2,711	7,774	2,045	1,151	10,621	7,734	7,000	6,283
高収入者層	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳	〳

©Development Bank of Japan Inc.2020

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

（お問い合わせ先）

株式会社日本政策投資銀行 北海道支店 企画調査課

〒060-0003

札幌市中央区北3条西4丁目1 日本生命札幌ビル4F

Tel：011-241-4117

E-mail：hkinfo@dbj.jp

HP：<https://www.dbj.jp/co/info/branchnews/hokkaido/>